

# 八千代市障害者一般 及び障害児・保護者 アンケート調査結果報告書

令和5年3月



# 目次

I アンケートの概要 .....	1
1-1. 目的 .....	1
1-2. 調査対象等 .....	1
1-3. 調査の実施方法及び調査期間 .....	1
1-4. 報告書を見る際の留意点 .....	1
II 調査結果 .....	2
2-1. 障害者一般アンケート結果 .....	2
1. アンケート対象者について .....	2
2. 障害福祉サービスの利用について .....	7
3. 日中の過ごし方について .....	16
4. 将来の生活について .....	21
5. 災害時の対応について .....	24
6. 権利擁護などについて .....	26
7. 障害者施策全般について .....	30
2-2. 障害児・保護者アンケート結果 .....	31
1. アンケート対象者について .....	31
2. 障害福祉サービスの利用について .....	39
3. 日中の過ごし方について .....	46
4. 将来の生活について .....	54
5. 災害時の対応について .....	56
6. 権利擁護などについて .....	57
7. 相談について .....	59
8. 障害者施策全般について .....	61
2-3. 障害者一般アンケート自由回答のまとめ .....	62
1. 身体障害者 .....	62
2. 知的障害者 .....	67
3. 精神障害者 .....	70
2-4. 障害児・保護者アンケート自由回答のまとめ .....	73
1. 身体障害者 .....	73
2. 知的障害者 .....	75
3. 精神障害者 .....	77

# Ⅰ アンケートの概要

## 1-1. 目的

第6次障害者計画並びに第7期障害福祉計画及び第3期障害児福祉計画の策定の資料とするために、障害のある方、障害をお持ちの児童及び児童の保護者へのアンケートを次のとおり実施しました。

## 1-2. 調査対象等

### (1) 障害者一般アンケート

- ・調査対象：身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を所持している者
- ・送付数：2,000人
- ・有効回収数：1,015人（回収率50.8%）

### (2) 障害児・保護者アンケート

- ・調査対象：身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を所持している児童及び児童の保護者
- ・送付数：200人
- ・有効回収数：96人（回収率48.0%）

## 1-3. 調査の実施方法及び調査期間

- ・調査の実施方法：郵送配布・郵送回収
- ・調査期間：令和4年12月13日～令和5年1月10日まで

## 1-4. 報告書を見る際の留意点

- アンケート選択肢の語句が長い場合等、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがあります。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数として、小数第2位を四捨五入して算出しています。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の場合の回答比率の合計は、100%を超えていることがあります。
- グラフ中の「n」（net）とは、その質問への回答者数を表しています。
- クロス集計の表の中で、上段の数字は回答者数（単位：人）を、下段の数字は割合（単位：%）を表しています。

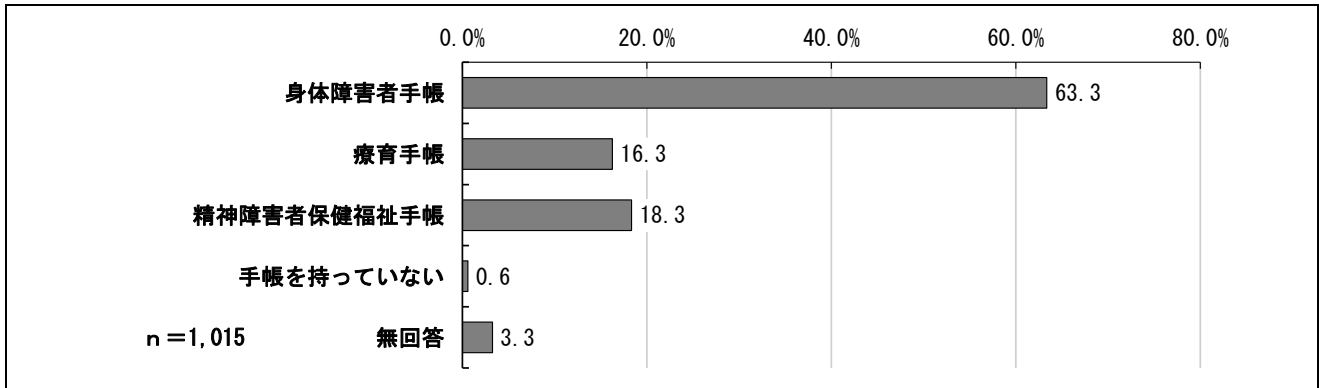
## II 調査結果

### 2-1. 障害者一般アンケート結果

#### 1. アンケート対象者について

##### (1) アンケート対象者の所持する手帳の種類

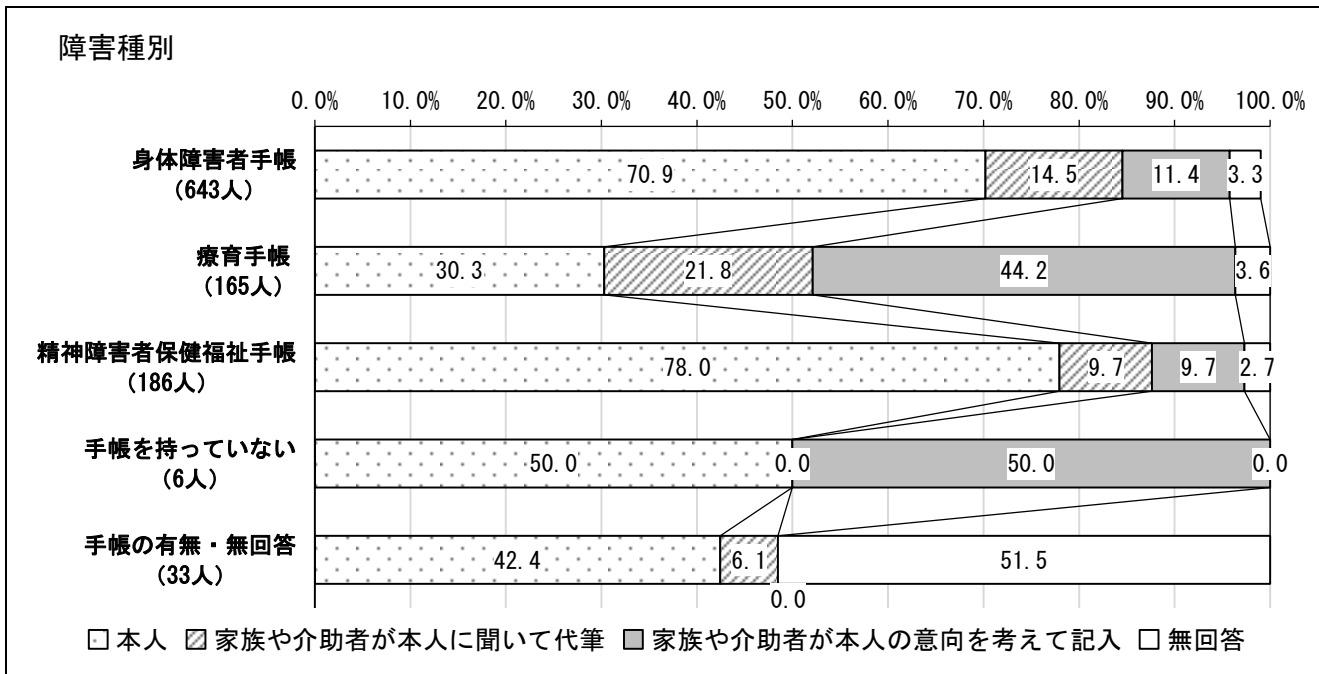
問 あなたのお持ちの手帳はどれですか。(あてはまるものすべてに○)



○所持する手帳の種類は、「身体障害者手帳」が63.3%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が18.3%、「療育手帳」が16.3%となっています。

##### (2) アンケートの記入者

問 このアンケートにご記入いただく方はどなたですか。(1つに○)

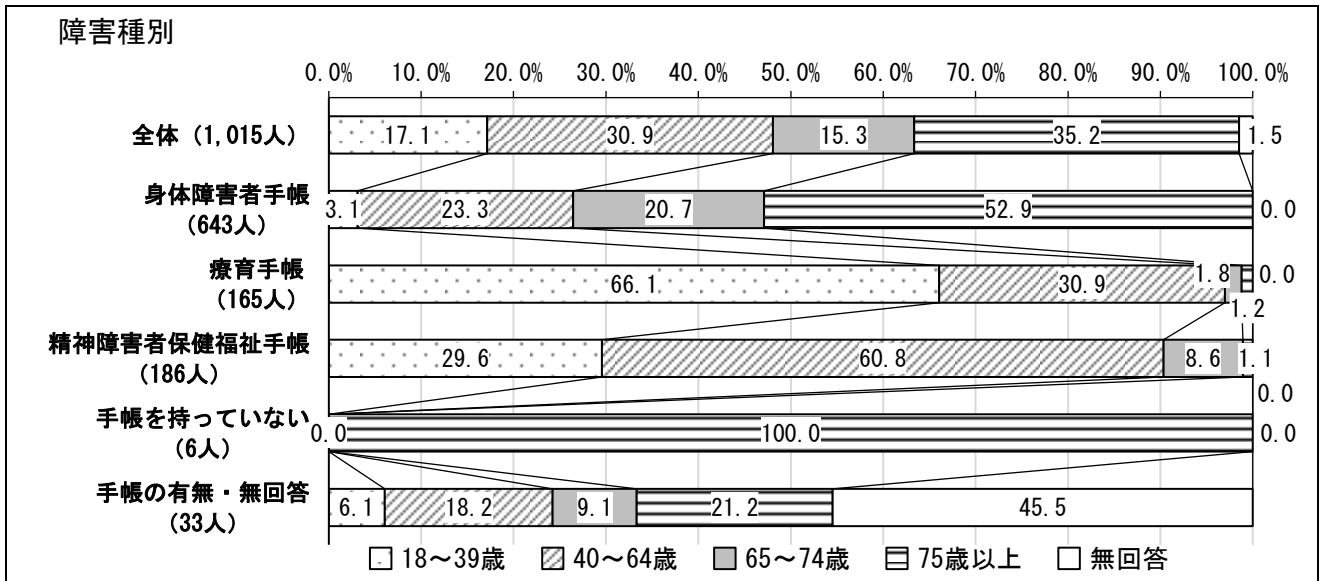


○「本人」がアンケート調査に回答を記入した人は、身体障害と精神障害では7割以上を占めているのに対し、療育手帳では30.3%となっています。

### (3) アンケート対象者の年齢

問 令和4年12月1日現在、あなたは何歳ですか。

(あなたとは、宛名の障害のある方ご自身のことをいいます。)(1つに○)



○アンケート対象者の年齢は、全体では75歳以上が最も多く35.2%となっています。

65歳以上の高齢者層では、身体障害が73.6%で最も多くなっています。

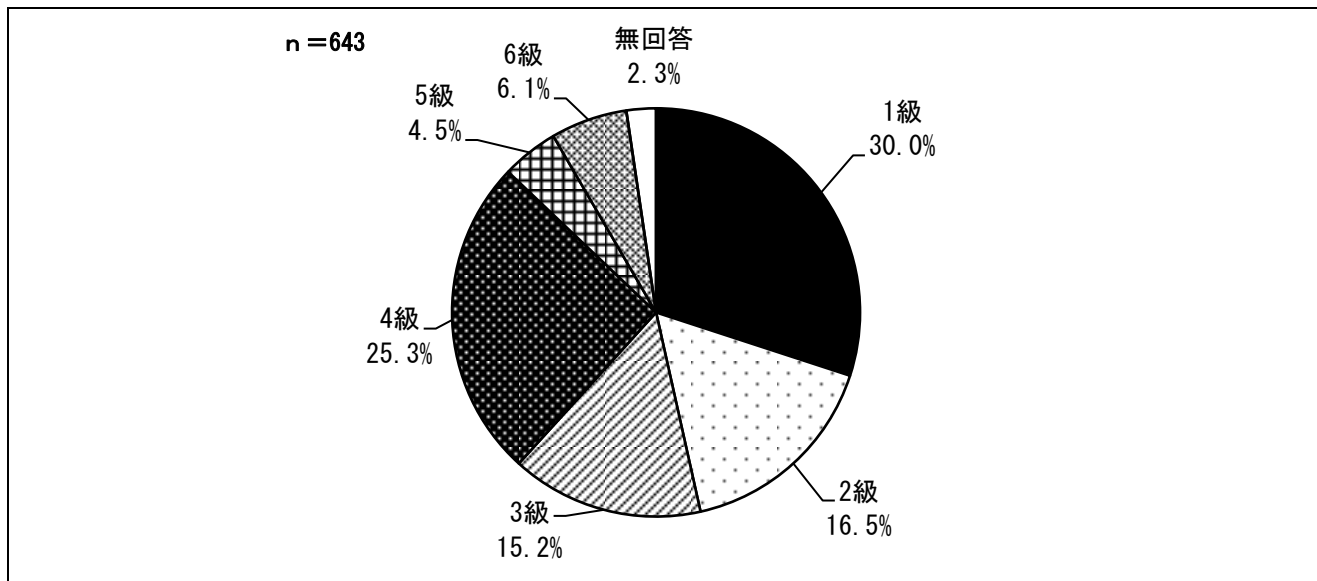
「18歳～39歳」の若い世代では、療育手帳が66.1%で最も多く、次いで、精神障害が29.6%となっています。

「40～64歳」の年代では、精神障害が60.8%で最も多く、次いで療育手帳が30.9%、身体障害が23.3%となっています。

#### (4) 身体障害者の状況

##### i) 身体障害者手帳の等級

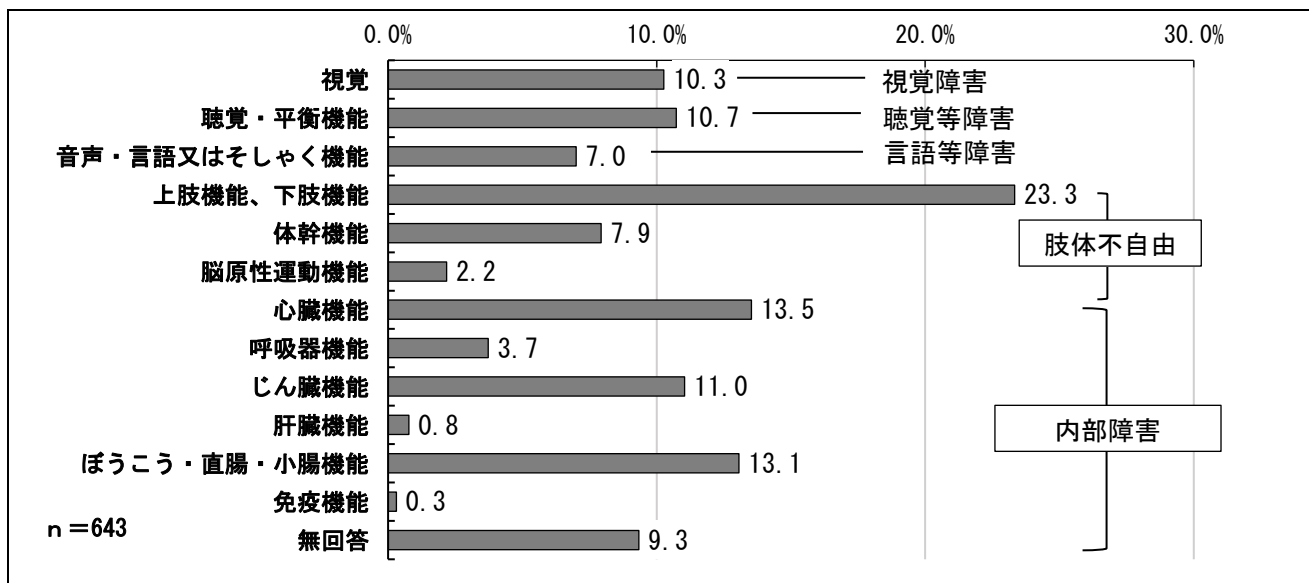
問 あなたの身体障害者手帳の等級は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)



○身体障害者手帳の等級は、「1級」が30.0%で最も多く、次いで「4級」が25.3%、「2級」が16.5%となっています。

##### ii) 身体障害の種類

問 あなたの身体障害の種類は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



○身体障害の種類は、「上肢機能、下肢機能」が23.3%で最も多く、次いで「心臓機能」が13.5%、「ぼうこう・直腸・小腸機能」が13.1%などとなっています。

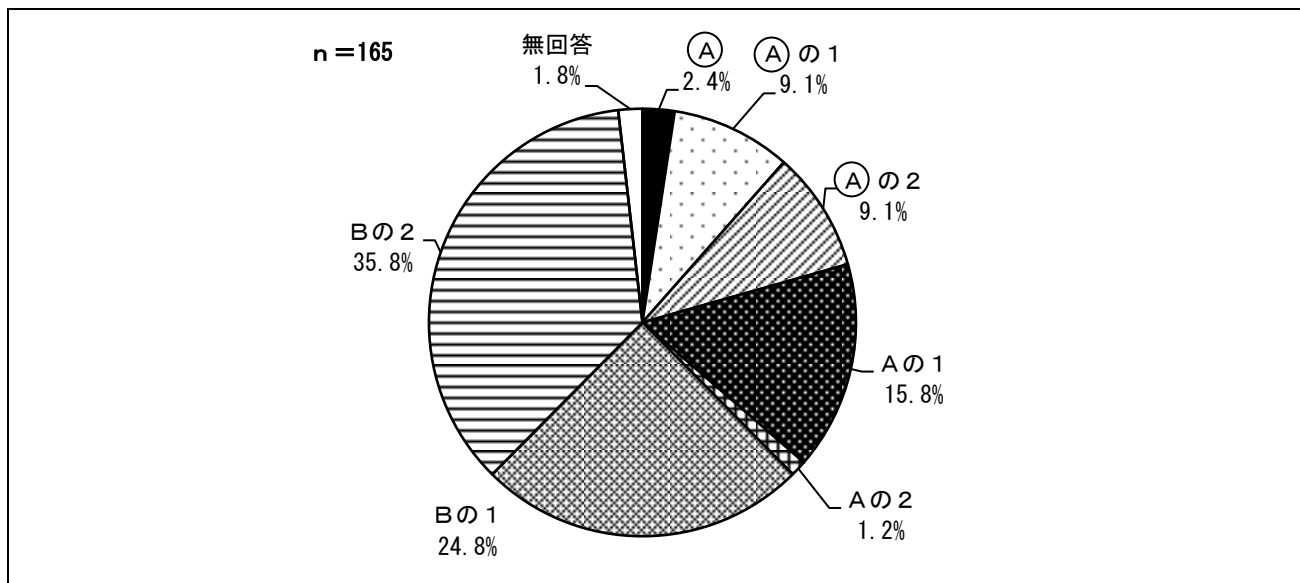
○身体障害の種類を「肢体不自由」「内部障害」「聴覚等障害」「言語等障害」「視覚障害」の5種類に区分すると、次のとおりです。

・肢体不自由	215人 (33.4%)	・内部障害	273人 (42.4%)
・聴覚障害等	69人 (10.7%)	・言語等障害	45人 (7.0%)
・視覚障害	66人 (10.3%)	・無回答	60人 (9.3%)

## (5) 知的障害者の状況

### i) 療育手帳の等級

問 あなたの療育手帳の程度は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)

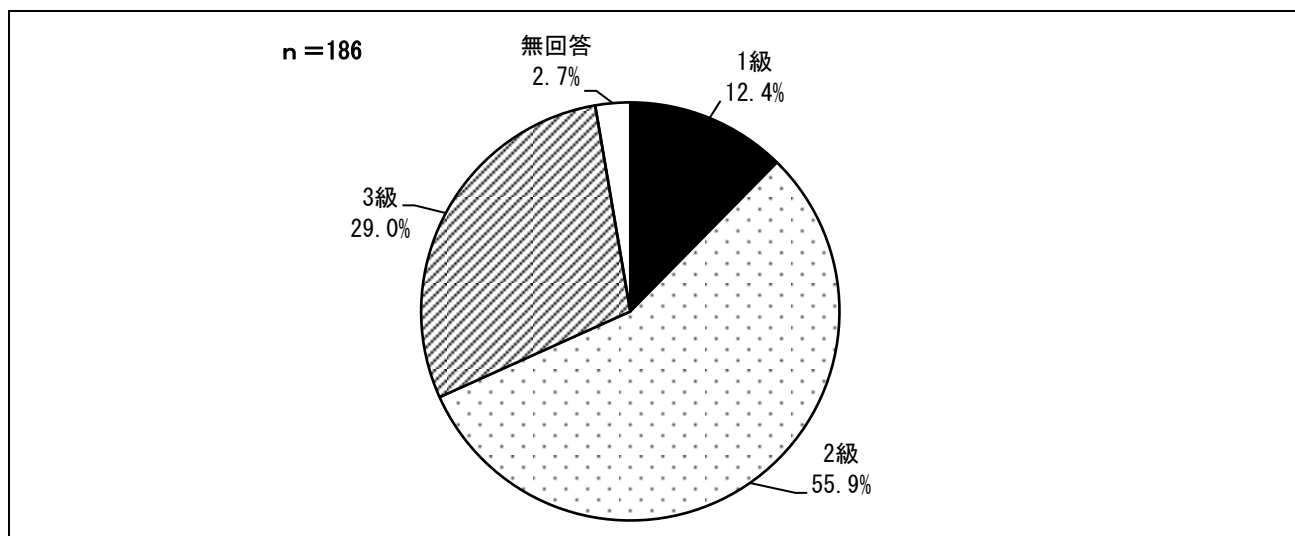


○療育手帳の程度は、「Bの2」が35.8%で最も多く、次いで「Bの1」が24.8%、「Aの1」が15.8%となっています。

## (6) 精神障害者の状況

### i) 精神障害者保健福祉手帳の等級

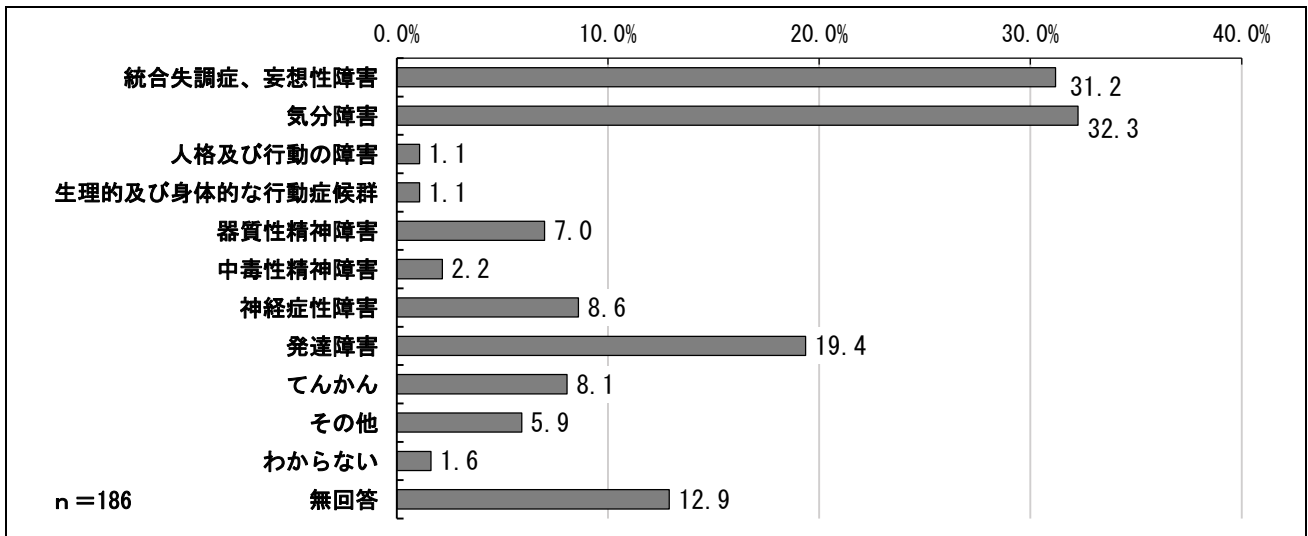
問 あなたの精神障害者保健福祉手帳の等級は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)



○精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が55.9%、次いで「3級」が29.0%、「1級」が12.4%の順となっています。

## ii) 精神疾患の種類

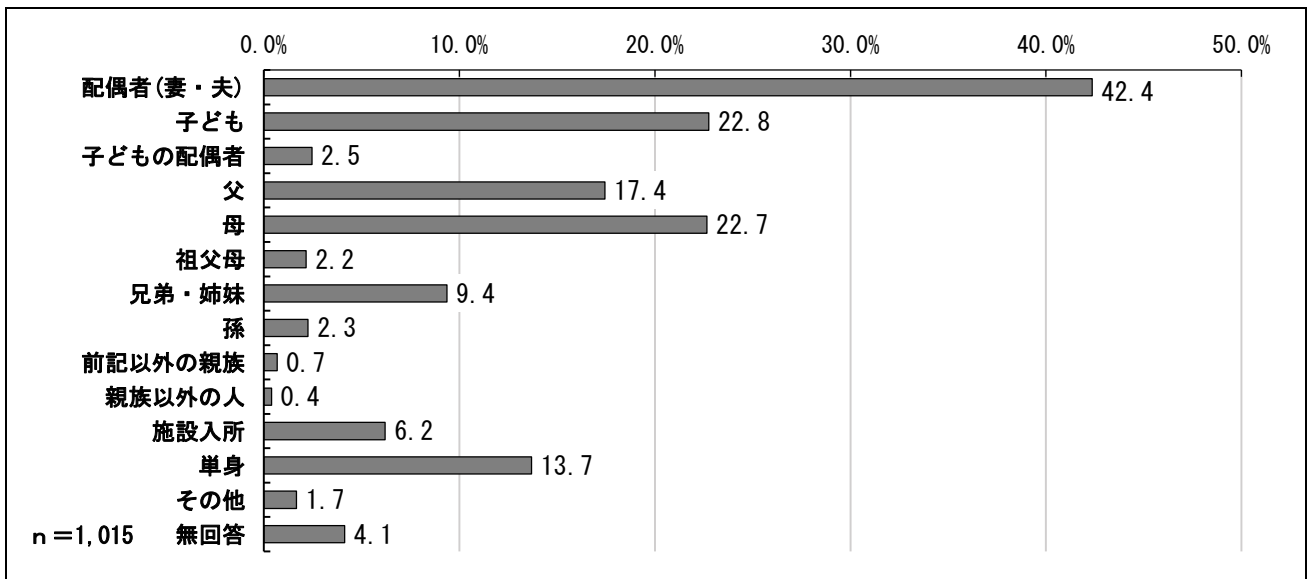
問 あなたの精神疾患の種類は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



○精神疾患の種類は、「気分障害」が32.3%で最も多く、次いで「統合失調症、妄想性障害」が31.2%、「発達障害」が19.4%となっています。

## (7) 一緒に生活している人

問 現在、どなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)



○一緒に生活している人は、「配偶者(妻・夫)」が42.4%で最も多く、次いで「子ども」が22.8%、「母」が22.7%などとなっています。

「単身」で生活をしている人は13.7%、「施設入所」は6.2%で、家族と離れて生活する障害者は約2割を占めています。

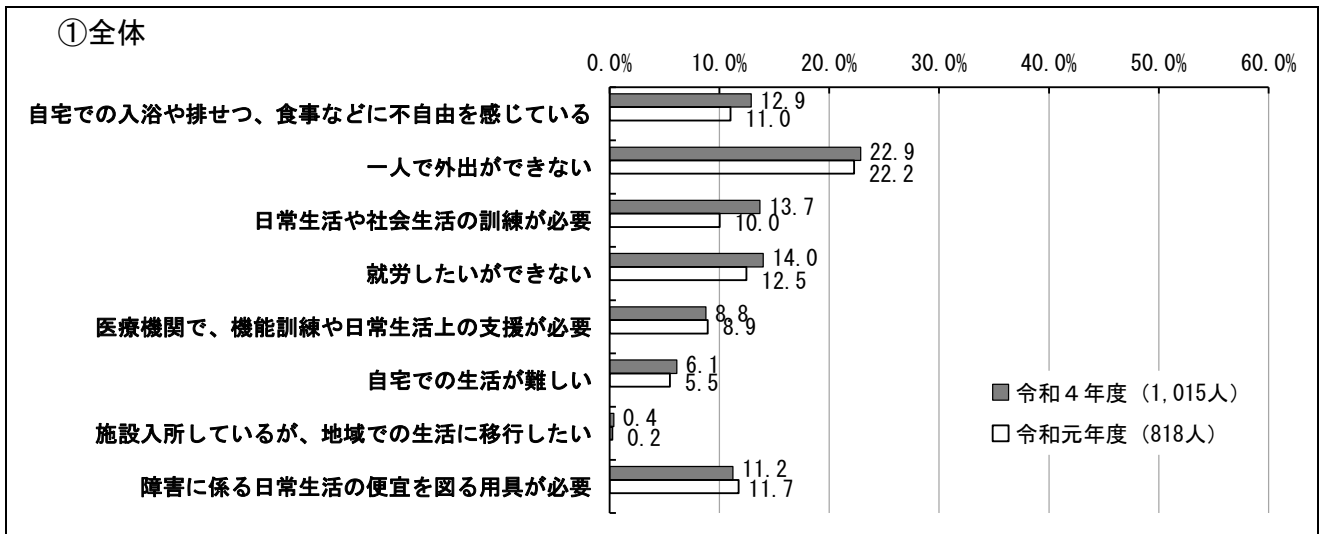


## 2. 障害福祉サービスの利用について

※「手帳を持っていない」、「手帳の有無・無回答」は集計より除いています。

### (1) 生活上で困っていること

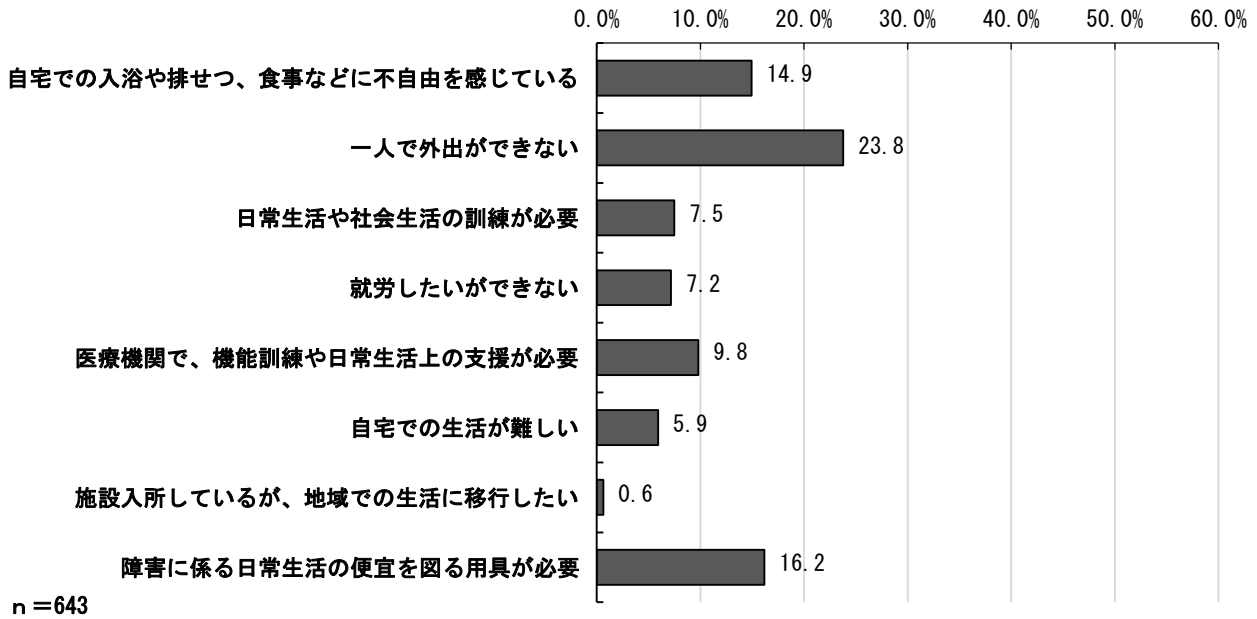
問 現在,生活上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



○現在,生活上で困っていることについてみると,「一人で外出ができない」が22.9%で最も多くなっています。次いで「就労したいができない」が14.0%,「日常生活や社会生活の訓練が必要」が13.7%,「自宅での入浴や排せつ,食事などに不自由を感じている」が12.9%となっています。

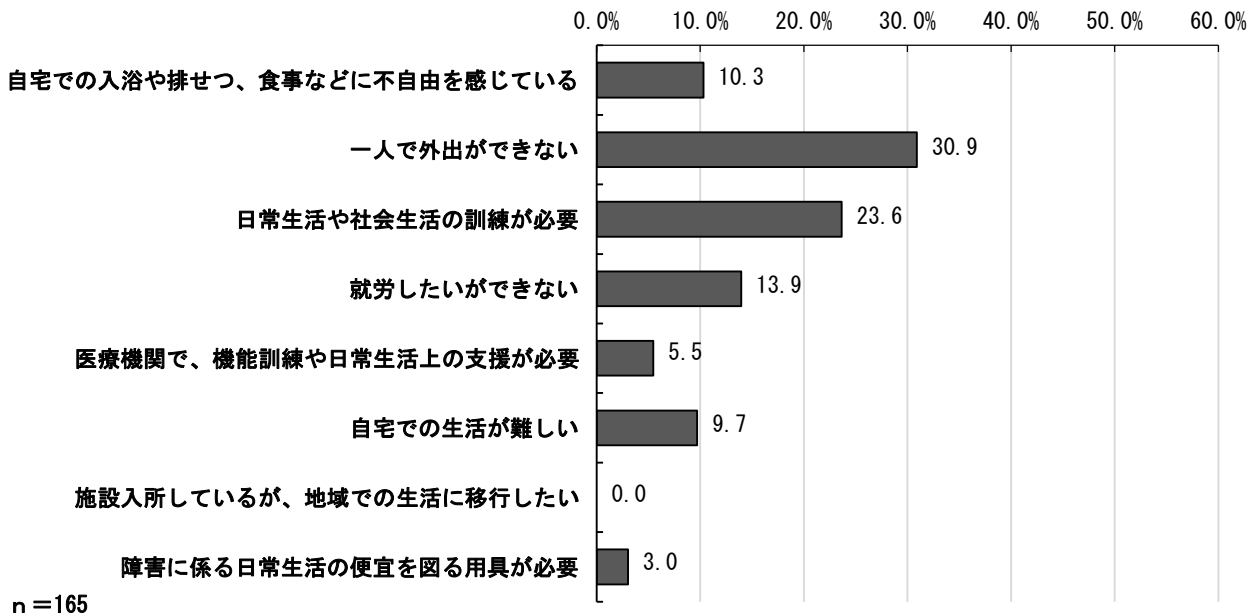
○令和元年度と比較すると,「自宅での入浴や排せつ,食事などに不自由を感じている」,「一人で外出ができない」,「日常生活や社会生活の訓練が必要」,「就労したいができない」,「自宅での生活が難しい」,「施設入所しているが,地域での生活に移行したい」でやや増加がみられます。

## ②身体障害



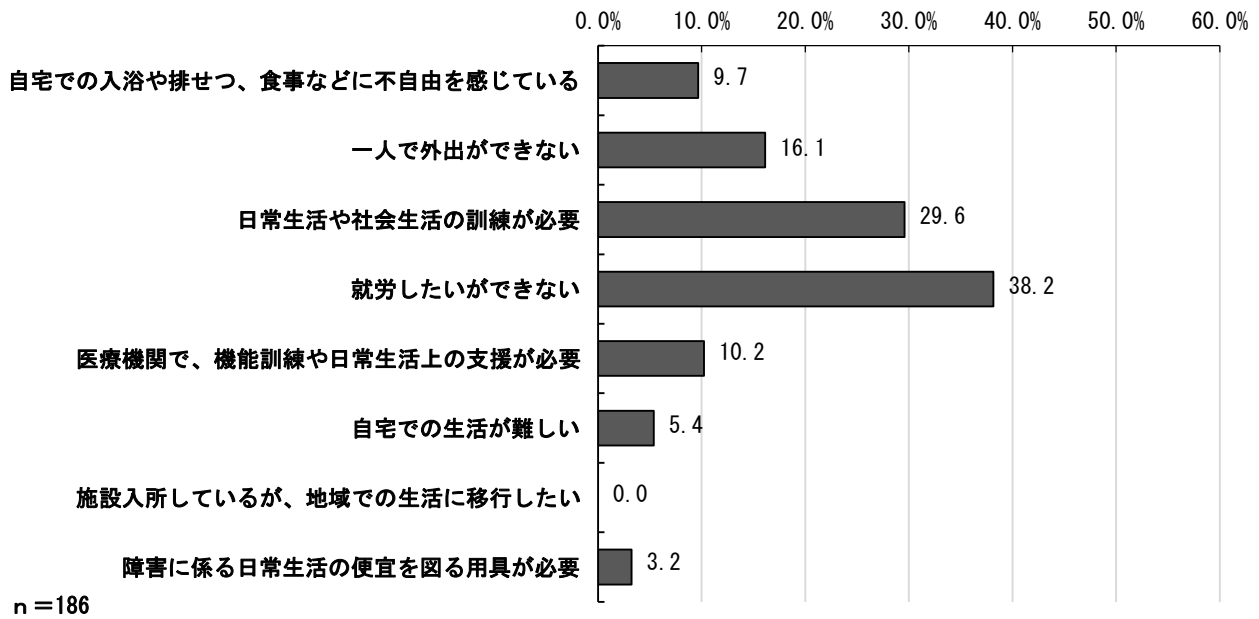
○障害種別についてみると、身体障害では「一人で外出ができない」が23.8%で最も多くなっています。そのほかの意見として、「障害に係る日常生活の便宜を図る用具が必要」(16.2%)、「自宅での入浴や排せつ、食事などに不自由を感じている」(14.9%)、「医療機関で、機能訓練や日常生活上の支援が必要」(9.8%)などが比較的上位に挙げられています。

## ③知的障害



○知的障害では、「一人で外出ができない」が30.9%で最も多くなっています。次いで、「日常生活や社会生活の訓練が必要」(23.6%)、「就労したいができない」(13.9%)などが比較的上位に挙げられています。

#### ④精神障害

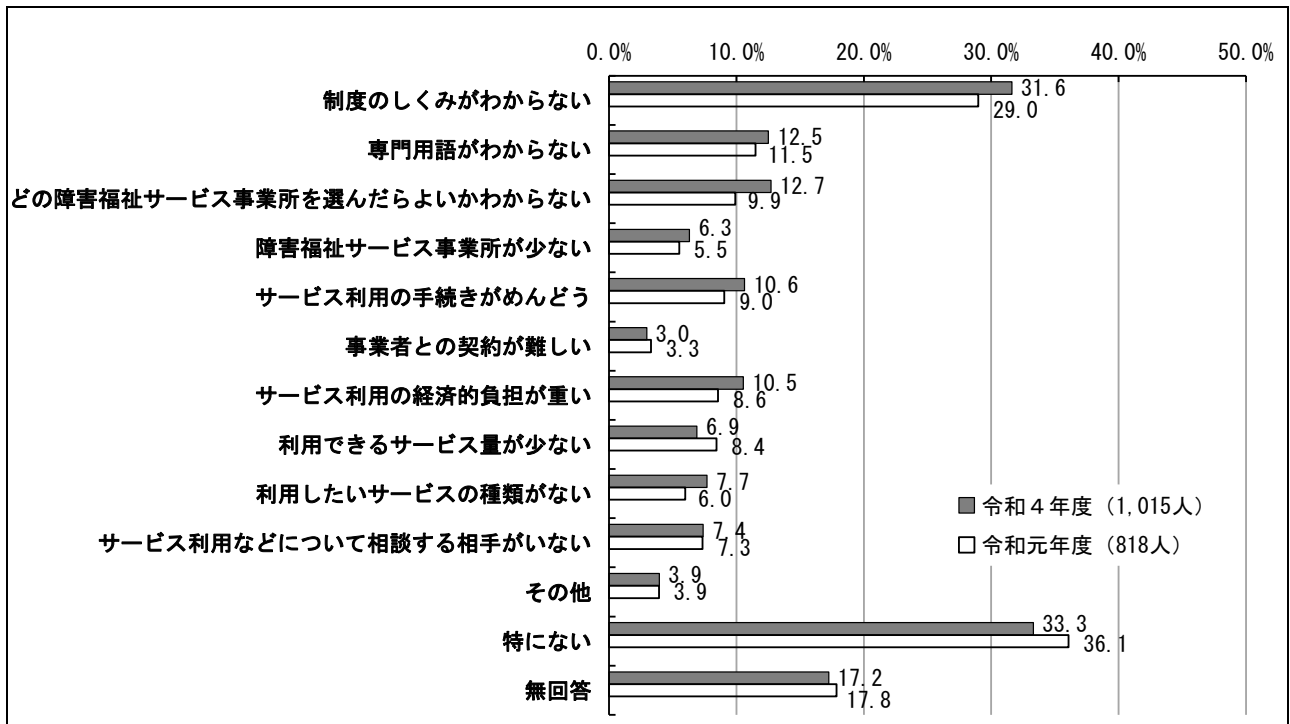


○精神障害では、「就労したいができない」が38.2%で最も多く、他の障害種別と比べ多く挙げられています。次いで、「日常生活や社会生活の訓練が必要」(29.6%)、「一人で外出ができない」(16.1%)などが比較的上位に挙げられています。

## (2) 障害福祉サービスについて困っていること

※「手帳を持っていない」、「手帳の有無・無回答」は集計より除いています。

問 現在、障害者総合支援法に基づいた福祉サービスが行われていますが、困っていることや心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

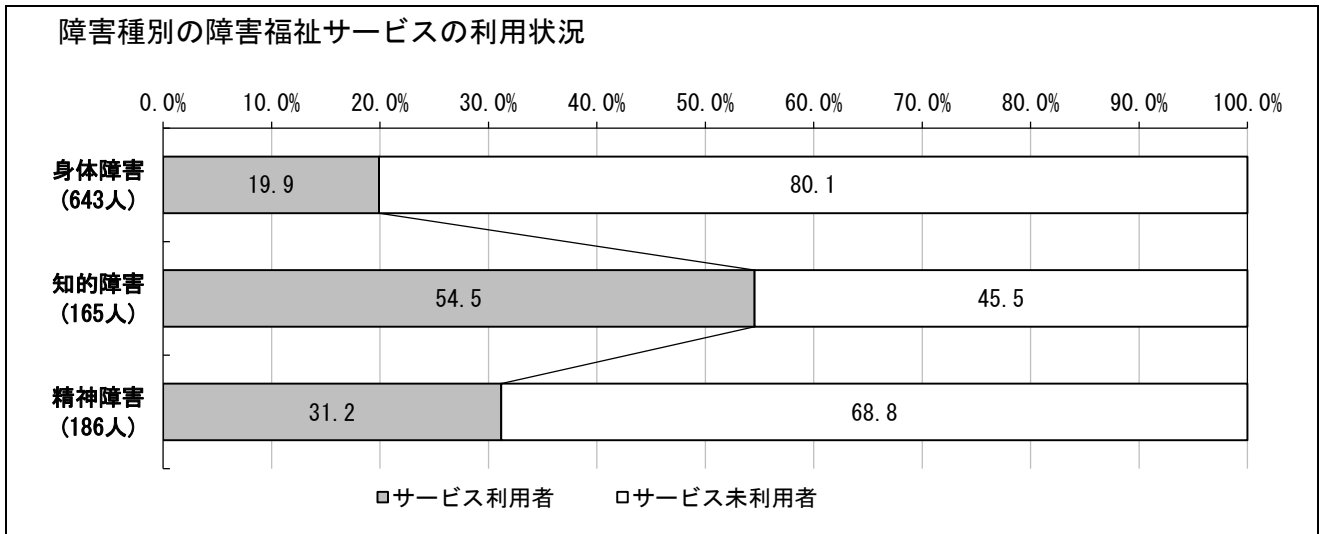


○障害福祉サービスで困っていることや心配なこととして、「特にない」を除き、「制度のしくみがわからない」が31.6%で最も多く挙げられています。

○令和元年度と比較すると、「どの障害福祉サービス事業所を選んだらよいかわからない」が2.8ポイント、「制度のしくみがわからない」が2.6ポイントの増加となっています。

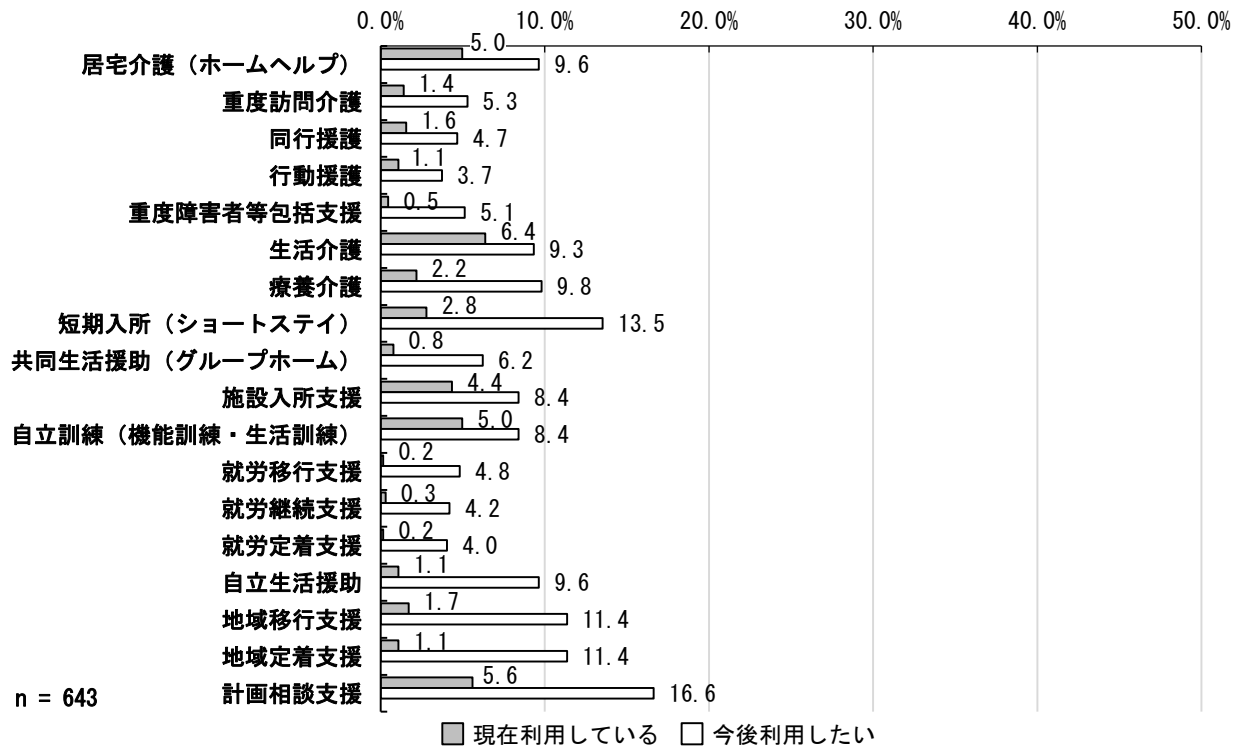
### (3) 障害福祉サービスの利用状況と今後の利用意向

問 障害者総合支援法に基づいて行われている主な福祉サービスは以下のような内容になっています。あなたは現在これらを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。



○現在障害福祉サービスの利用状況は、知的障害で利用者の割合が54.5%で最も多く、半数以上が障害福祉サービスを利用しています。  
その他の障害種別では、精神障害で31.2%、身体障害で19.9%と続きます。

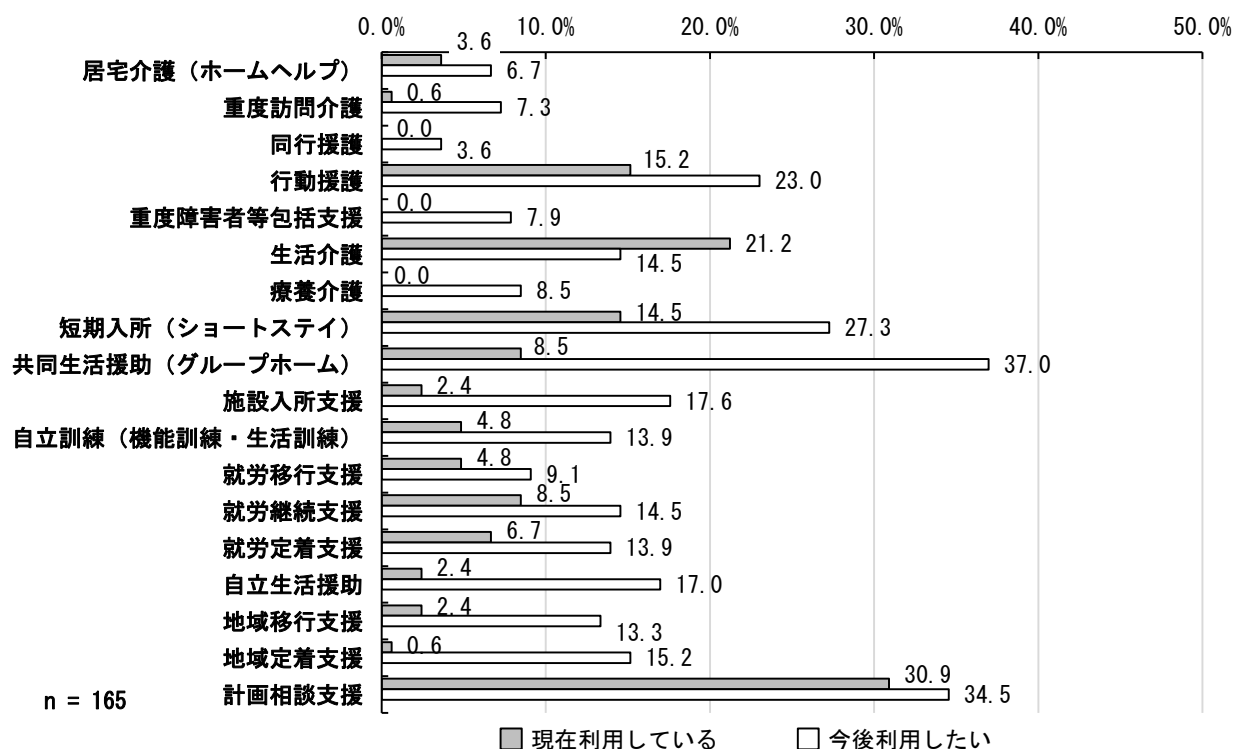
①身体障害



○現在利用しているサービスは、障害種別についてみると、身体障害では「生活介護」が6.4%で最も多く、次いで「計画相談支援」が5.6%、「居宅介護 (ホームヘルプ)」, 「自立訓練 (機能訓練・生活訓練)」がともに5.0%となっています。

○今後利用したいサービスは、身体障害では「計画相談支援」が16.6%で最も多く、次いで「短期入所 (ショートステイ)」が13.5%となっています。

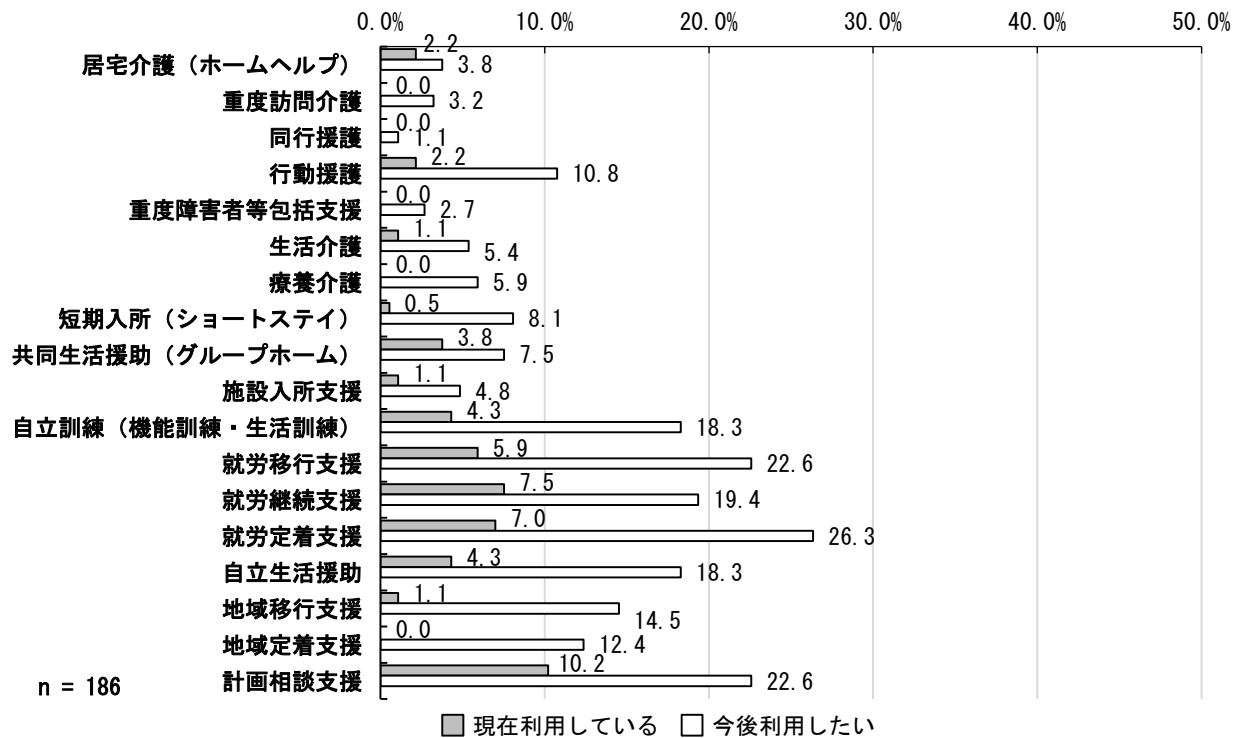
## ②知的障害



○現在利用しているサービスは、知的障害では「計画相談支援」が30.9%で最も多く、次いで「生活介護」が21.2%、「行動援護」が15.2%となっています。

○今後利用したいサービスは、知的障害では「共同生活援助 (グループホーム)」が37.0%で最も多く、次いで「計画相談支援」が34.5%、「短期入所 (ショートステイ)」が27.3%となっています。

### ③精神障害



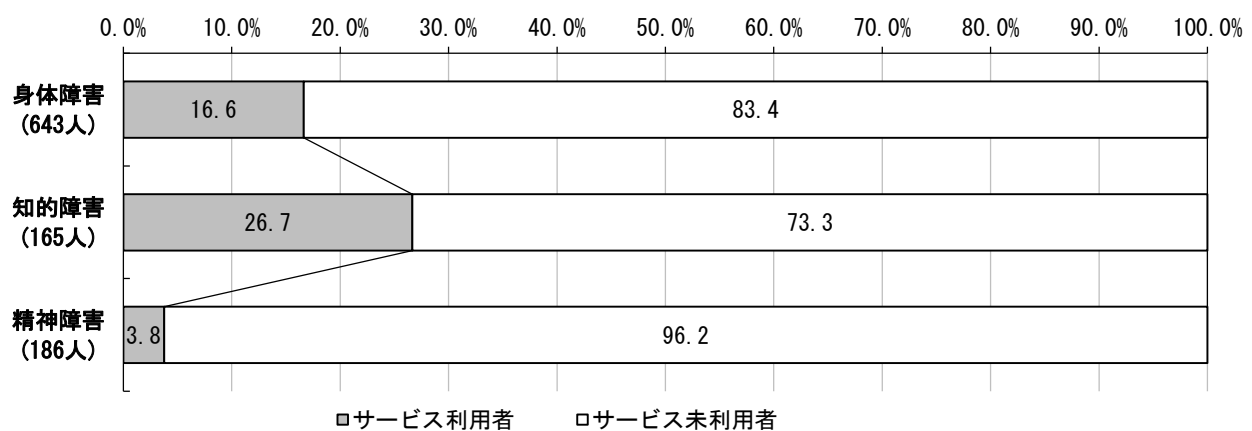
○現在利用しているサービスは、精神障害では「計画相談支援」が10.2%で最も多く、次いで「就労継続支援」が7.5%となっています。

○今後利用したいサービスは、精神障害では「就労定着支援」が26.3%で最も多く、次いで「就労移行支援」、「計画相談支援」が22.6%、「就労継続支援」19.4%となっています。

### (4) 地域生活支援事業の利用状況と今後の利用意向

問 八千代市では地域生活支援事業として下記のサービスを実施しています。あなたは現在これらのサービスを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。

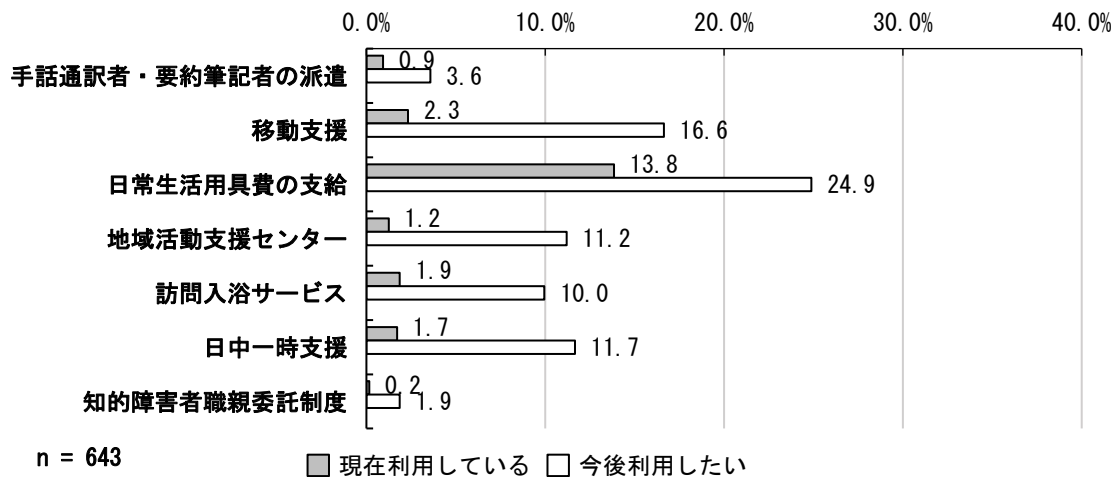
障害種別の地域生活支援事業の利用状況



○現在地域生活支援事業の利用状況は、知的障害で利用者の割合が26.7%で最も多くなっています。次いで、身体障害が16.6%、精神障害が3.8%となっており、大半が地域生活支援事業を利用していない状況となっています。



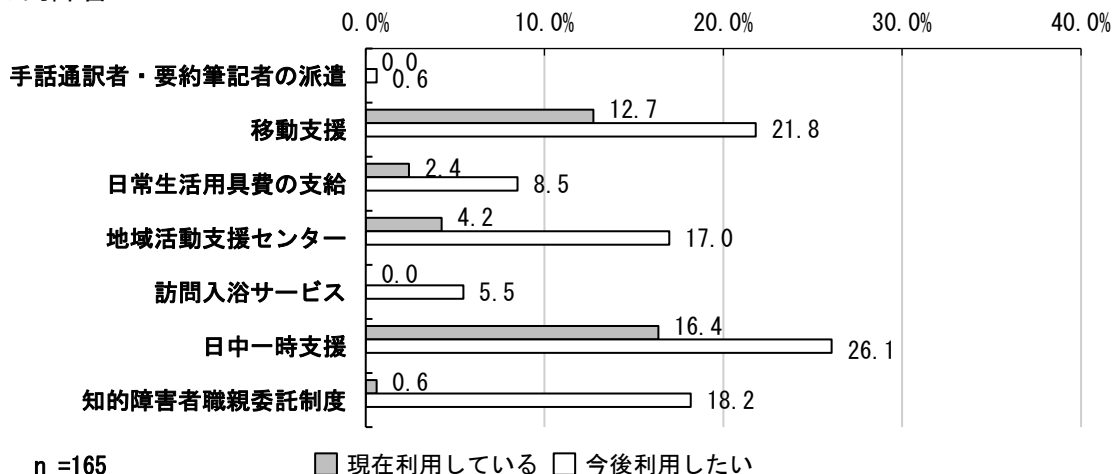
### ①身体障害



○現在利用しているサービスは、障害種別についてみると、身体障害では「日常生活用具費の支給」が13.8%で最も多くなっています。

○今後利用したいサービスは、身体障害では「日常生活用具費の支給」が24.9%で最も多く、次いで「移動支援」が16.6%、「日中一時支援」が11.7%となっています。

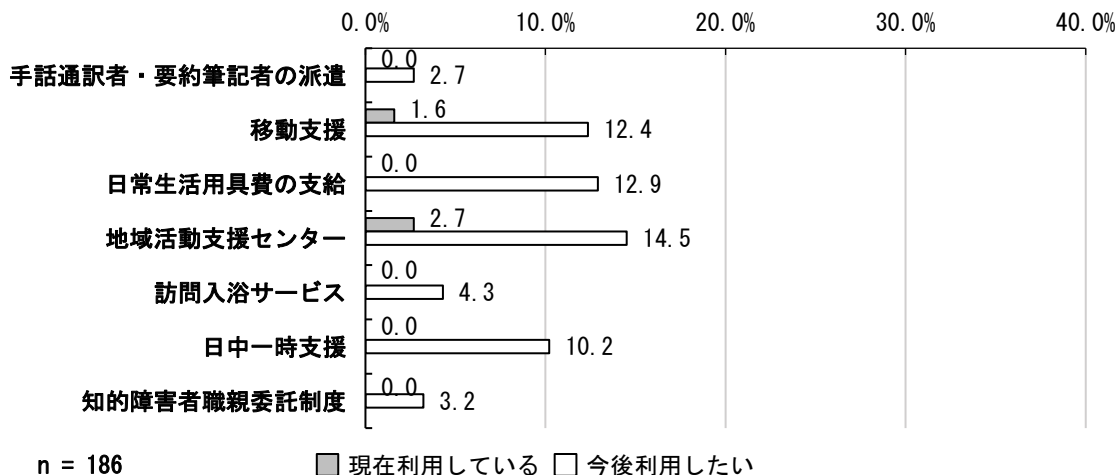
### ②知的障害



○現在利用しているサービスは、知的障害では「日中一時支援」が16.4%で最も多くなっています。次いで「移動支援」が12.7%となっています。

○今後利用したいサービスは、知的障害では「日中一時支援」が26.1%で最も多く、次いで「移動支援」が21.8%、「知的障害者職親委託制度」が18.2%、「地域活動支援センター」が17.0%となっています。

### ③精神障害



○現在利用しているサービスは、精神障害では「地域活動支援センター」が2.7%で最も多くなっています。

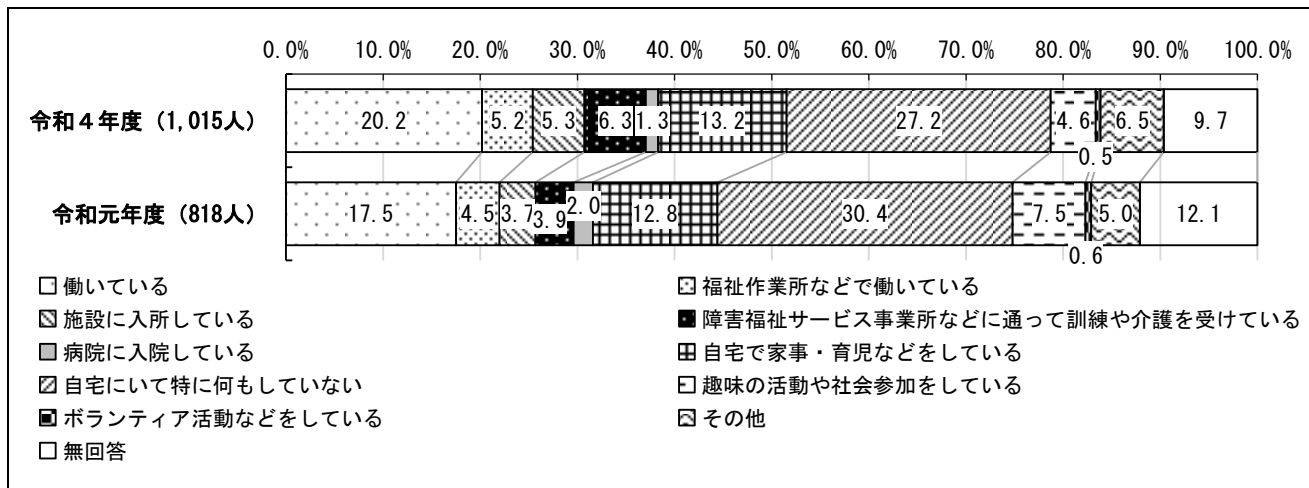
○今後利用したいサービスは、精神障害では「地域活動支援センター」が14.5%で最も多く、次いで「日常生活用具費の支給」が12.9%、「移動支援」が12.4%となっています。

### 3. 日中の過ごし方について

※「手帳を持っていない」、「手帳の有無・無回答」は個別の集計より除いています。

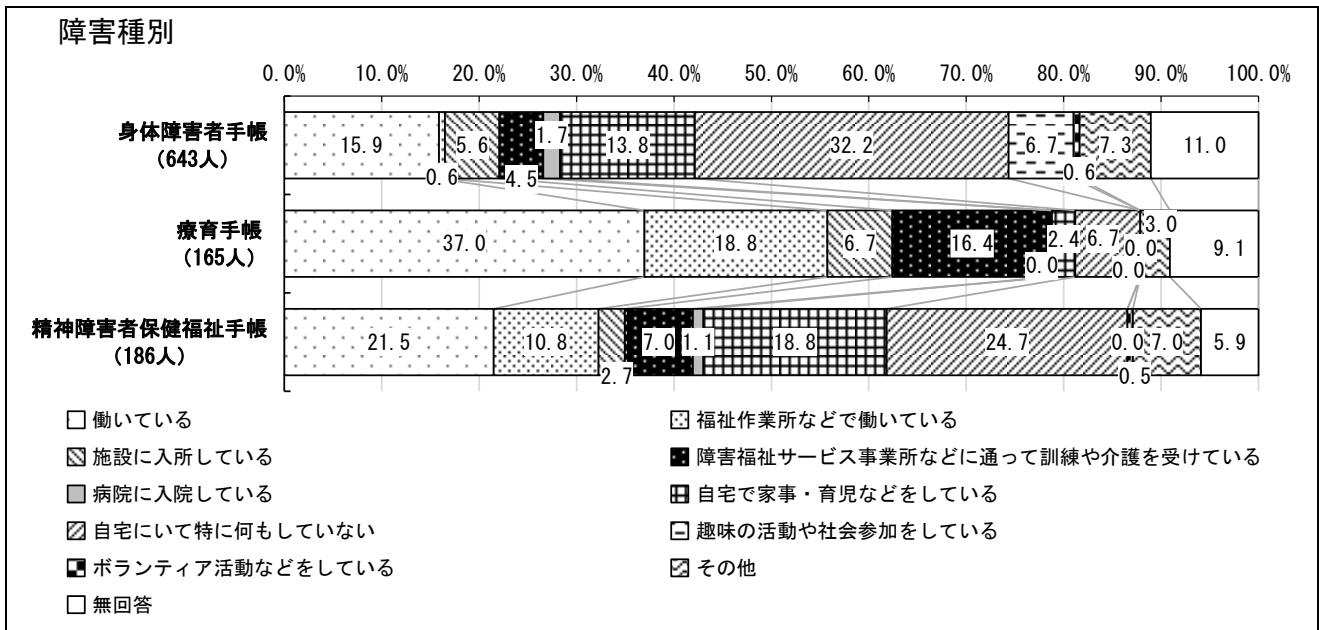
#### (1) 平日の昼間の主な過ごし方

問 あなたは、平日の昼間は、主にどこで(何をして)過ごしていますか。(1つに○)



○平日昼間の過ごし方は、「自宅にいて特に何もしていない」が27.2%で最も多く、次いで「働いている」が20.2%、「自宅で家事・育児などを行っている」が13.2%となっています。

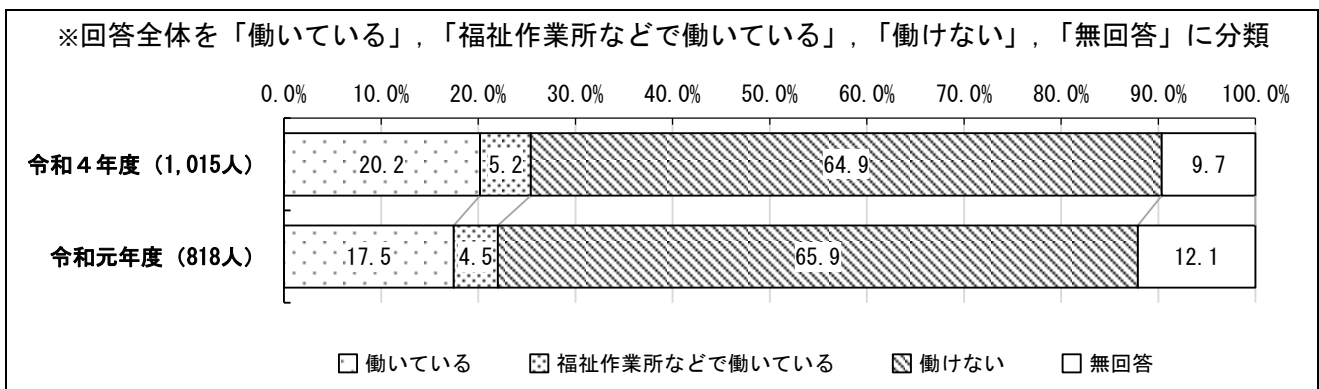
○令和元年度と比較すると、「働いている」が2.7ポイント、「障害福祉サービス事業所などに通って訓練や介護を受けている」が2.4ポイント増加しています。



○障害種別についてみると、身体障害では「自宅にいて特に何もしていない」が32.2%で最も多く、次いで「働いている」が15.9%、「自宅で家事・育児などをしている」が13.8%となっています。

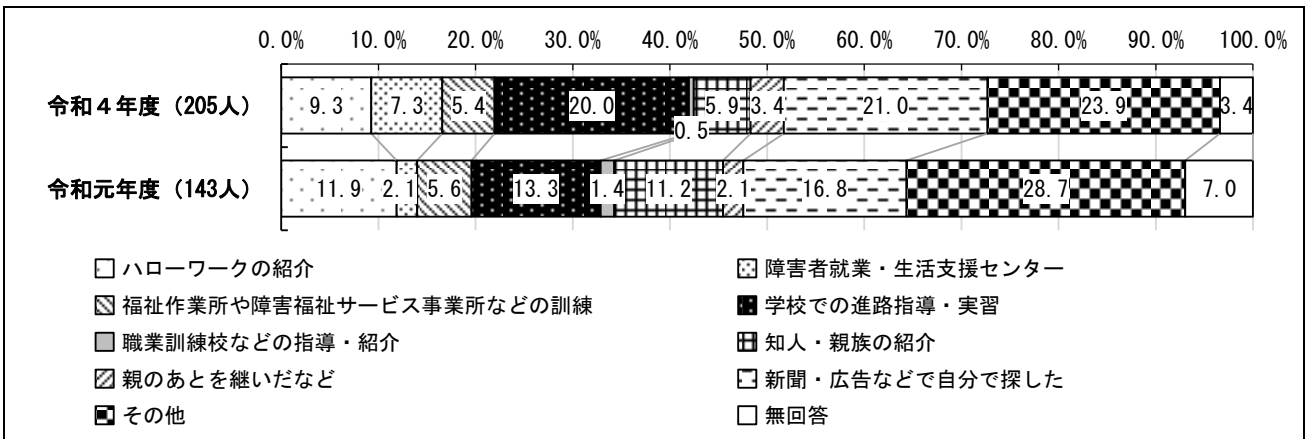
知的障害では、「働いている」が37.0%で最も多く、次いで「福祉作業所などで働いている」が18.8%で、一般就労と福祉的就労を合わせると5割以上が日中就労しています。そのほか、「障害福祉サービス事業所などに通って訓練や介護を受けている」が16.4%などとなっています。

精神障害では、「自宅にいて特に何もしていない」が24.7%で最も多く、「働いている」が21.5%、「自宅で家事・育児などをしている」が18.8%となっています。



## (2) 仕事に就く主なきっかけ

問 (「働いている」とお答えの方へ)仕事に就く主なきっかけは何でしたか。(1つに○)



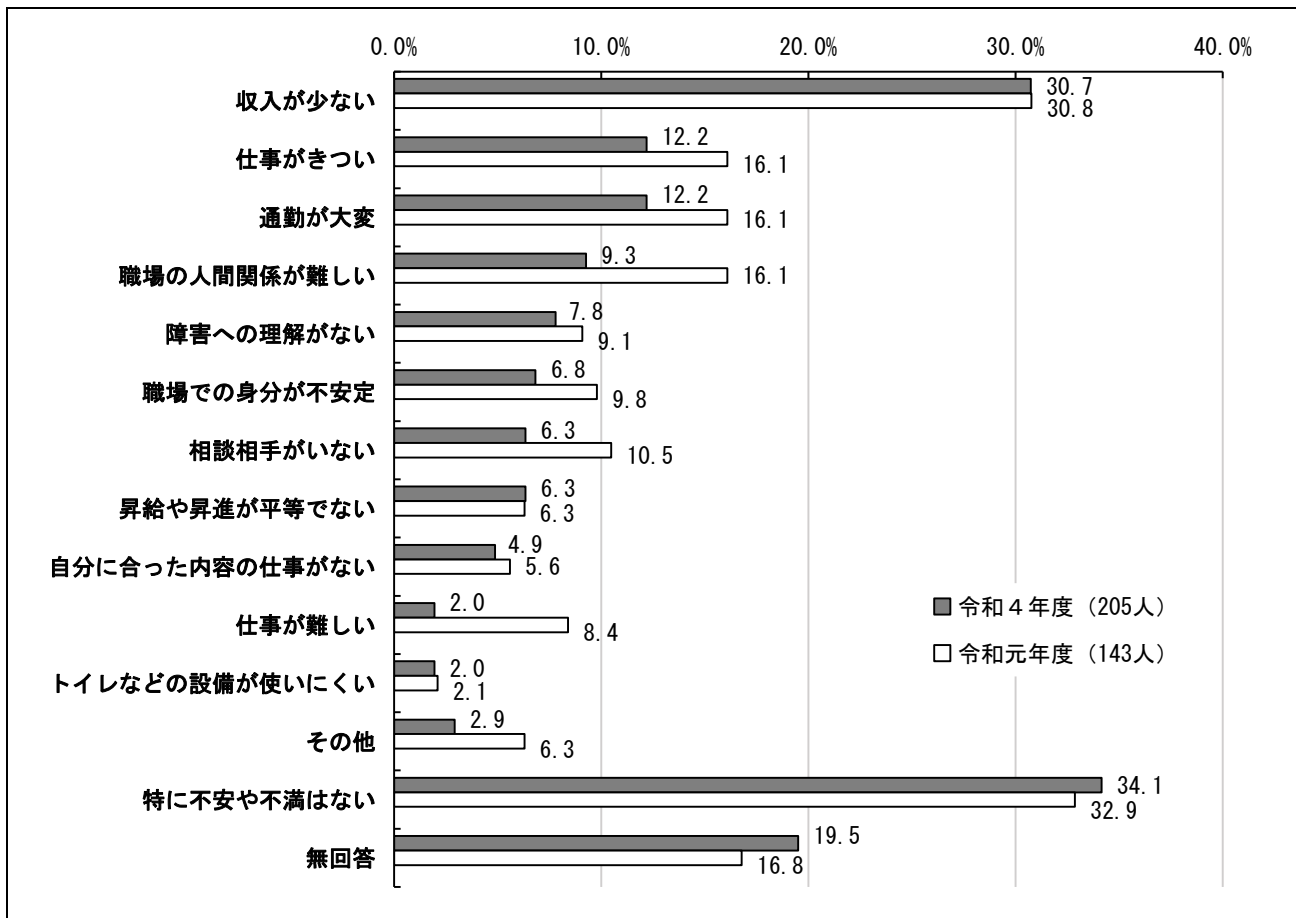
○仕事に就いた主なきっかけは、「その他」を除き、「新聞・広告などで自分で探した」が21.0%で最も多く、次いで「学校での進路指導・実習」が20.0%、「ハローワークの紹介」が9.3%、「障害者就業・生活支援センター」が7.3%となっています。

○令和元年度と比較すると、「学校での進路指導・実習」,「新聞・広告などで自分で探した」などで増加がみられます。

### (3) 仕事上の不安や不満

問 (「働いている」とお答えの方へ) 仕事をする上で不安や不満はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

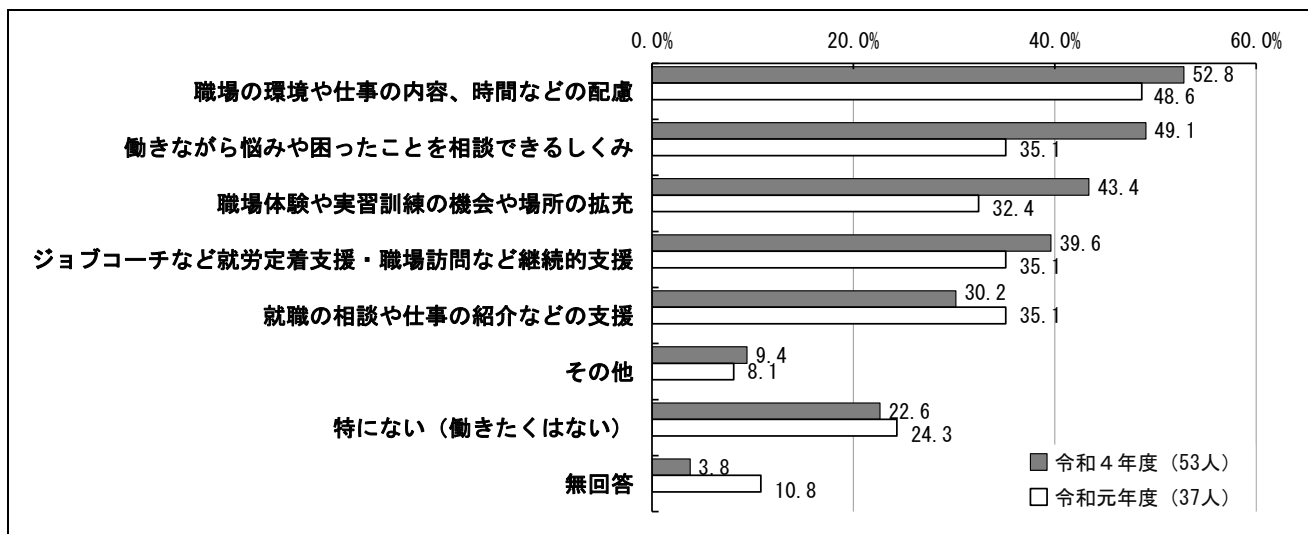


○仕事上の不安や不満は、「収入が少ない」が30.7%で最も多く、次いで「仕事がつらい」、  
「通勤が大変」が12.2%となっています。一方、「特に不安や不満はない」が34.1%とな  
っています。

○令和元年度と比較すると、「職場の人間関係が難しい」、「仕事が難しい」で5ポイント以  
上の減少となっています。

#### (4) 一般就労への移行のために必要な支援

問（「福祉作業所などで働いている」とお答えの方へ）あなたは、どのような支援があれば企業などでの一般就労に移行できると思いますか。（あてはまるものすべてに○）



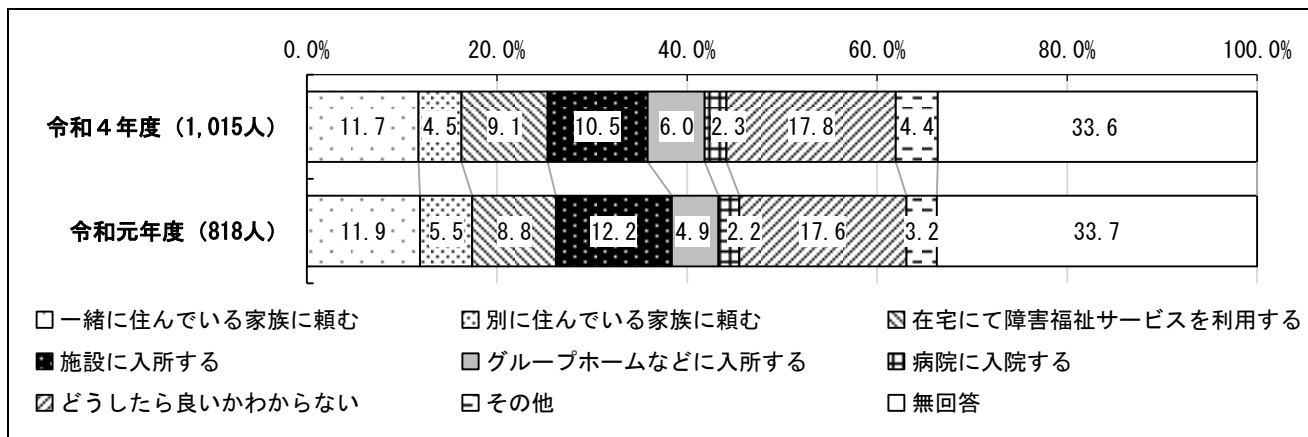
- 一般就労への移行のために必要な支援は、「職場の環境や仕事の内容、時間などの配慮」が52.8%で最も多く、次いで「働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ」が49.1%となっています。一方、「特にない（働きたくはない）」は22.6%となっています。
- 令和元年度と比較すると、「働きながら悩みや困ったことを相談できるしくみ」が14.0ポイントの増加、「職場体験や実習訓練の機会や場所の拡充」が11.0ポイントの増加となっています。一方、「就職の相談や仕事の紹介などの支援」が4.9ポイントの減少となっています。

#### 4. 将来の生活について

※「手帳を持っていない」、「手帳の有無・無回答」は個別の集計より除いています。

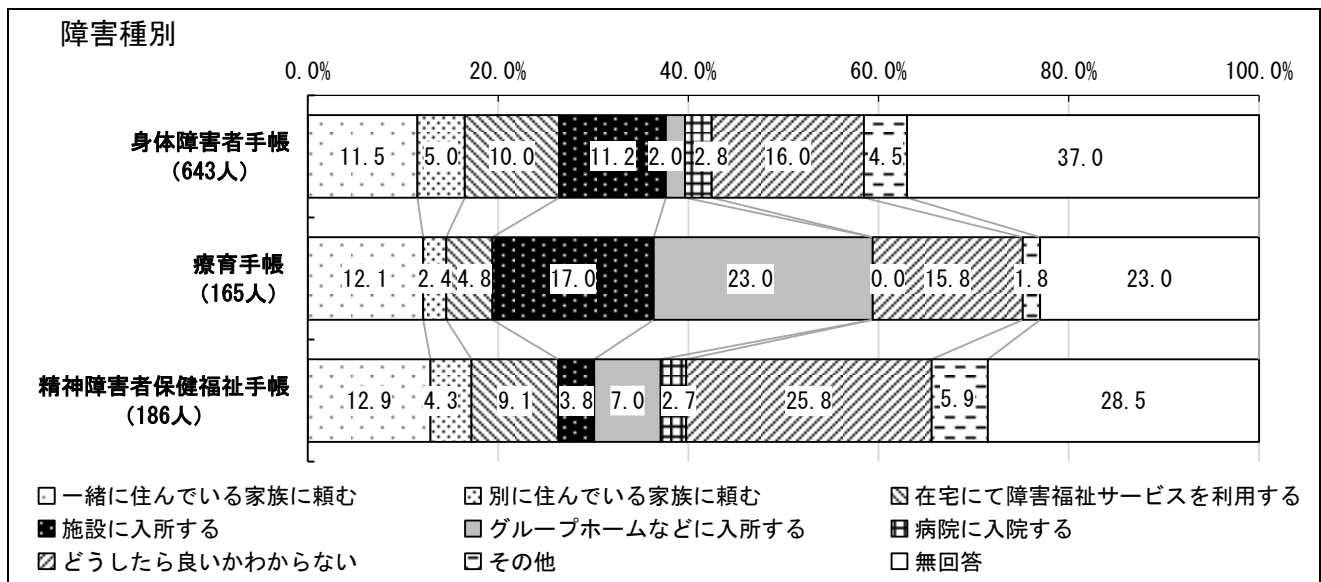
##### (1) 介助者が介助・支援できなくなった場合

問 毎日の生活の中で介助や支援が必要な方にお聞きします。主な介助者があなたを介助・支援できなくなった場合はどうしますか。(1つに○)



○介助者が介助支援できなくなった場合、全体では「どうしたら良いかわからない」が17.8%で最も多く、次いで「一緒に住んでいる家族に頼む」が11.7%、「施設に入所する」が10.5%となっています。

○令和元年度と比較すると、「グループホームなどに入所する」が1.1ポイントの増加となっています。



○障害種別にみると、身体障害では「どうしたら良いかわからない」が16.0%で最も多く、次いで「一緒に住んでいる家族に頼む」が11.5%、「施設に入所する」が11.2%となっています。

知的障害では、「グループホームなどに入所する」が23.0%で最も多く、次いで「施設に入所する」が17.0%、「どうしたら良いかわからない」が15.8%となっています。

精神障害では、「どうしたら良いかわからない」が25.8%で最も多く、次いで「一緒に住んでいる家族に頼む」が12.9%となっています。

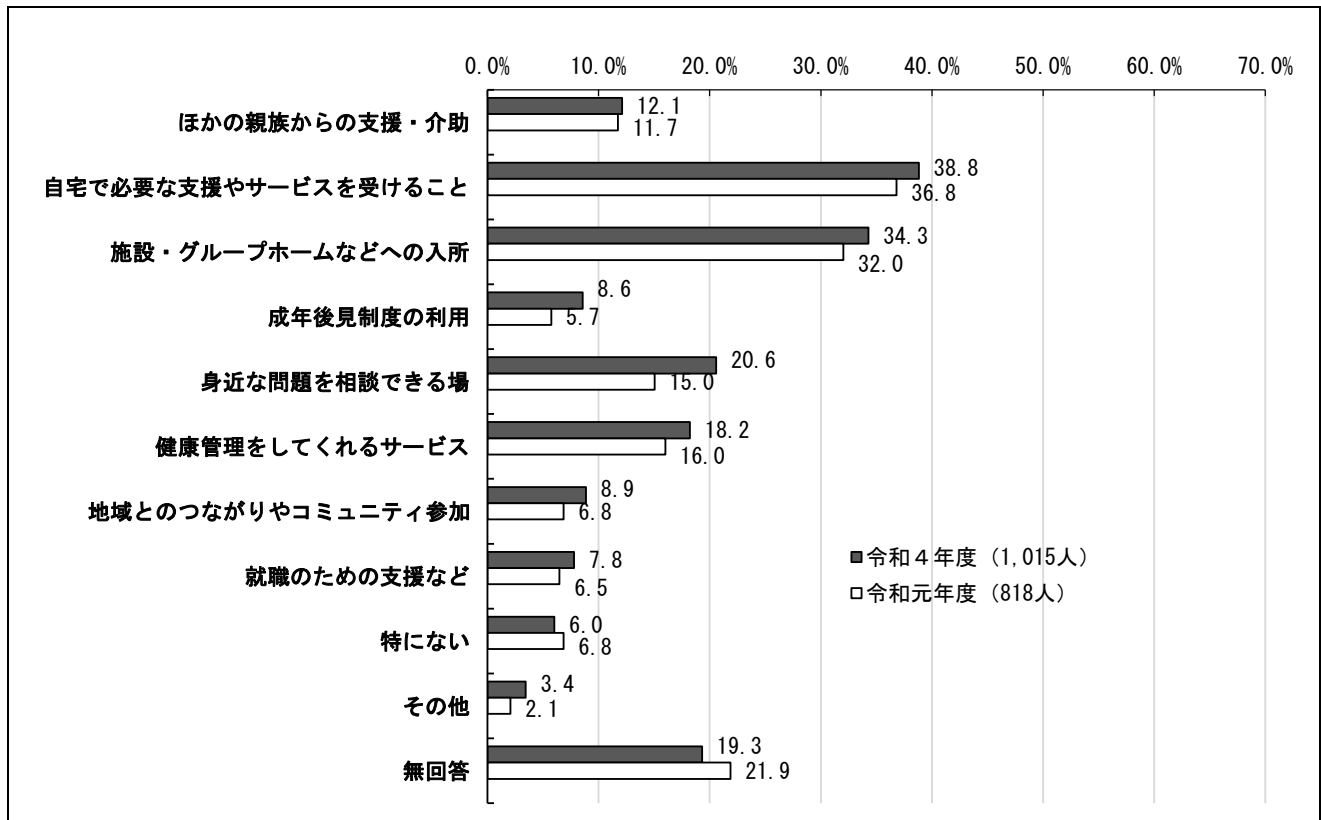
どの障害種別も「どうしたら良いかわからない」が多くあり、介助者が介助・支援できなくなった場合、家族ではなく施設などの福祉サービスの利用を考える意見が多い傾向にあります。



## (2) 主な介助者が亡くなったり, 高齢になって介助が難しくなった場合

問 自分を主に介助してくれている人(親, 兄弟, 親族など)が亡くなったり, 高齢になって介助することが難しくなったりしたときにあなたが必要だと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)



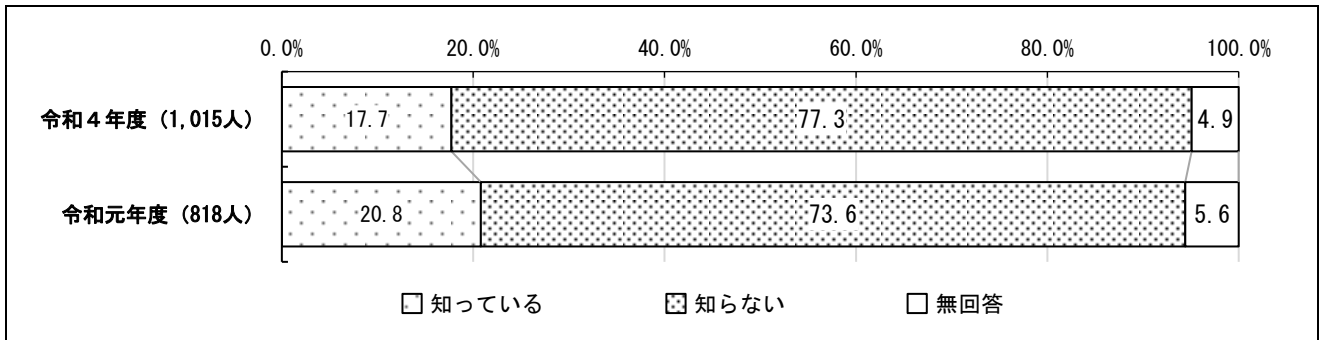
○主な介助者が亡くなったり, 高齢になって介助が難しくなった場合に必要だと思うことは, 「自宅で必要な支援やサービスを受けること」が38.8%で最も多く, 次いで「施設・グループホームなどへの入所」が34.3%となっています。

○令和元年度と比較すると, 「身近な問題を相談できる場」が5.6ポイント, 次いで「成年後見制度の利用」が2.9ポイント増加しています。

## 5. 災害時の対応について

### (1) 福祉避難所の認知状況

問 災害時に※福祉避難所が設置される場合があることを知っていますか。(1つに○)



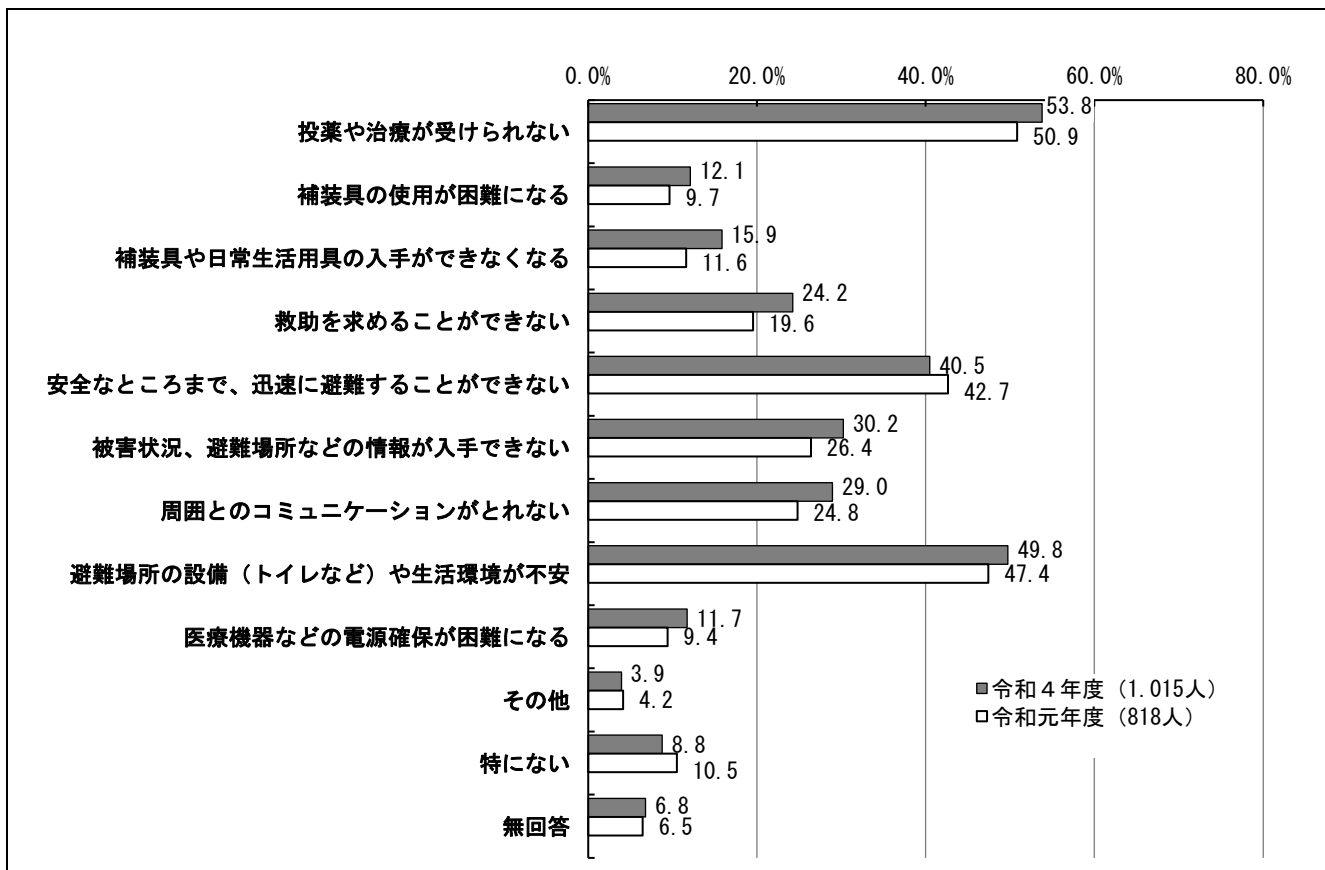
○福祉避難所の認知状況は、「知らない」が77.3%で、大半の障害者に認知されていない状況になっています。

○令和元年度と比較すると、「知らない」が3.7ポイントの増加となっています。

※福祉避難所：高齢者や障害のある人など、一般の避難所では生活に支障をきたす人たちのために配慮された避難所であり、2次的避難所として設置されます。

## (2) 災害時に困ること

問 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



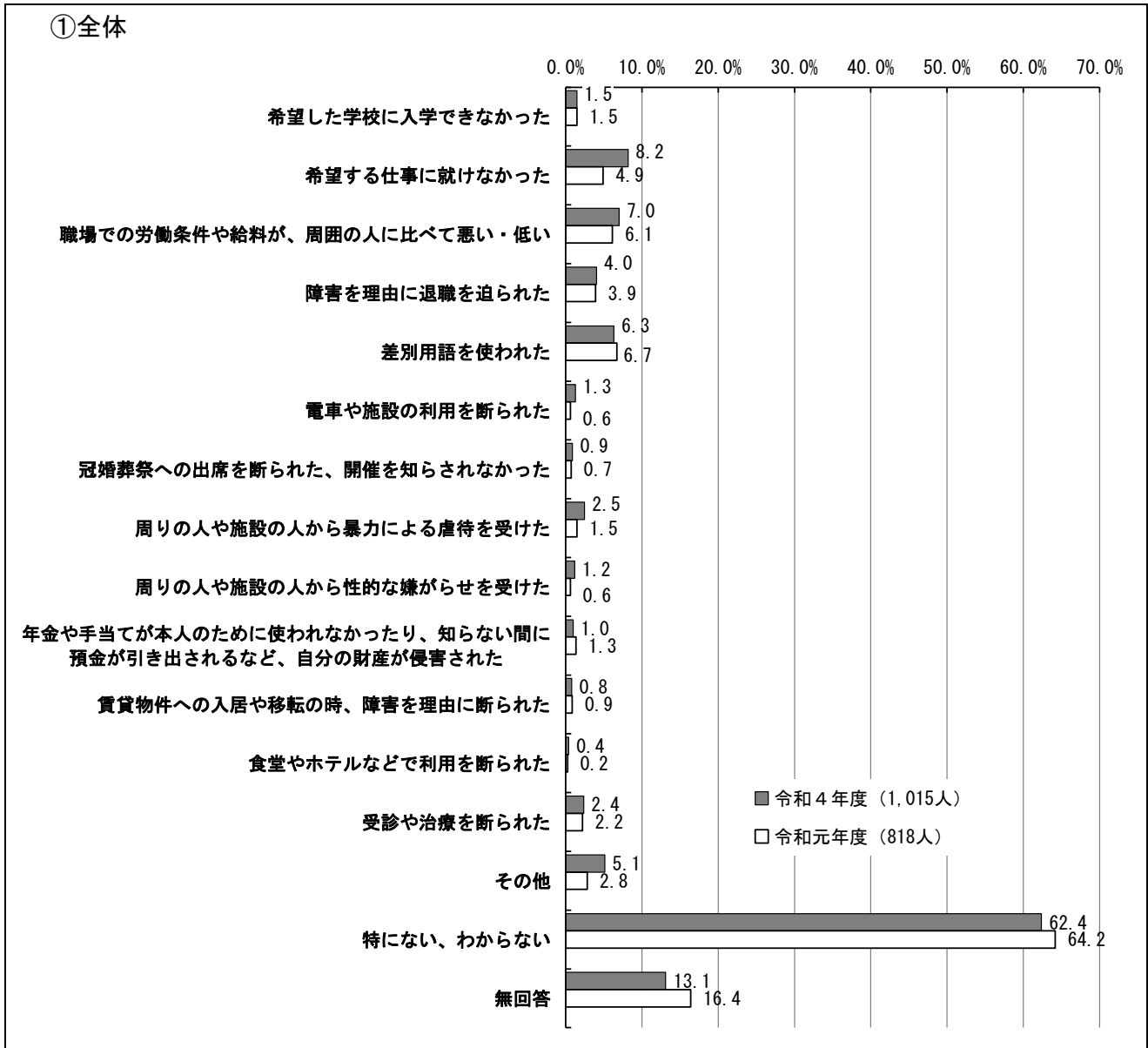
○災害時に困ることは、「投薬や治療が受けられない」が53.8%で最も多く、次いで「避難場所の設備 (トイレなど) や生活環境が不安」が49.8%、「安全なところまで、迅速に避難することができない」が40.5%となっています。

○令和元年度と比較すると、「補装具や日常生活用具の入手ができなくなる」, 「救助を求めることができない」, 「周囲とのコミュニケーションがとれない」で4ポイント以上の増加となっています。

## 6. 権利擁護などについて

### (1) 人権を損なう扱いを受けた経験

問 あなたは、障害があることが原因で、日常生活の中で下記のような人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)

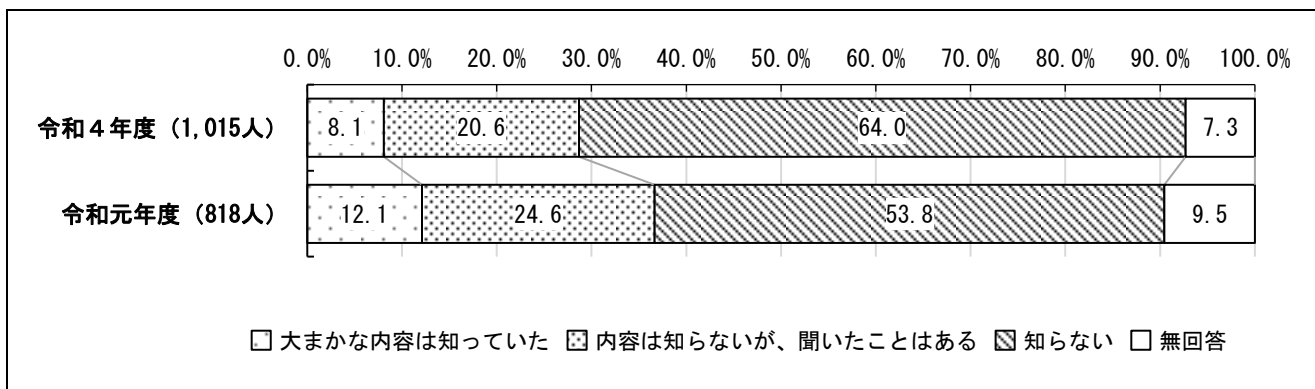


○人権を損なう扱いを受けた経験があるかどうかについてたずねたところ、「特にない、わからない」が62.4%で過半を占めています。『経験がある』として比較的上位に挙げられたのは、「希望する仕事に就けなかった」(8.2%)、「職場での労働条件や給料が、周囲の人に比べて悪い・低い」(7.0%)、「差別用語が使われた」(6.3%)となっています。

○令和元年度と比較すると、「希望する仕事に就けなかった」が3.3ポイント高くなっています。

## (2) 障害者差別解消法についての認知状況

問 あなたは「※障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」をご存じですか。（1つに○）



○「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の認知状況についてみると、「大まかな内容は知っていた」（8.1%）と「内容は知らないが、聞いたことはある」（20.6%）を合わせた『知っている』が約3割となっています。

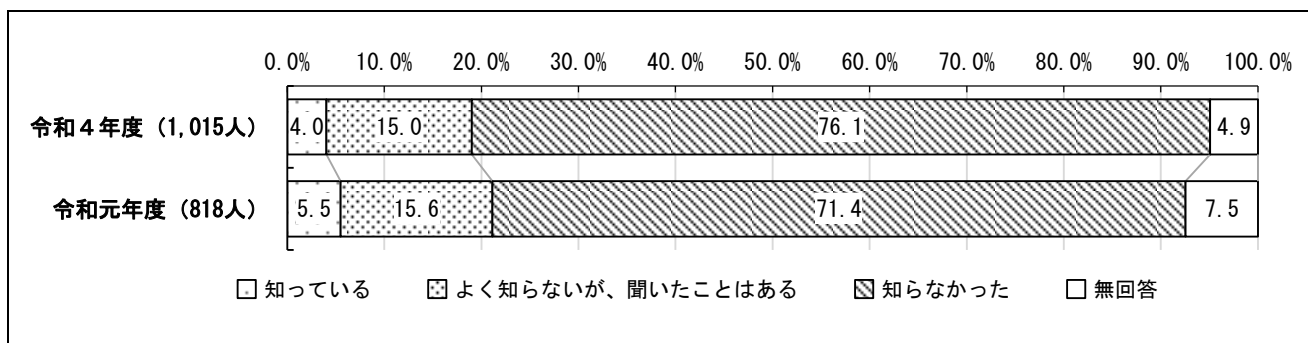
一方で、「知らない」は64.0%と半数以上を占めており、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の認知度が低い状況になっています。

○令和元年度と比較すると、「大まかな内容は知っていた」、「内容は知らないが、聞いたことはある」がそれぞれ4ポイントの減少となっており、認知が進んでいない状況がうかがえます。

※「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、行政機関、公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めています。すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的としています。

### (3) 障害者虐待防止センターの認知状況

問 八千代市では、障害のある方ご本人やそのご家族、支援者など周囲の方からの障害者虐待に関する悩みや疑問など、様々な相談を受け付ける「障害者虐待防止センター」を設置しています。あなたは、このことをご存じでしたか。(1つに○)

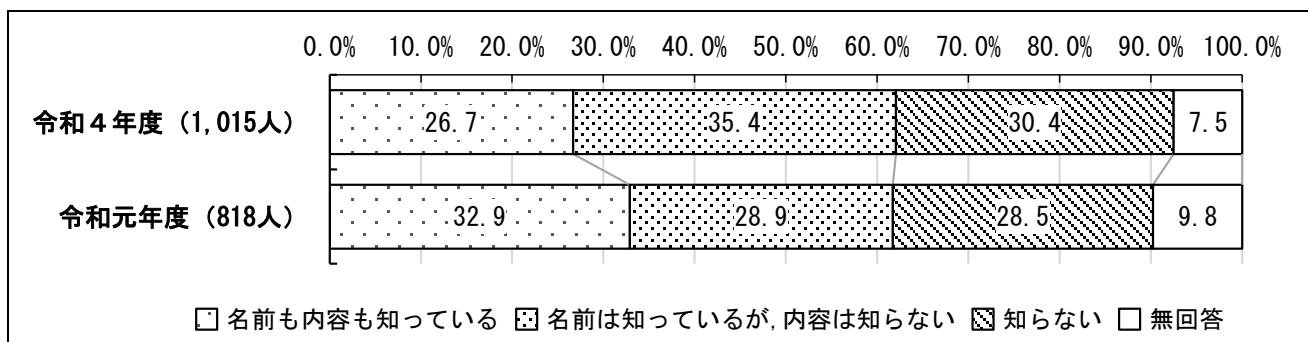


- 「障害者虐待防止センター」の認知状況は、「知っている」(4.0%)と「よく知らないが、聞いたことはある」(15.0%)を合わせた『知っている』が約2割となっています。一方で、「知らなかった」が76.1%で7割以上を占めており、認知度が低い状況となっています。
- 令和元年度と比較すると、「知らなかった」が増加しており、認知が進んでいない状況がうかがえます。

### (4) 成年後見制度

#### i) 成年後見制度の認知状況

問 あなたは「※成年後見制度」をご存じですか。(1つに○)

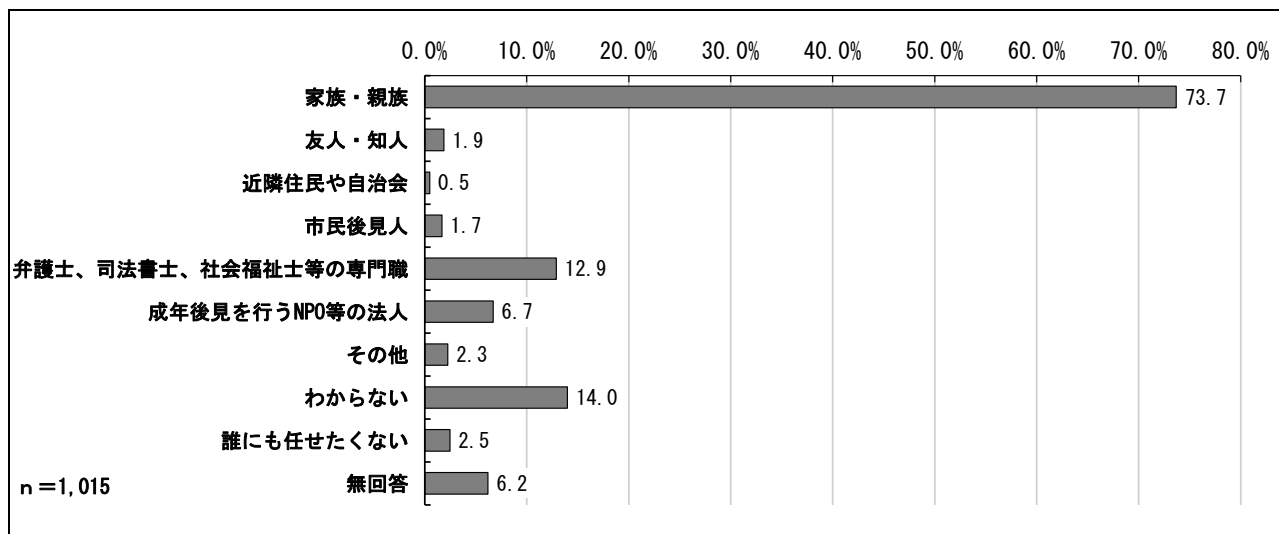


- 成年後見制度の認知状況は、「名前は知っているが、内容は知らない」が35.4%で最も多く、「名前も内容も知っている」(26.7%)を合わせた『知っている』は6割以上となっています。
- 令和元年度と比較すると、『知っている』の合計が0.3ポイント増加しています。

※「成年後見制度」は、判断能力が不十分な成年者(知的障害者、精神障害者、認知症の高齢者など)が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる人(「後見人」)を付け、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度です。また、判断力があるうちに後見人をあらかじめ選んでおく「任意後見契約」という制度もあります。

## ii) 成年後見制度の利用について

問 あなたは、万一自分自身では判断ができなくなった場合、「成年後見制度」を利用し財産を任せたい人は誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

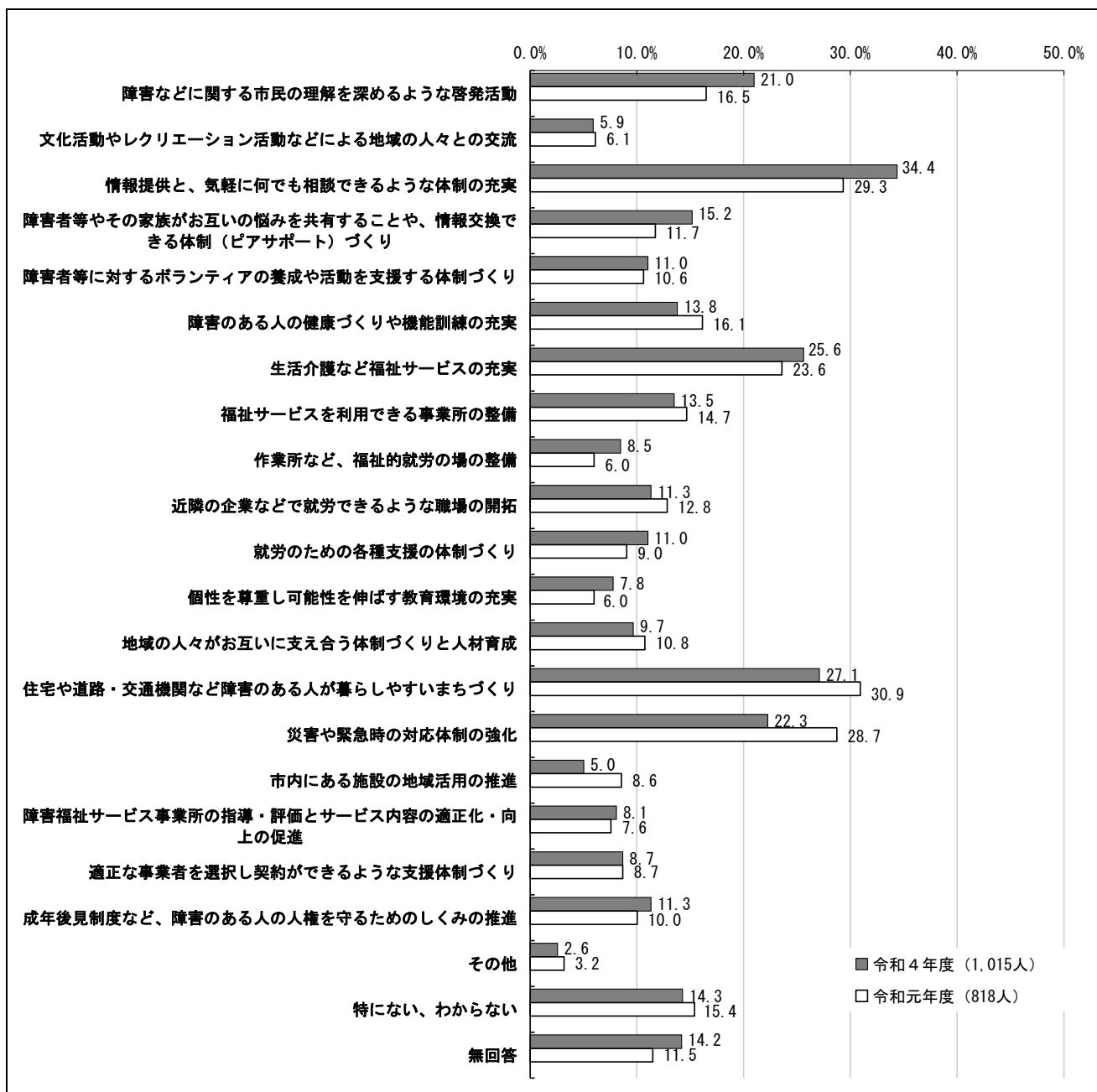


○成年後見制度を利用し財産を任せたい人についてたずねたところ、「家族・親族」が7割以上を占めています。次いで「弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門職」が12.9%となっています。

## 7. 障害者施策全般について

※「手帳を持っていない」、「手帳の有無・無回答」は個別の集計より除いています。

問 八千代市で暮らしていくうえで、八千代市にこれから特にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇は5つまで)



〇市に力を入れてほしい施策についてたずねたところ、「情報提供と、気軽に何でも相談できるような体制の充実」が34.4%で最も多く、次いで「住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり」が27.1%、「生活介護など福祉サービスの充実」が25.6%、「災害や緊急時の対応体制の強化」が22.3%となっています。

〇令和元年度と比較すると、「情報提供と、気軽に何でも相談できるような体制の充実」が5.1ポイント、「障害などに関する市民の理解を深めるような啓発活動」が4.5ポイント増加しています。一方、「災害や緊急時の対応体制の強化」が6.4ポイント、「住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり」が3.8ポイント減少しています。

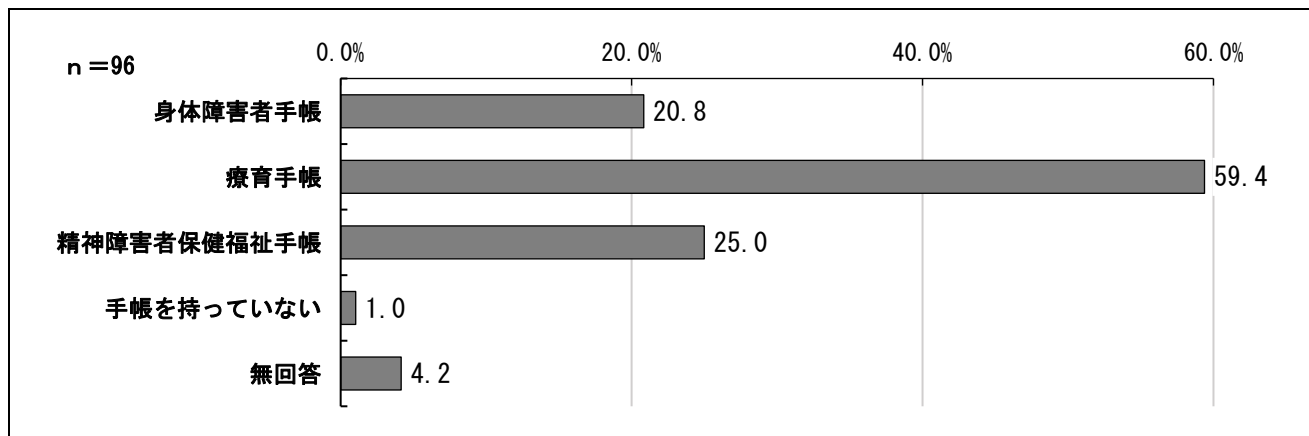


## 2-2. 障害児・保護者アンケート結果

### 1. アンケート対象者について

#### (1) アンケート対象者の所持する手帳の種類

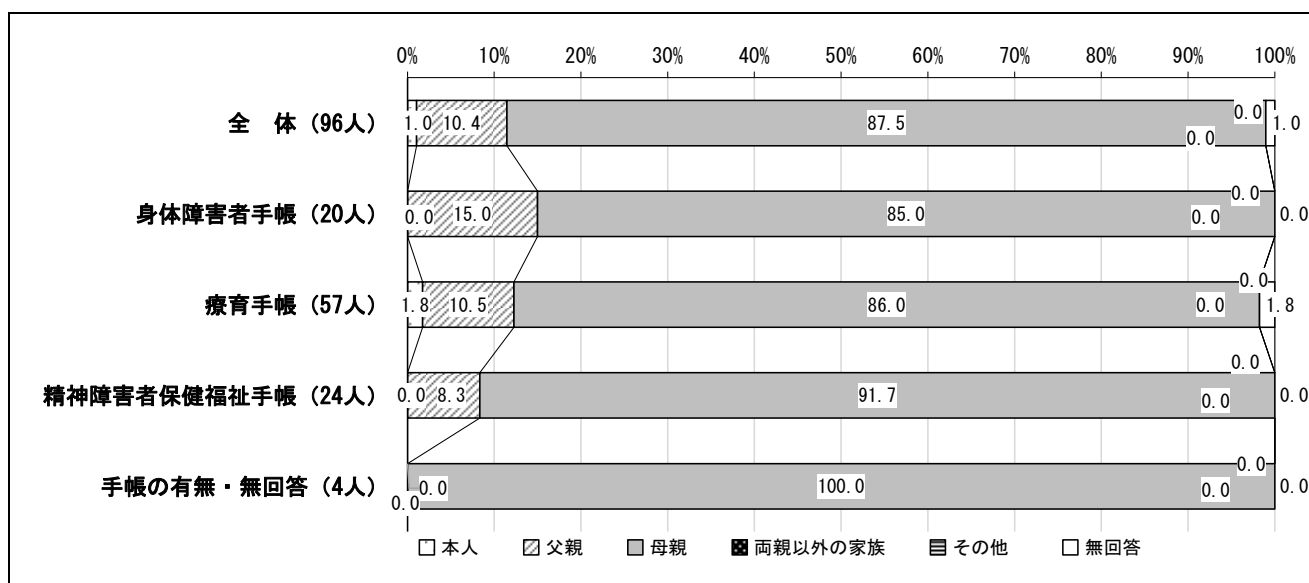
問 障害をおもちのお子様がお持ちの手帳はどれですか。(あてはまるものすべてに○)



○所持する手帳の種類は、「療育手帳」が59.4%で最も多く、次いで「精神障害者保健福祉手帳」が25.0%、「身体障害者手帳」が20.8%となっています。

#### (2) アンケートの記入者

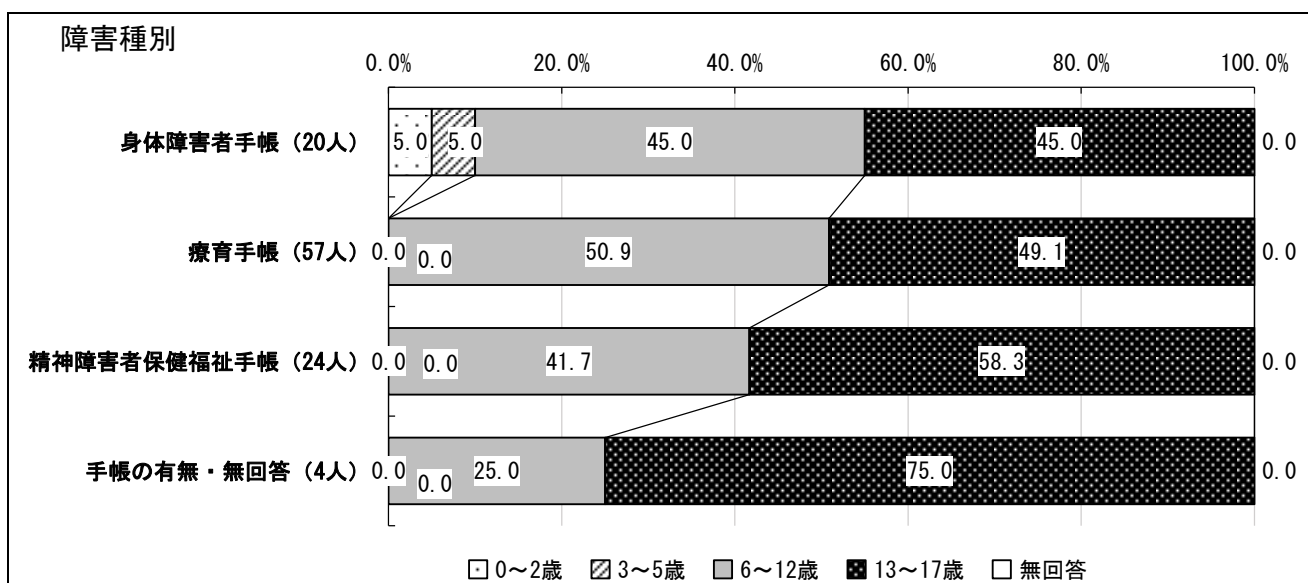
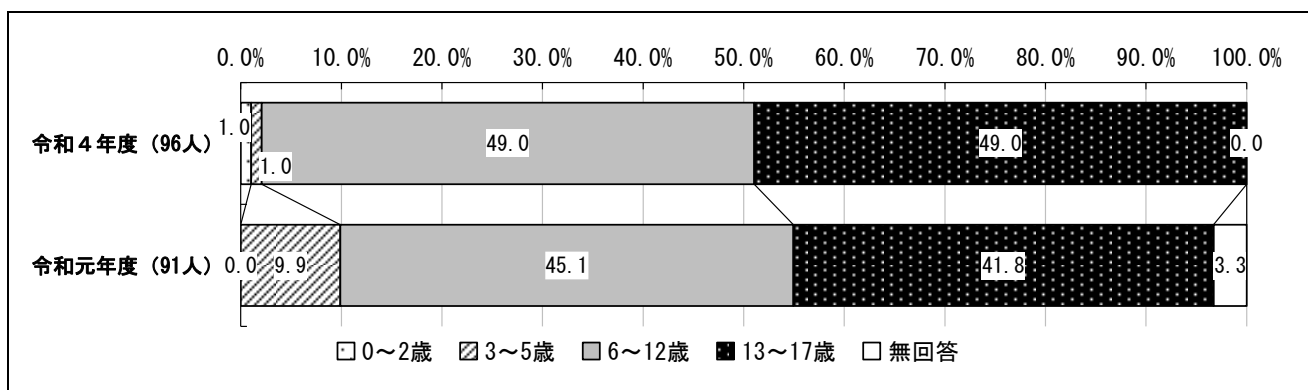
問 このアンケートにご記入いただく方はどなたですか。(あてはまるものに○)



○アンケート調査に回答を記入した人は、すべての障害種別で「母親」が8割以上となっています。

### (3) 障害をおもちのお子様の年齢

問 障害をおもちのお子様の令和4年12月1日現在の年齢をお答えください。

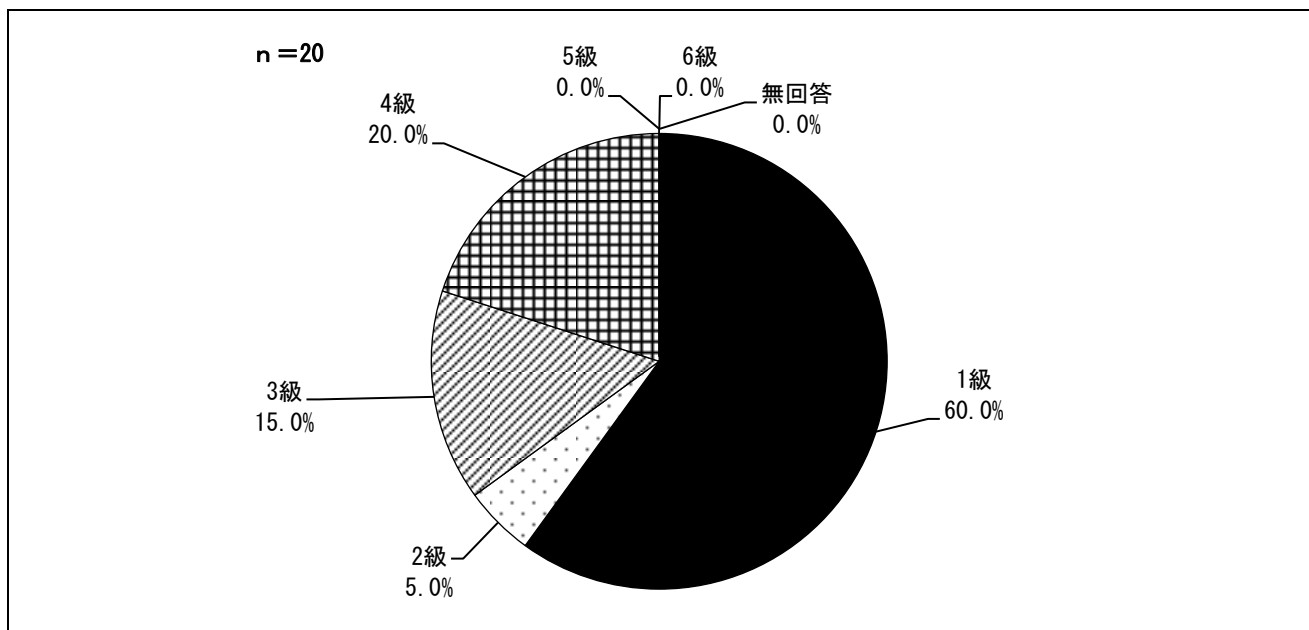


- 障害をおもちのお子様の年齢は、「6~12歳」、「13~17歳」で約半数ずつとなっています。
- 令和元年度と比較すると、「6~12歳」が3.9ポイント、「13~17歳」が7.2ポイント増加し、「3~5歳」が8.9ポイント減少しています。
- 障害種別でみると、身体障害では、「6~12歳」、「13~17歳」がともに45.0%で最も多くなっています。
- 知的障害では、「6~12歳」が50.9%で最も多く、次いで「13~17歳」が49.1%となっています。
- 精神障害では、「13~17歳」が58.3%で最も多く、次いで「6~12歳」が41.7%となっています。

#### (4) 身体障害者の状況

##### i) 身体障害者手帳の等級

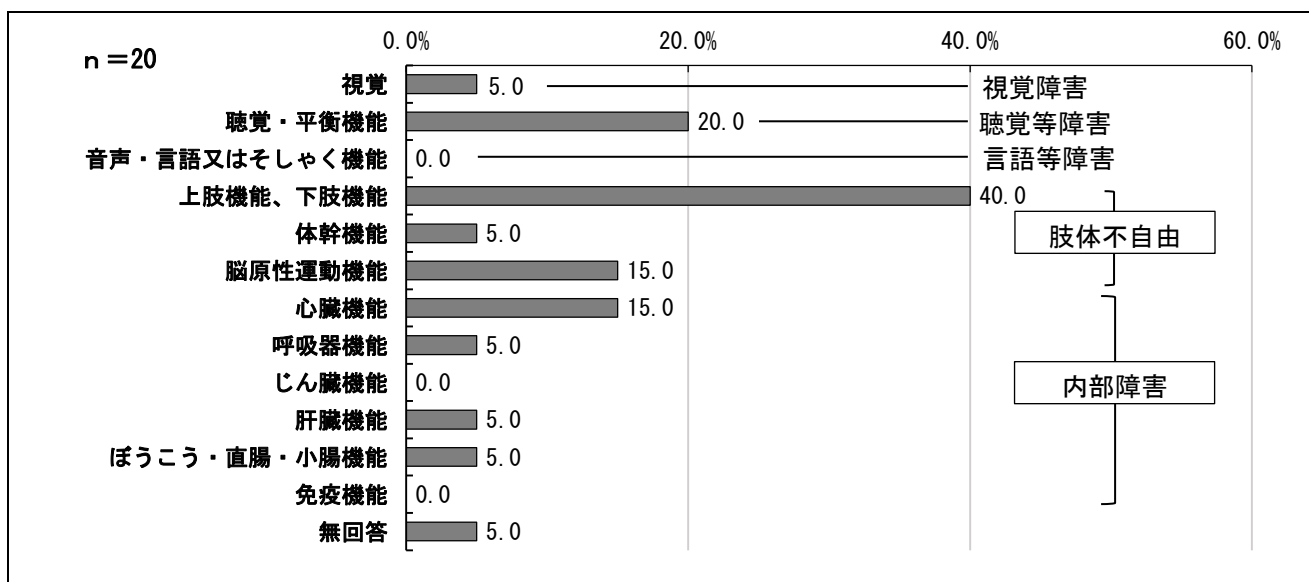
問 お持ちの身体障害者手帳の等級は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)



○身体障害者手帳の等級は、「1級」が60.0%で最も多く、次いで「4級」が20.0%、「3級」が15.0%となっています。重度の身体障害を持っている方が半数以上となっています。

##### ii) 身体障害の種類

問 身体障害の種類は次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)



○身体障害の種類は、「上肢機能、下肢機能」が40.0%で最も多く、次いで「聴覚・平衡機能」が20.0%となっています。

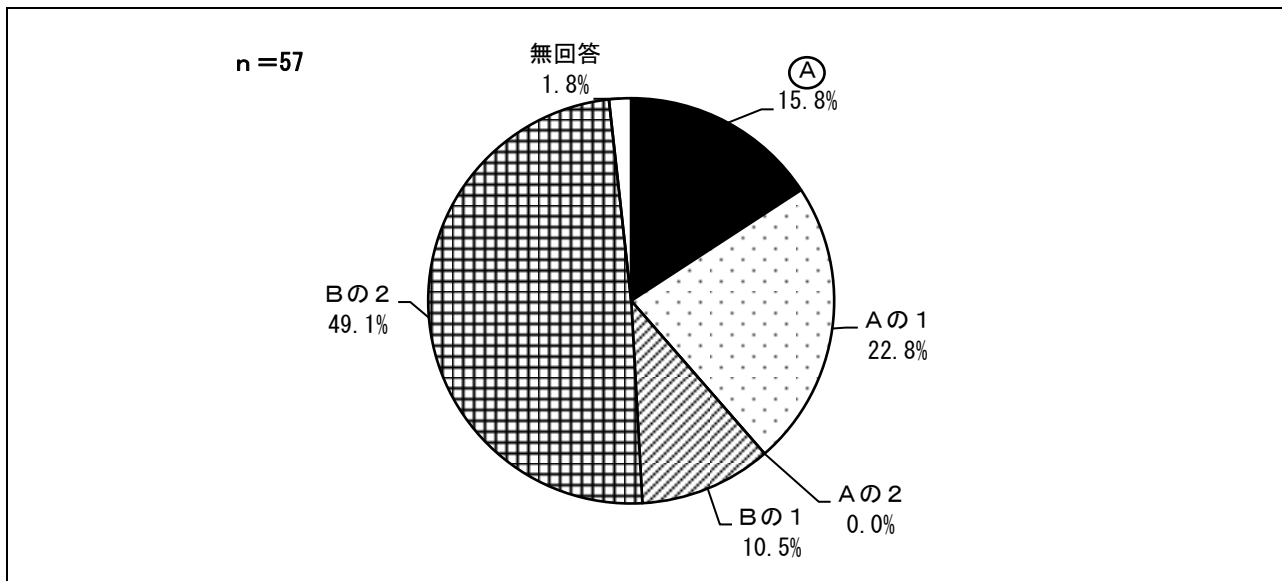
○身体障害の種類を「肢体不自由」・「内部障害」・「聴覚等障害」・「言語等障害」・「視覚障害」の5種類に区分すると、次のとおりです。

- |        |             |        |            |
|--------|-------------|--------|------------|
| ・肢体不自由 | 12人 (60.0%) | ・内部障害  | 6人 (30.0%) |
| ・聴覚等障害 | 4人 (20.0%)  | ・言語等障害 | 0人 (0.0%)  |
| ・視覚障害  | 1人 (5.0%)   |        |            |

## (5) 知的障害者の状況

### i) 療育手帳の等級

問 お持ちの療育手帳の程度は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)

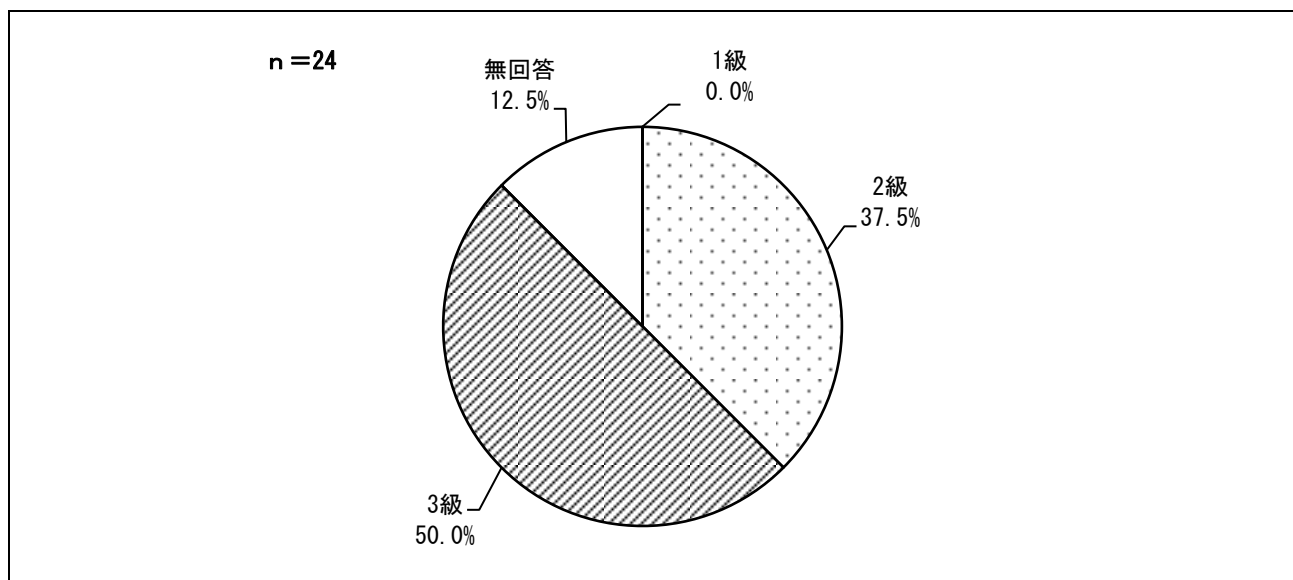


○療育手帳の程度は、「Bの2」が49.1%で最も多く、次いで「Aの1」が22.8%、「Ⓐ」が15.8%となっています。

## (6) 精神障害者の状況

### i) 精神障害者保健福祉手帳の等級

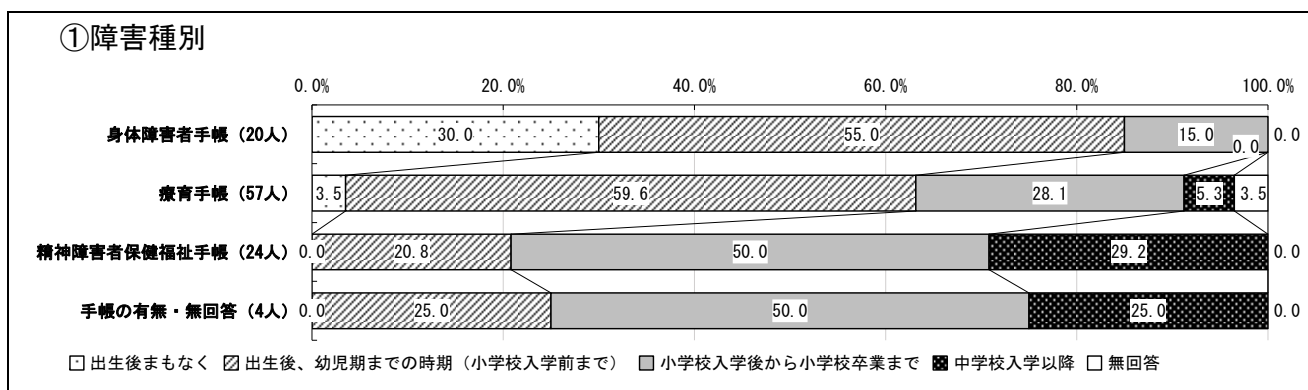
問 お持ちの精神障害者保健福祉手帳の等級は次のどれですか。(手帳を見て1つに○)



○精神障害者保健福祉手帳の等級は、「3級」が50.0%で最も多く、次いで「2級」が37.5%となっています。

## (7) 障害者手帳の交付時期

問 お子様について伺います。障害者手帳をはじめて交付されたのはいつですか。(1つに○)



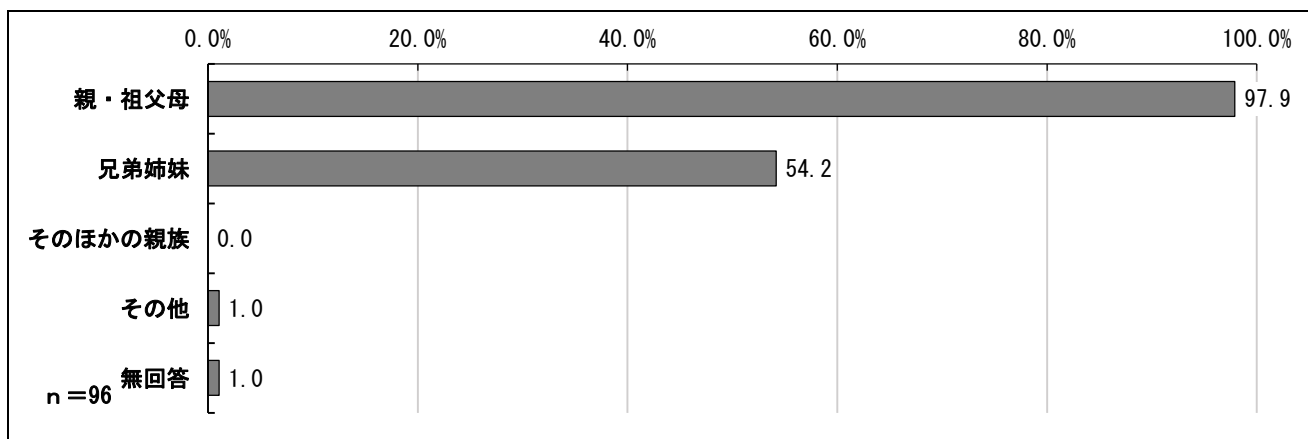
○障害をおもちのお子様は、障害者手帳をはじめて交付されたのは、身体障害では「出生後、幼児期までの時期(小学校入学前まで)」が55.0%で最も多く、次いで「出生後まもなく」が30.0%となっています。

知的障害では、「出生後、幼児期までの時期(小学校入学前まで)」が59.6%で最も多く、次いで「小学校入学後から小学校卒業まで」が28.1%となっています。

精神障害では、「小学校入学後から小学校卒業まで」が50.0%で最も多く、次いで「中学校入学以降」が29.2%となっています。

## (8) 一緒に生活している人

問 お子様はどなたと一緒に暮らしていますか。(あてはまるものすべてに○)



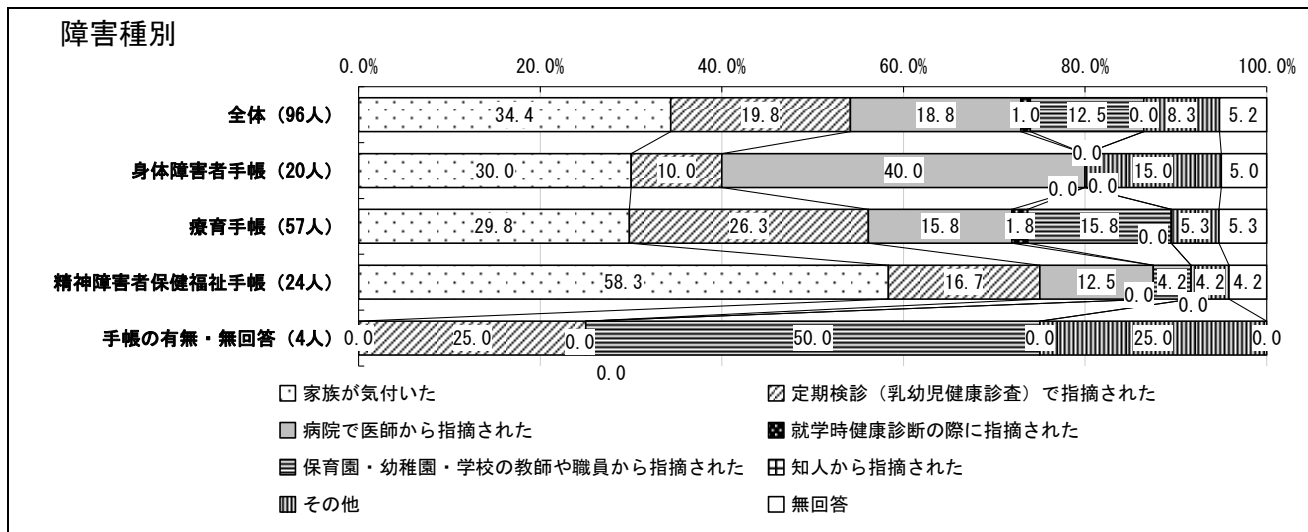
○障害をおもちのお子様と一緒に暮らしている人は、「親・祖父母」が97.9%と大半を占めています。

「兄弟姉妹」は54.2%であり、障害をおもちのお子様以外にお子様がいる家庭は、およそ2軒に1軒の割合になっています。

(9) お子様の障害に気付いた時の状況

i) 発達の不安や障害に気付いたきっかけ

問 お子様の発達の不安や障害に気付いたきっかけは何ですか。(1つに○)



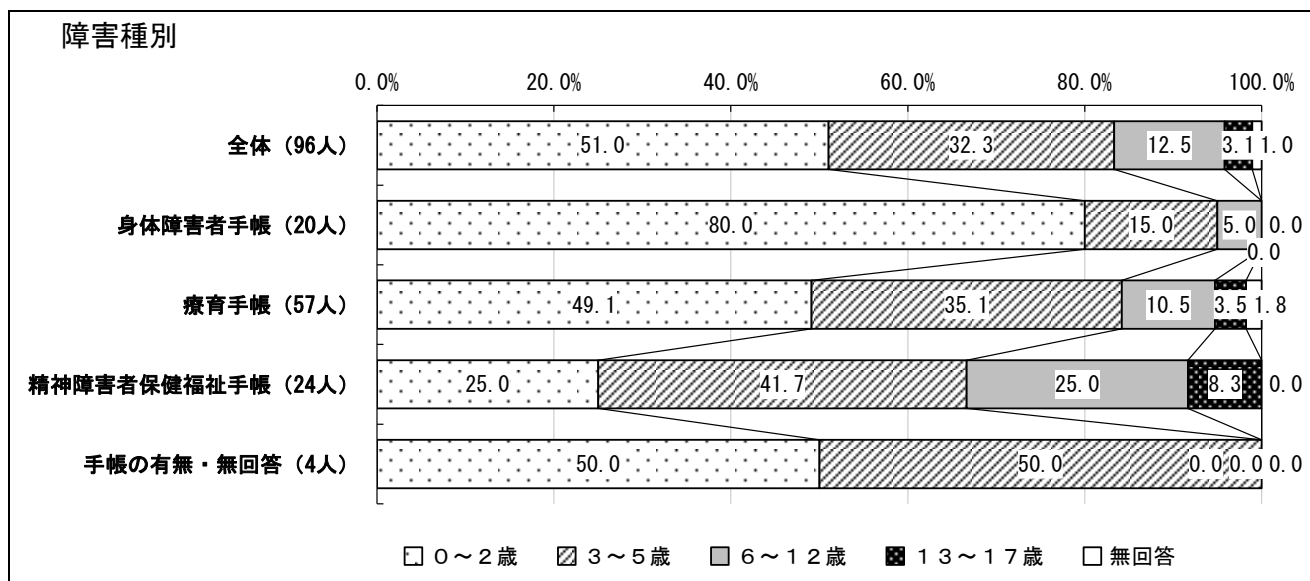
○お子様の発達の不安や障害に気付いたきっかけは、障害種別についてみると、身体障害では「病院で医師から指摘された」が40.0%で最も多く、次いで「家族が気付いた」が30.0%となっています。

知的障害では、「家族が気付いた」が29.8%で最も多く、次いで「定期検診(乳幼児健康診査)で指摘された」が26.3%となっています。

精神障害では、「家族が気付いた」が58.3%で最も多く、次いで「定期検診(乳幼児健康診査)で指摘された」が16.7%となっています。

## ii) 発達の不安や障害に気付いた時のお子様の年齢

問 お子様の発達の不安や障害に気付いた時のお子様の年齢を教えてください。(1つに○)



○お子様の発達の不安や障害に気付いた時のお子様の年齢は、全体で「0~2歳」が半数以上となっており、次いで「3~5歳」が32.3%となっています。

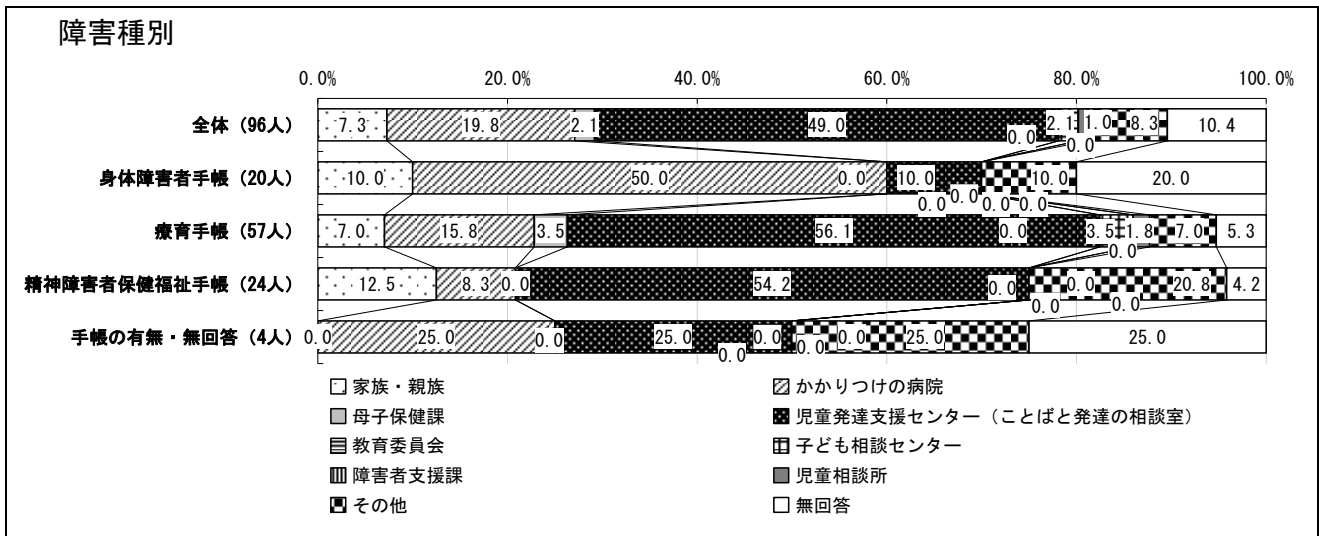
障害種別についてみると、身体障害では「0~2歳」が8割となっています。

知的障害では、「0~2歳」が49.1%で最も多く、次いで「3~5歳」が35.1%、「6~12歳」が10.5%となっています。

精神障害では、「3~5歳」が41.7%で最も多く、次いで「0~2歳」, 「6~12歳」がともに25.0%となっています。

### iii) 発達の不安や障害に気付いた時の相談先

問 お子様の発達の不安や障害に気付いた時、主に誰に（どこに）相談しましたか。（1つに○）



○お子様の発達の不安や障害に気付いた時の相談先は、全体では「児童発達支援センター（ことばと発達の相談室）」が49.0%で最も多く、次いで「かかりつけの病院」が19.8%となっています。

障害種別についてみると、身体障害では「かかりつけの病院」が半数となっています。

知的障害では、「児童発達支援センター（ことばと発達の相談室）」が56.1%で最も多く、次いで「かかりつけの病院」が15.8%となっています。

精神障害では、「児童発達支援センター（ことばと発達の相談室）」が54.2%で最も多く、次いで「家族・親族」が12.5%となっています。

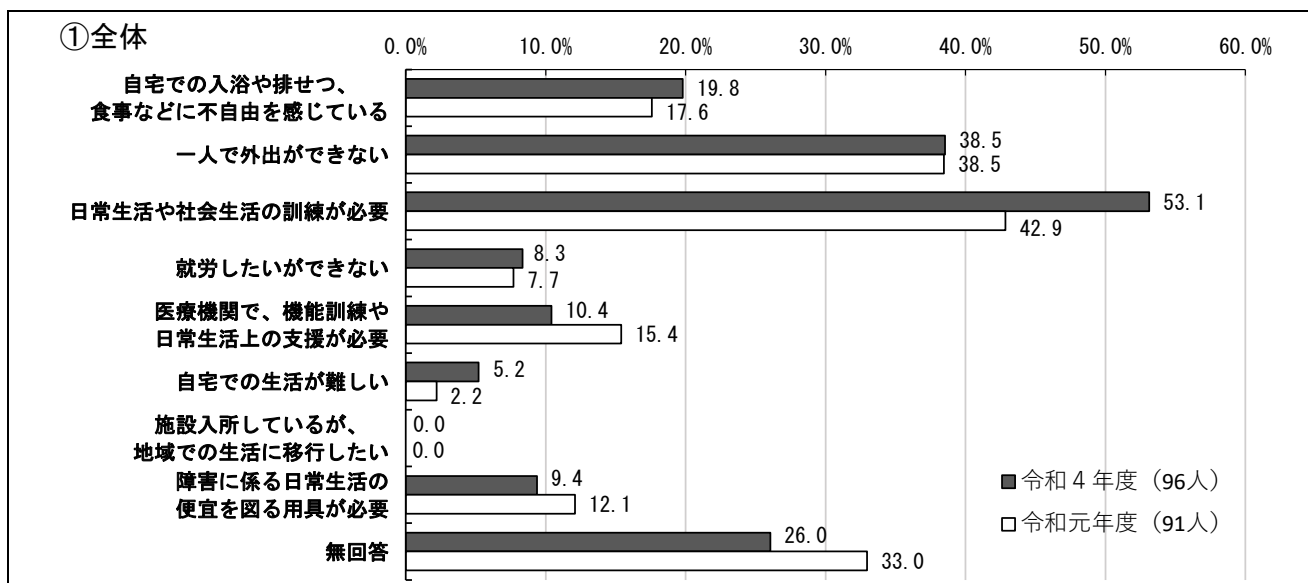


## 2. 障害福祉サービスの利用について

※「手帳の有無・無回答」は個別の集計より除いています。

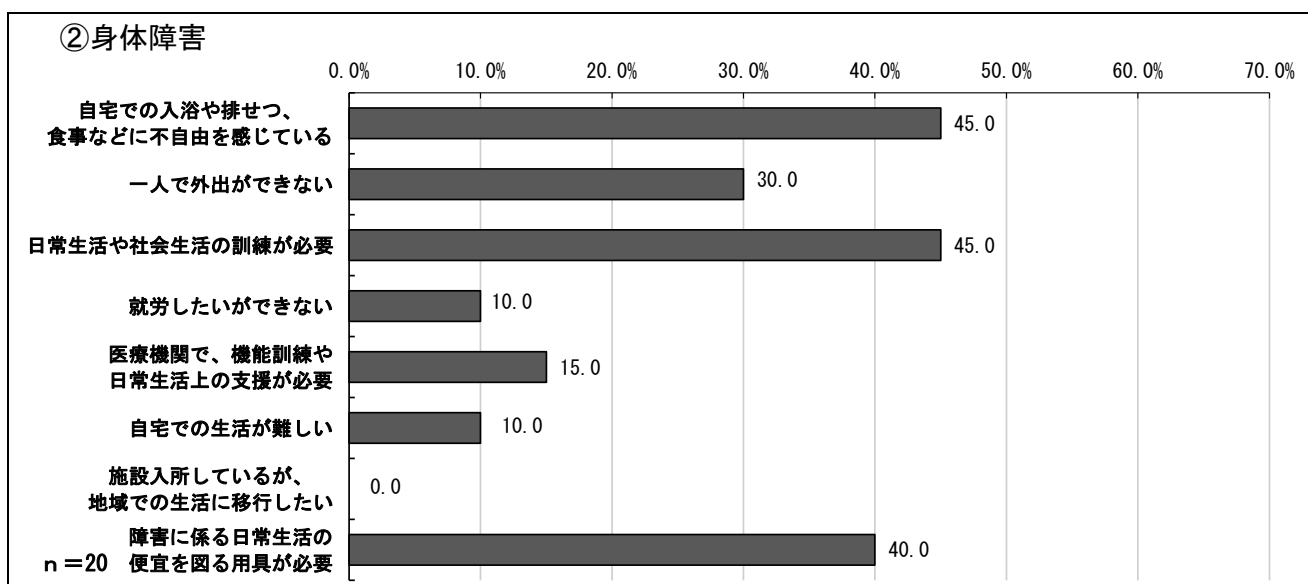
### (1) 生活上で困っていること

問 現在、生活上で困っていることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)



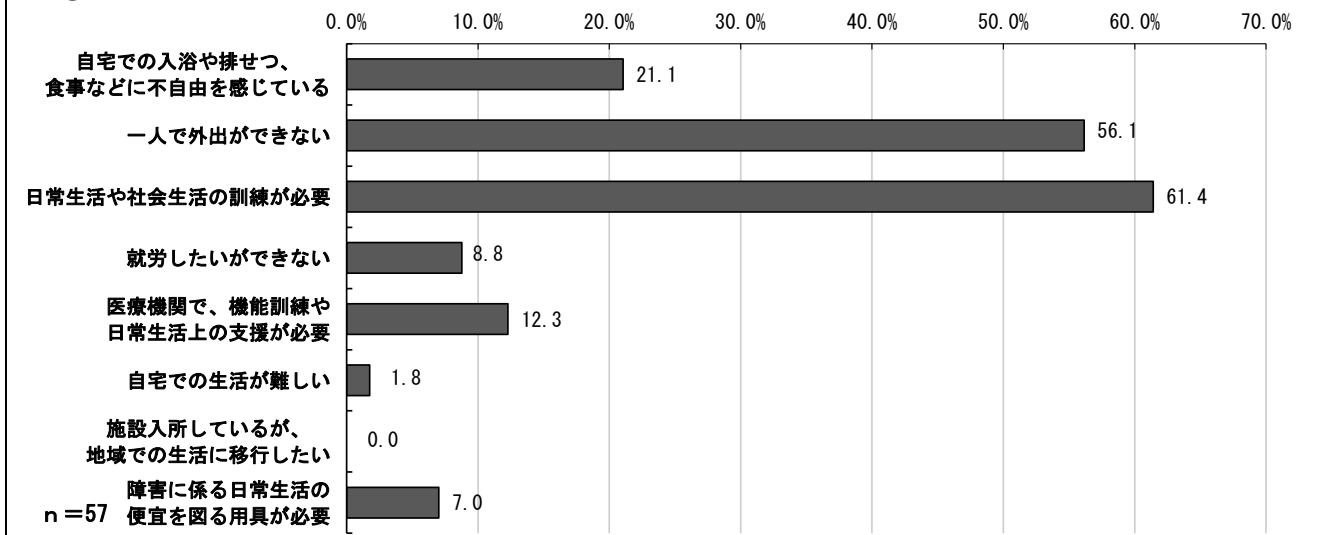
○現在、生活上で困っていることは、「日常生活や社会生活の訓練が必要」が53.1%で最も多く、次いで「一人で外出ができない」が38.5%、「自宅での入浴や排せつ、食事などに不自由を感じている」が19.8%となっています。

○令和元年度と比較すると、「日常生活や社会生活の訓練が必要」で10ポイント以上増加しています。一方で、「医療機関で、機能訓練や日常生活上の支援が必要」は5.0ポイントの減少となっています。



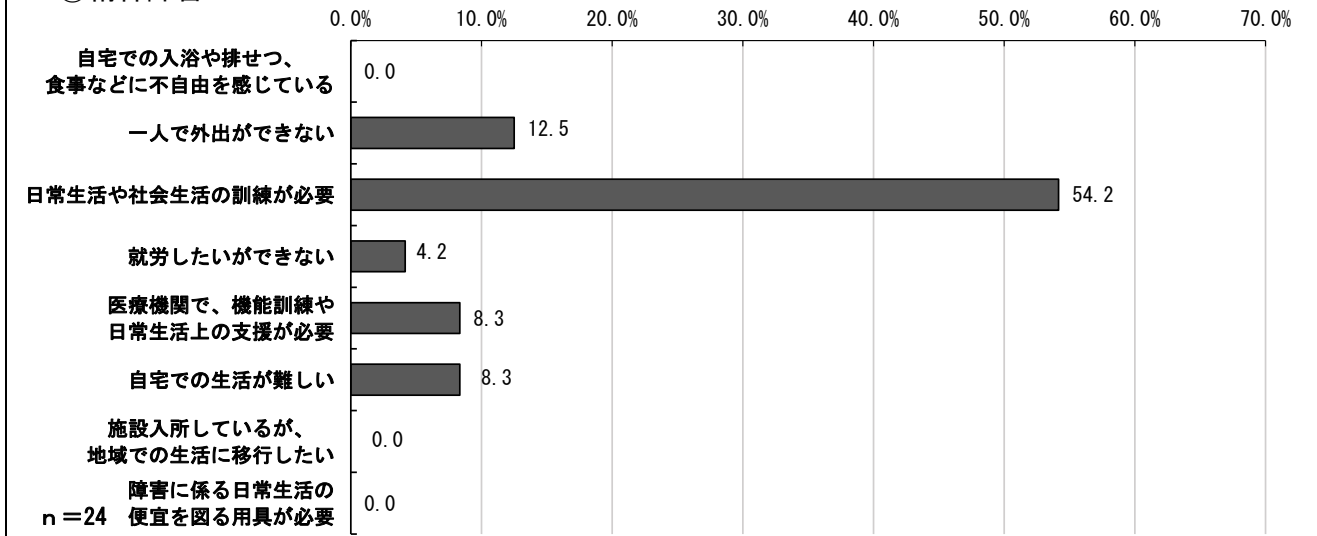
○障害種別についてみると、身体障害では「自宅での入浴や排せつ、食事などに不自由を感じている」、「日常生活や社会生活の訓練が必要」がともに45.0%で最も多くなっています。次いで、「障害に係る日常生活の便宜を図る用具が必要」が40.0%、「一人で外出ができない」が30.0%となっています。

### ③知的障害



○知的障害では、「日常生活や社会生活の訓練が必要」が61.4%で最も多く、次いで「一人で外出ができない」が56.1%、「自宅での入浴や排せつ、食事などに不自由を感じている」が21.1%となっています。

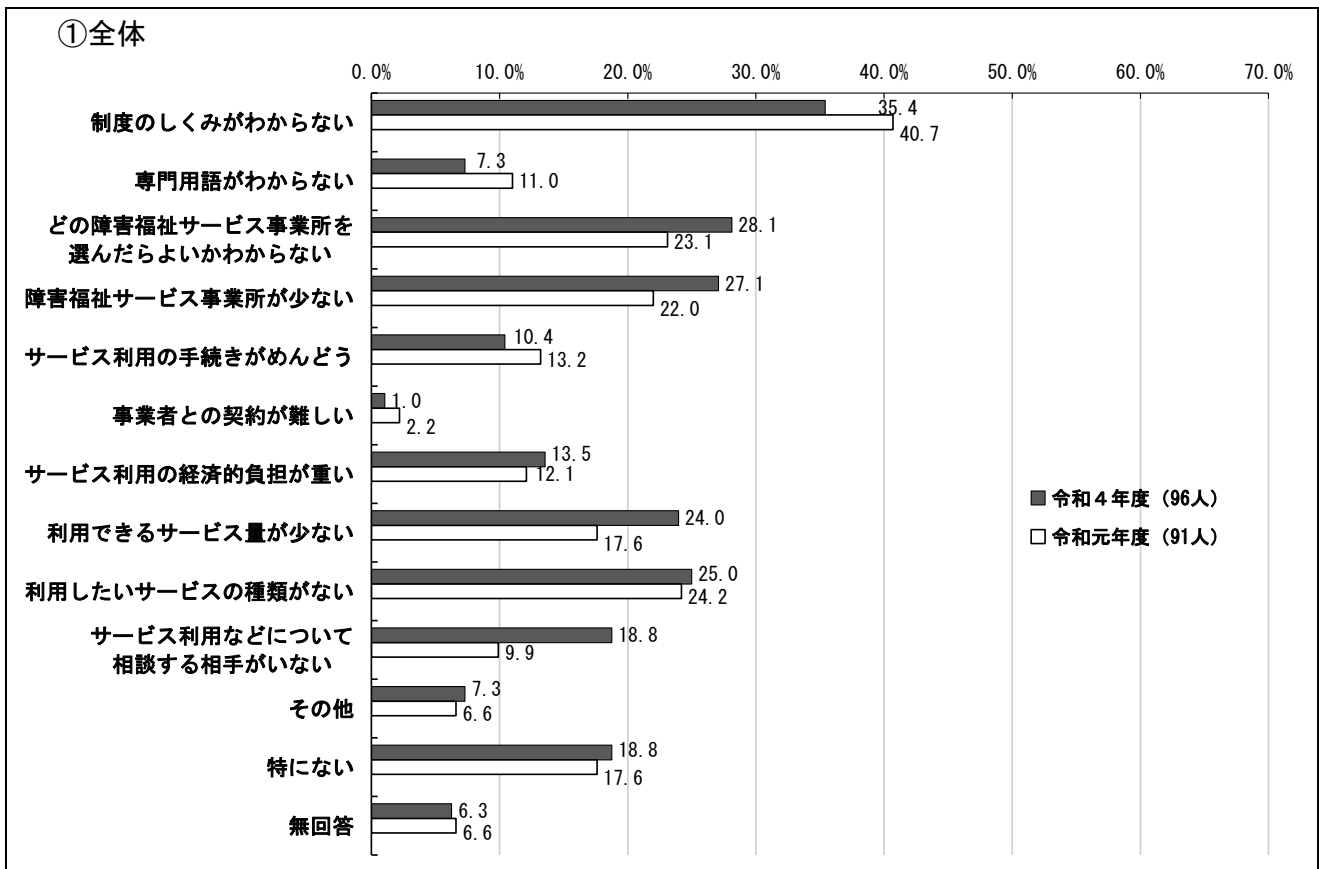
### ④精神障害



○精神障害では、「日常生活や社会生活の訓練が必要」が54.2%で過半を占めており、次いで「一人で外出ができない」が12.5%となっています。

## (2) 障害福祉サービスについて困っていること

問 現在、障害者総合支援法に基づいた福祉サービスが行われていますが、困っていることや心配なことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

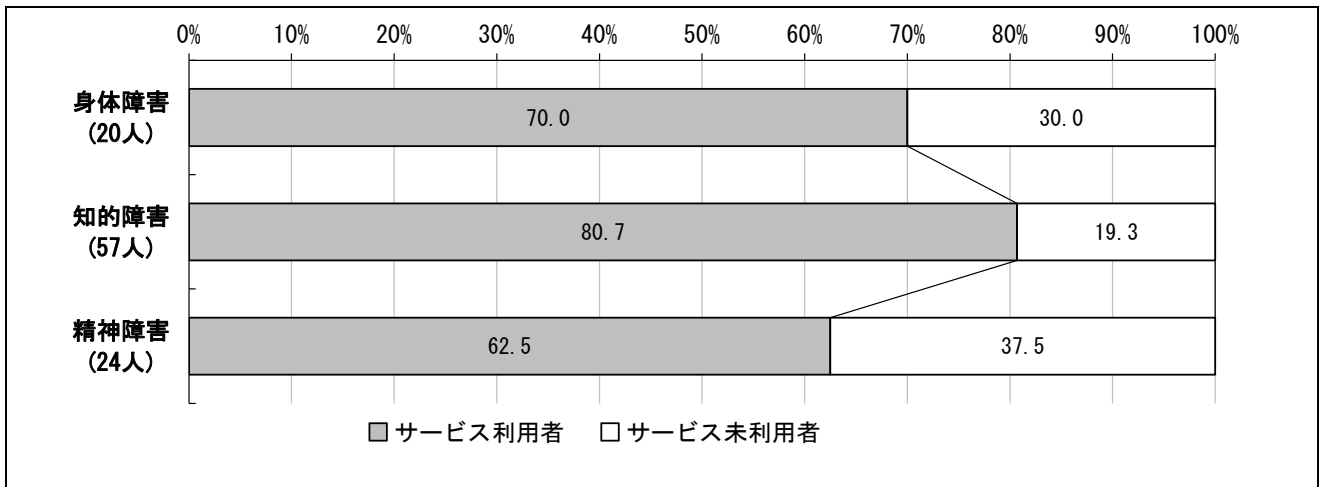


○障害福祉サービスで困っていることや心配なこととして、「制度のしくみがわからない」が35.4%で最も多くなっています。

○令和元年度と比較すると、「サービス利用について相談する相手がいない」が8.9ポイント増加しているほか、「利用できるサービス量が少ない」が6.4ポイント増加しています。一方で、「制度のしくみがわからない」が5.3ポイント、「専門用語がわからない」が3.7ポイント、「サービス利用の手続きがめんどう」が2.8ポイント減少しています。

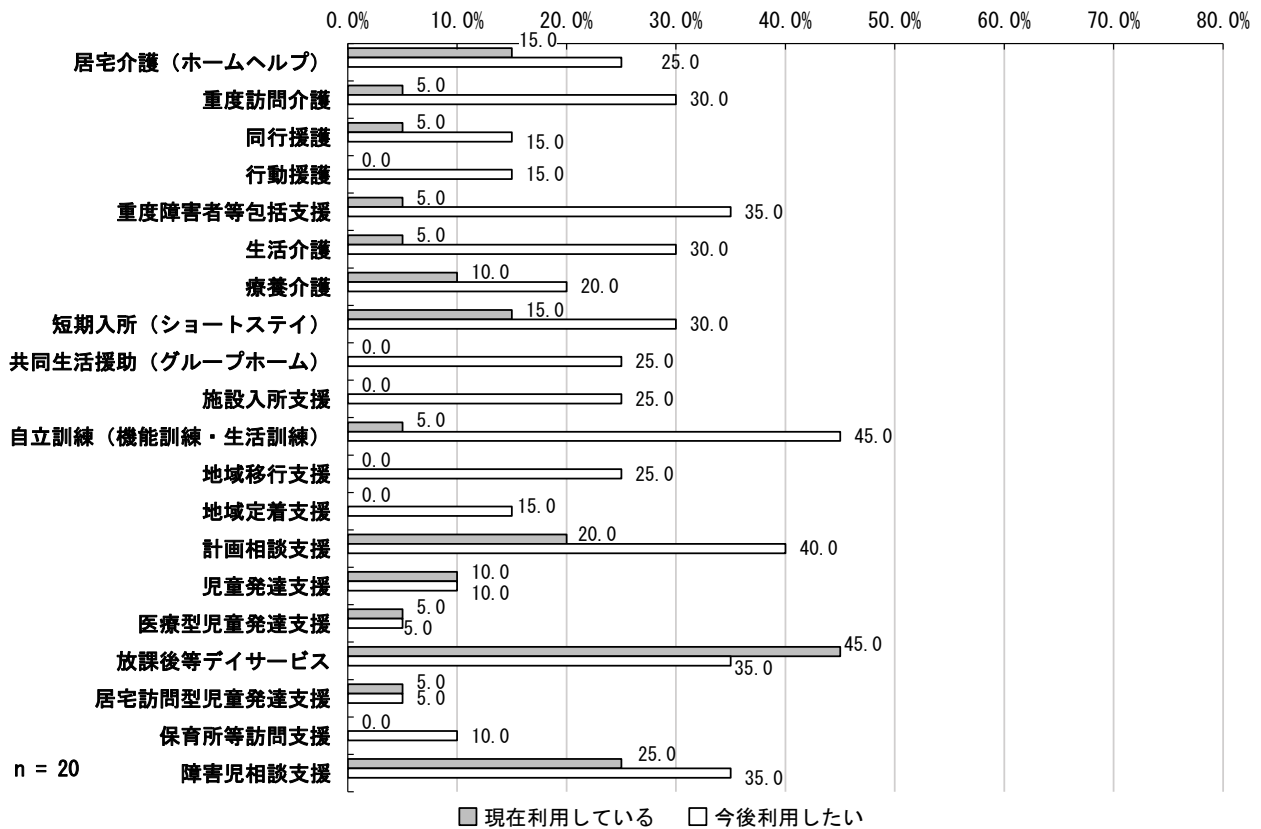
### (3) 障害福祉サービスの利用状況と今後の利用意向

問 障害者総合支援法に基づいて行われている主な福祉サービスは以下のような内容になっています。障害をおもちのお子様は、現在これらを利用していますか。また、今後利用したいと思いますか。



○現在の障害福祉サービスの利用状況は、各障害種別において、サービスを利用している方が過半を占めています。

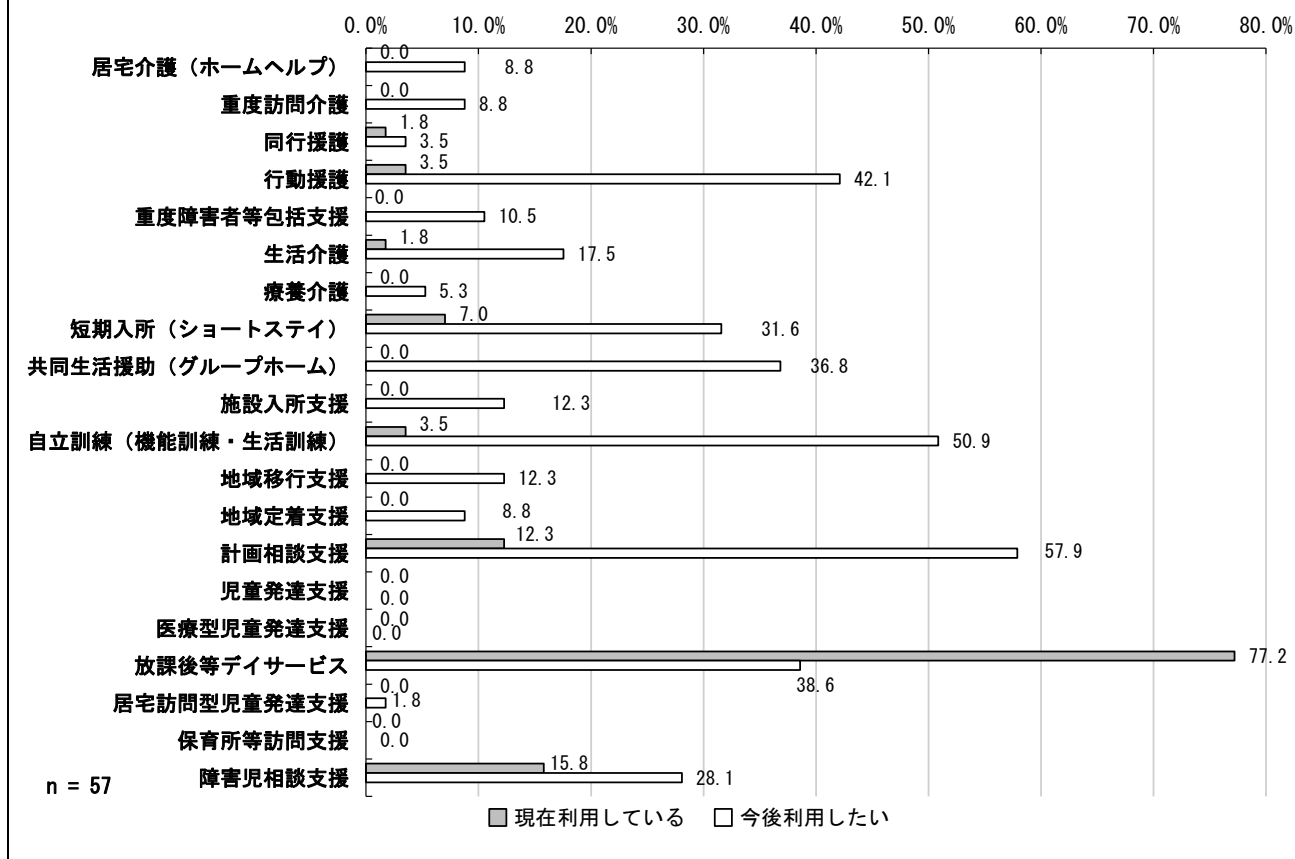
### ①身体障害



○障害種別についてみると、現在利用しているサービスは、身体障害では「放課後等デイサービス」が45.0%で最も多く、次いで「障害児相談支援」が25.0%、「計画相談支援」が20.0%となっています。

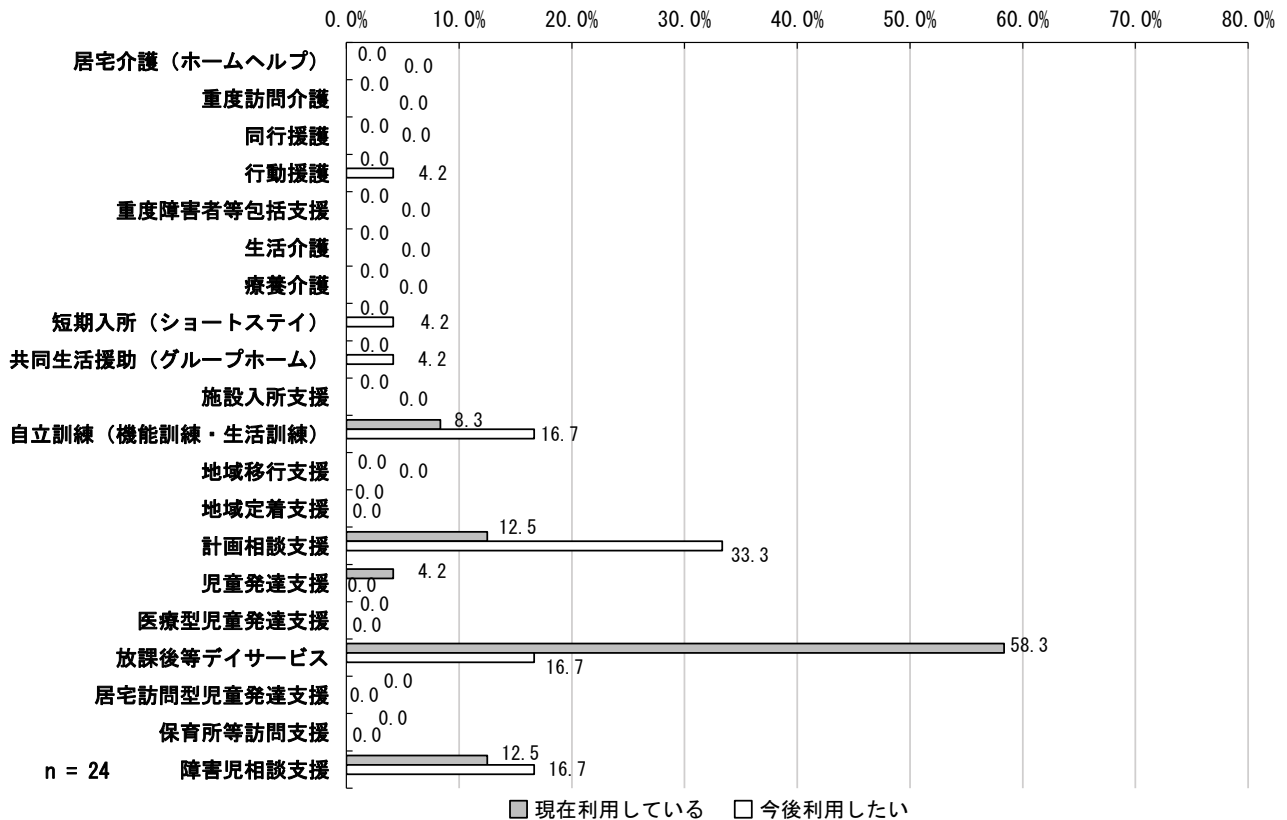
○今後利用したいサービスは、身体障害では「自立訓練(機能訓練・生活訓練)」が45.0%で最も多く、次いで「計画相談支援」が40.0%となっています。

## ②知的障害



- 現在利用しているサービスは、知的障害では「放課後等デイサービス」が77.2%で最も多く、次いで「障害児相談支援」が15.8%、「計画相談支援」が12.3%となっています。
- 今後利用したいサービスは、知的障害では「計画相談支援」が57.9%で最も多く、次いで「自立訓練 (機能訓練・生活訓練)」が50.9%、「行動援護」が42.1%となっています。

### ③精神障害



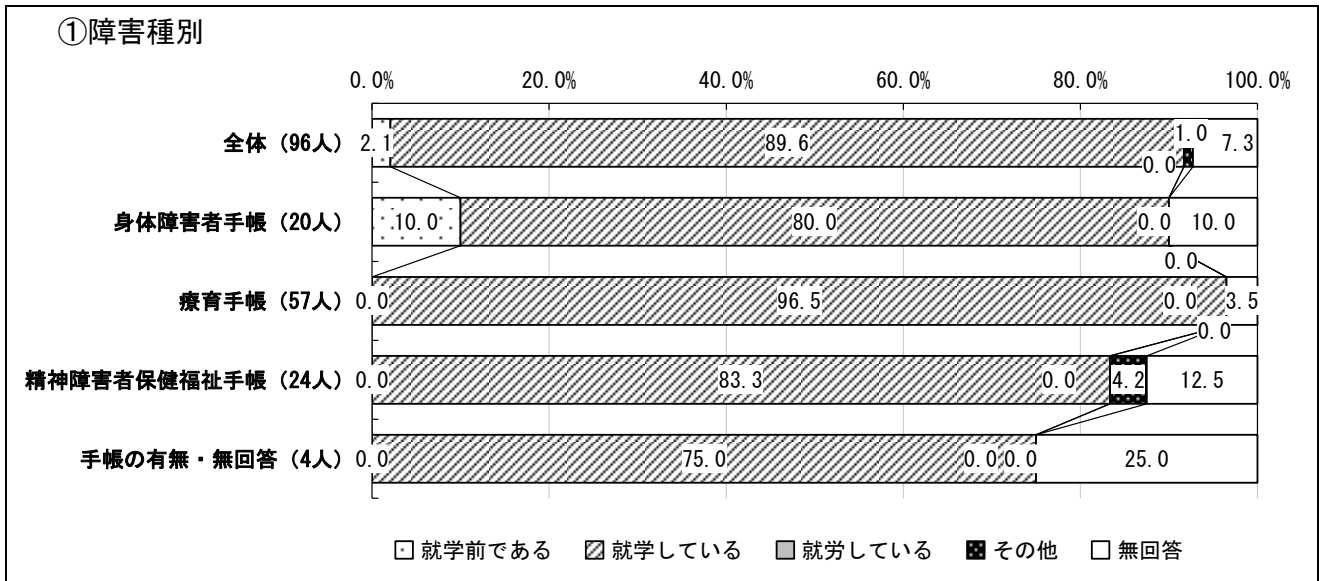
○現在利用しているサービスは、精神障害では「放課後等デイサービス」が58.3%で最も多くなっています。次いで、「計画相談支援」，「障害児相談支援」がともに12.5%となっています。

○今後利用したいサービスは、精神障害では「計画相談支援」が33.3%で最も多くなっています。次いで、「自立訓練 (機能訓練・生活訓練)」，「放課後等デイサービス」，「障害児相談支援」がそれぞれ16.7%となっています。

### 3. 日中の過ごし方について

#### (1) 就学状況

問 障害をおもちのお子様は、就学していますか。または、就労していますか。(1つに○)



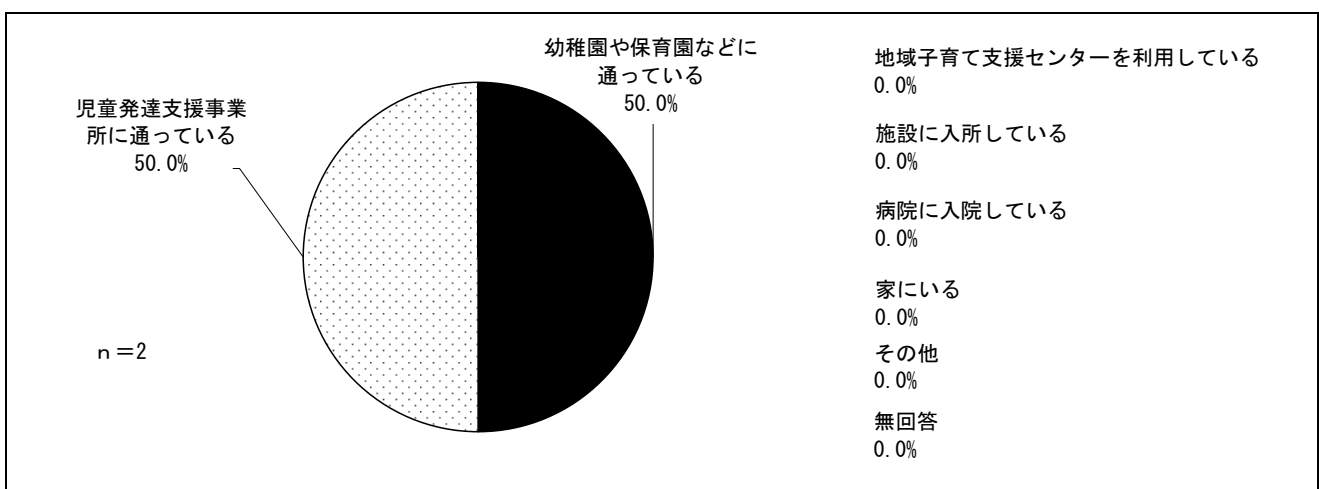
○障害をおもちのお子様の就学(就労)状況は、「就学している」が約9割となっています。なお、就労している方はいません。

障害種別についてみると、「就学している」が身体障害で80.0%、知的障害で96.5%、精神障害で83.3%と、それぞれ8割以上となっています。また、身体障害では、「就学前である」が10.0%となっています。

#### (2) 就学前の児童について

##### i) 平日の昼間の主な過ごし方

問 (「就学前である」とお答えの方へ) お子様は、平日の日中、主にどのように過ごしていますか。(1つに○)



○就学前の障害をおもちのお子様は、「幼稚園や保育園などに通っている」と「児童発達支援事業所に通っている」が50.0%ずつとなっています。

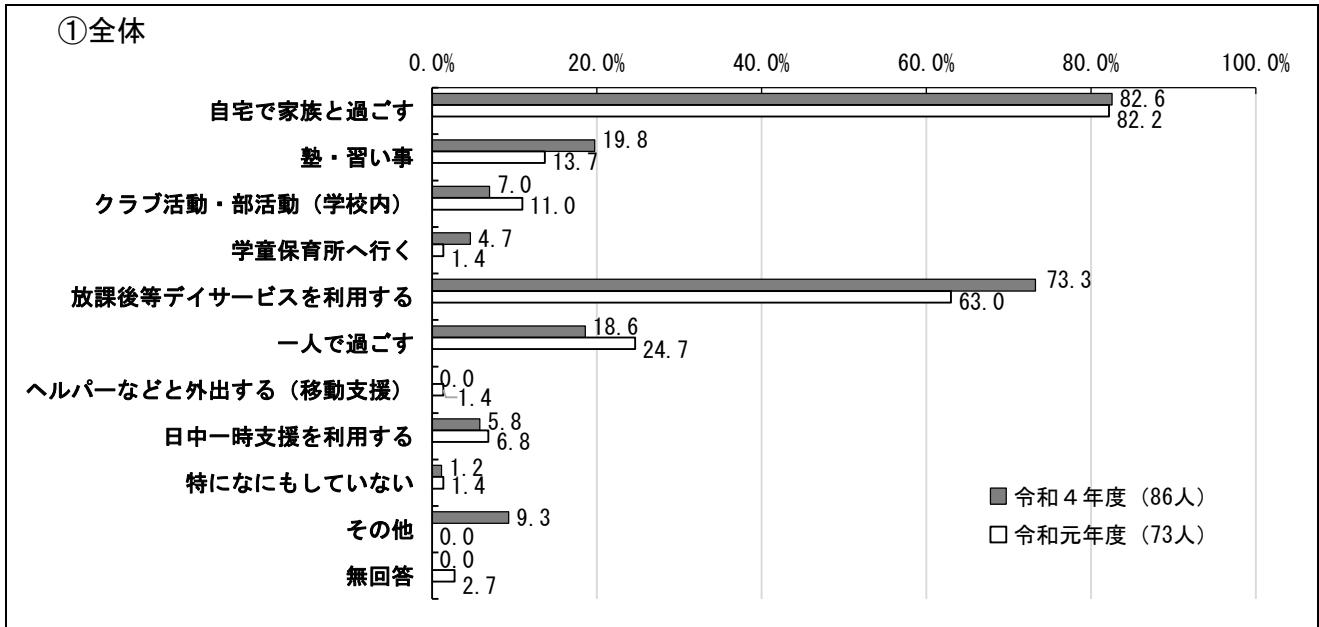


### (3) 就学中の児童について

#### i) 放課後や長期休業中での学校以外の時間の主な過ごし方

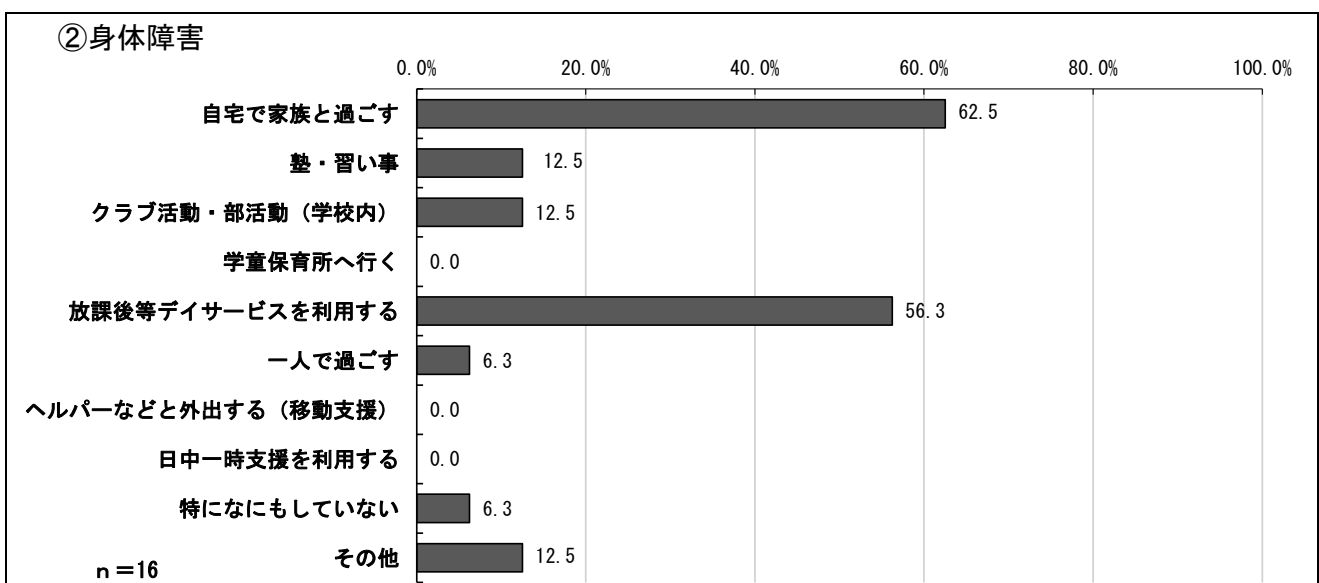
問 「就学している」とお答えの方へ) お子様は放課後や長期休業中など、学校以外の時間はどのように過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

※各障害種別とも未回答分は集計から除いています。

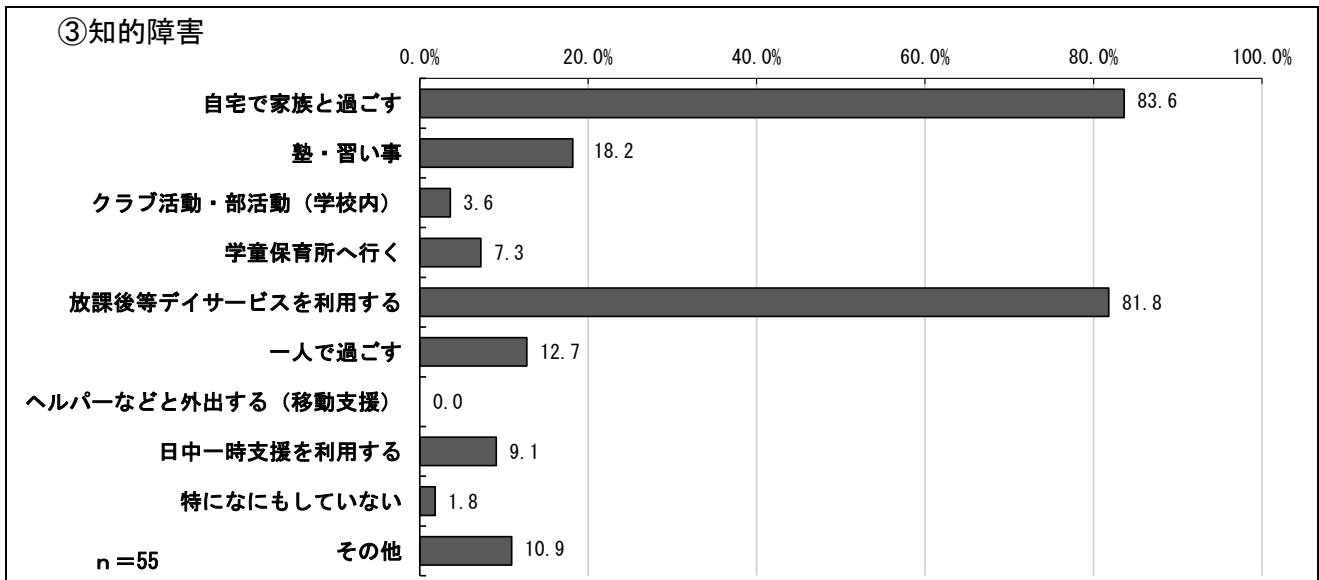


○就学中の障害をおもちのお子様の学校以外の時間の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が82.6%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が73.3%、「塾・習い事」が19.8%となっています。

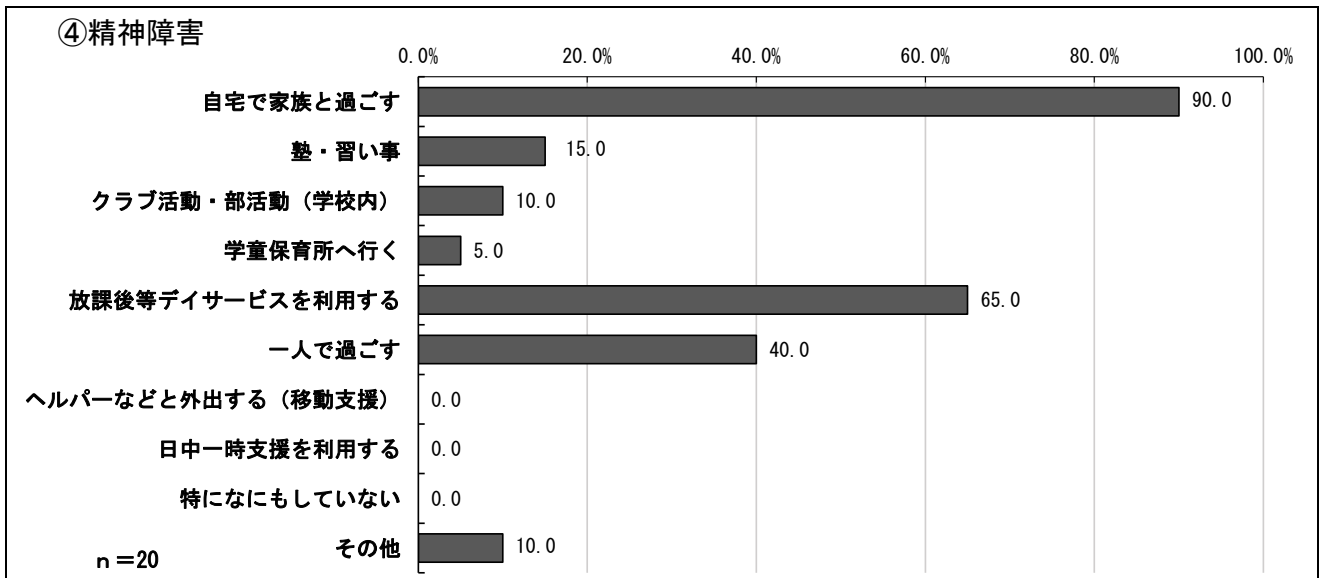
○令和元年度と比較すると、「放課後等デイサービスを利用する」が10.3ポイント、「塾・習い事」が6.1ポイント、「学童保育所へ行く」が3.3ポイント増加し、一方で、「一人で過ごす」が6.1ポイント、「クラブ活動・部活動(学校内)」が3.3ポイント減少しています。



○障害種別についてみると、身体障害では「自宅で家族と過ごす」が62.5%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が56.3%となっています。



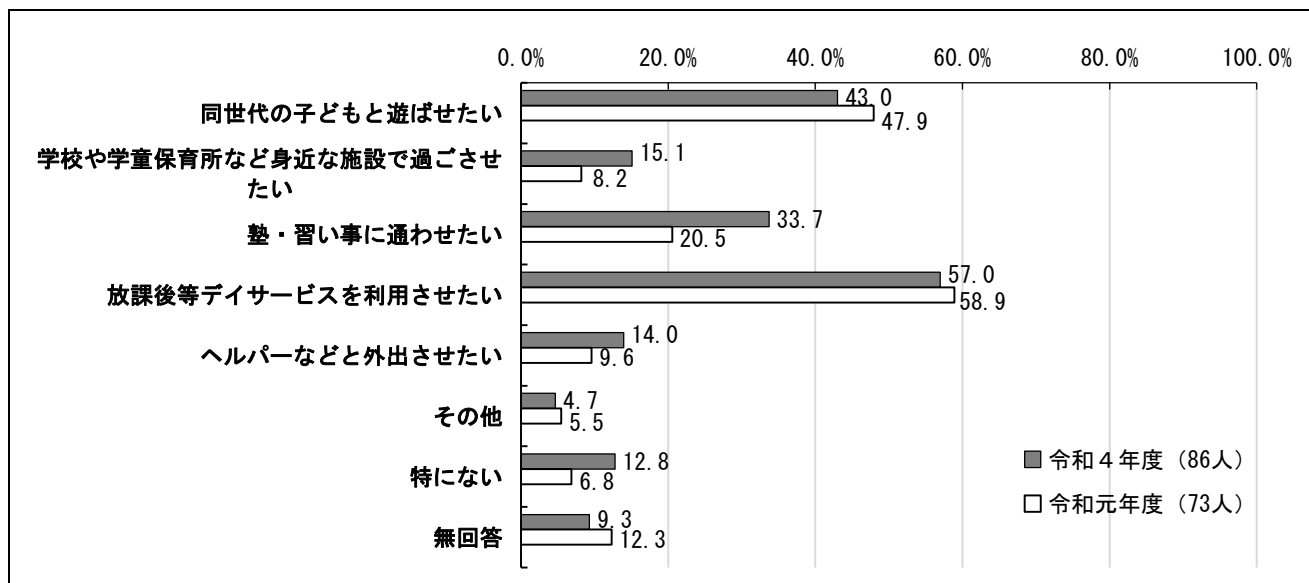
○知的障害では、「自宅で家族と過ごす」が83.6%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が81.8%となっています。



○精神障害では、「自宅で家族と過ごす」が90.0%で最も多く、次いで「放課後等デイサービスを利用する」が65.0%、「一人で過ごす」が40.0%となっています。

## ii) 希望する放課後や長期休業中での学校以外の時間の主な過ごし方

問（「就学している」とお答えの方へ）放課後や長期休業中など、学校以外の時間はお子様をどのように過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）



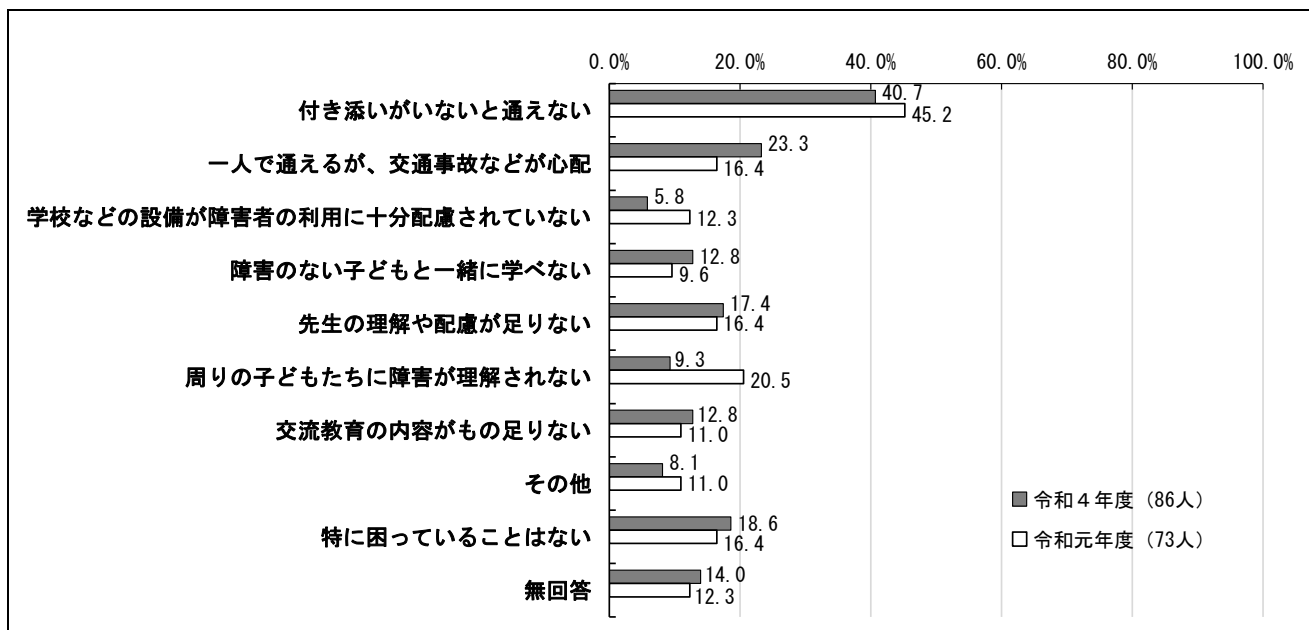
○就学中の障害をおもちのお子様の保護者が希望する学校以外の時間の過ごし方は、「放課後等デイサービスを利用させたい」が57.0%で最も多く、次いで「同世代の子どもと遊ばせたい」が43.0%となっています。

○令和元年度と比較すると、「塾・習い事に通わせたい」が10ポイント、「学校や学童保育所など身近な施設で過ごさせたい」が6.9ポイント、「ヘルパーなどと外出させたい」が4.4ポイント増加しています。

### iii) 通学して困ること

問 (「就学している」とお答えの方へ) 通学して困ることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)



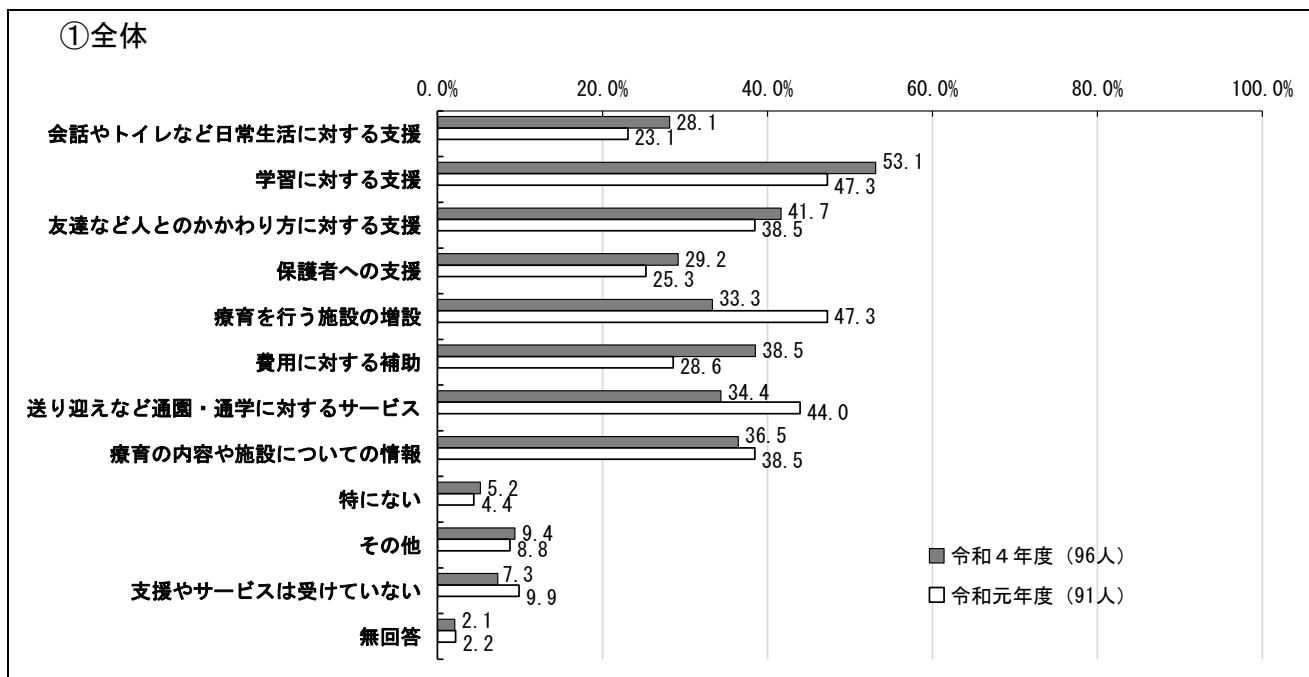
○就学中の障害をおもちのお子様が通学して困ることは、「付き添いがいないと通えない」が40.7%と最も多く、次いで「一人で通えるが、交通事故などが心配」が23.3%となっています。

○令和元年度と比較すると、「一人で通えるが、交通事故などが心配」が5ポイント以上増加している一方で、「周りの子どもたちに障害が理解されない」,「学校などの設備が障害者の利用に十分配慮されていない」で5ポイント以上減少しています。

#### (4) 療育や支援について充実させるべきこと

問 お子様が受けている療育や支援について、さらに充実させるべき点がありますか。

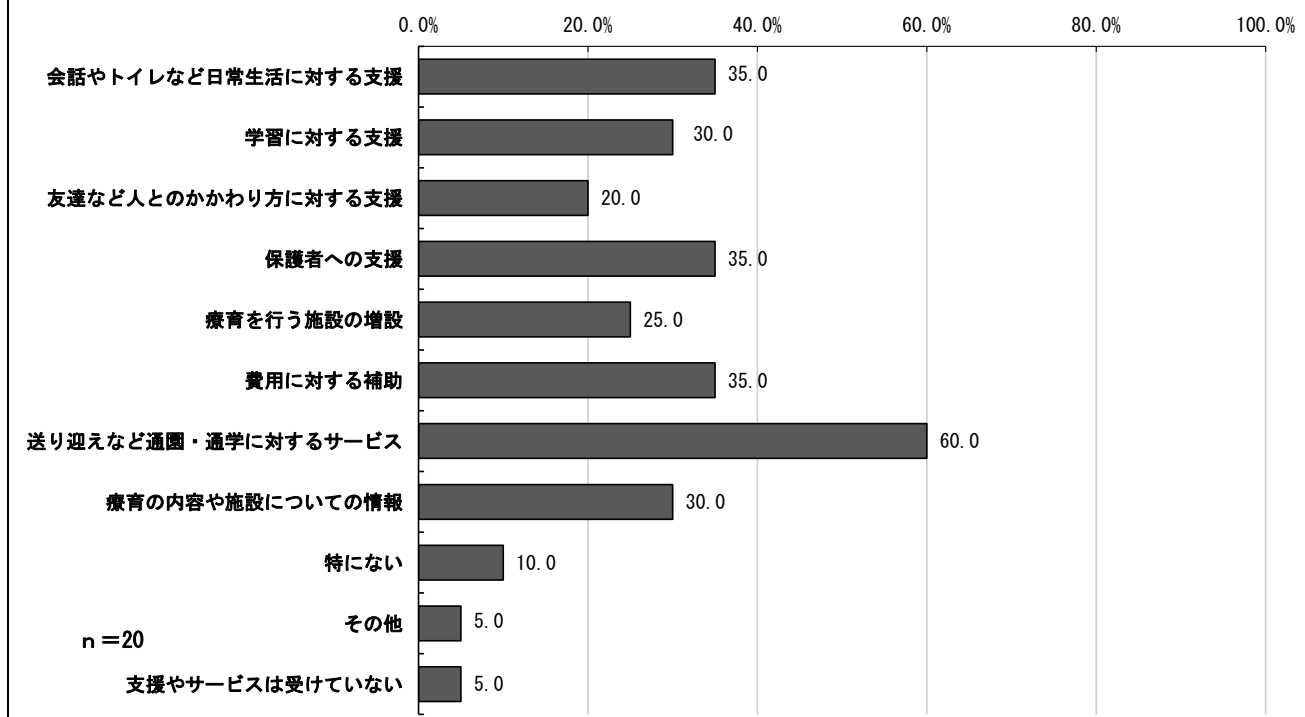
(あてはまるものすべてに○)



○お子様が受けている療育や支援について充実させるべきことは、「学習に対する支援」が53.1%で最も多く、次いで「友達など人とのかかわり方に対する支援」が41.7%となっています。

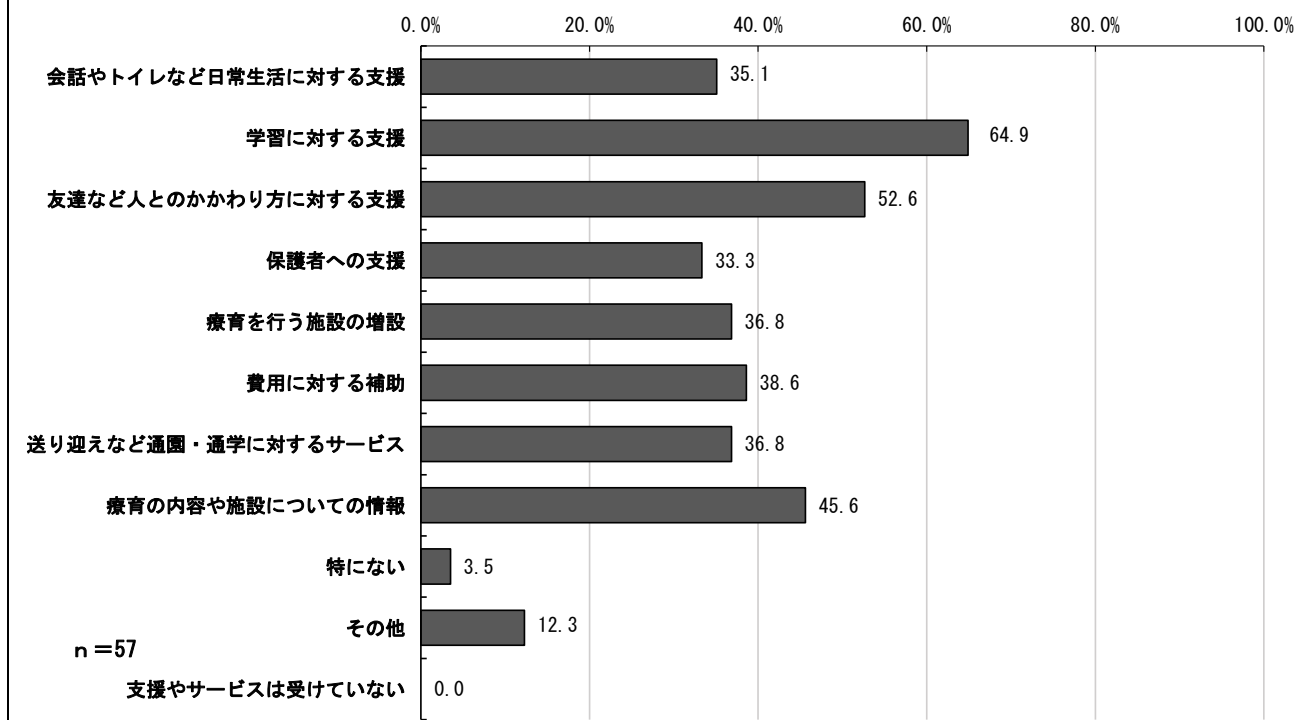
○令和元年度と比較すると、「費用に対する補助」が9.9ポイント増加している一方で、「療育を行う施設の増設」が14.0ポイント減少しています。

## ②身体障害



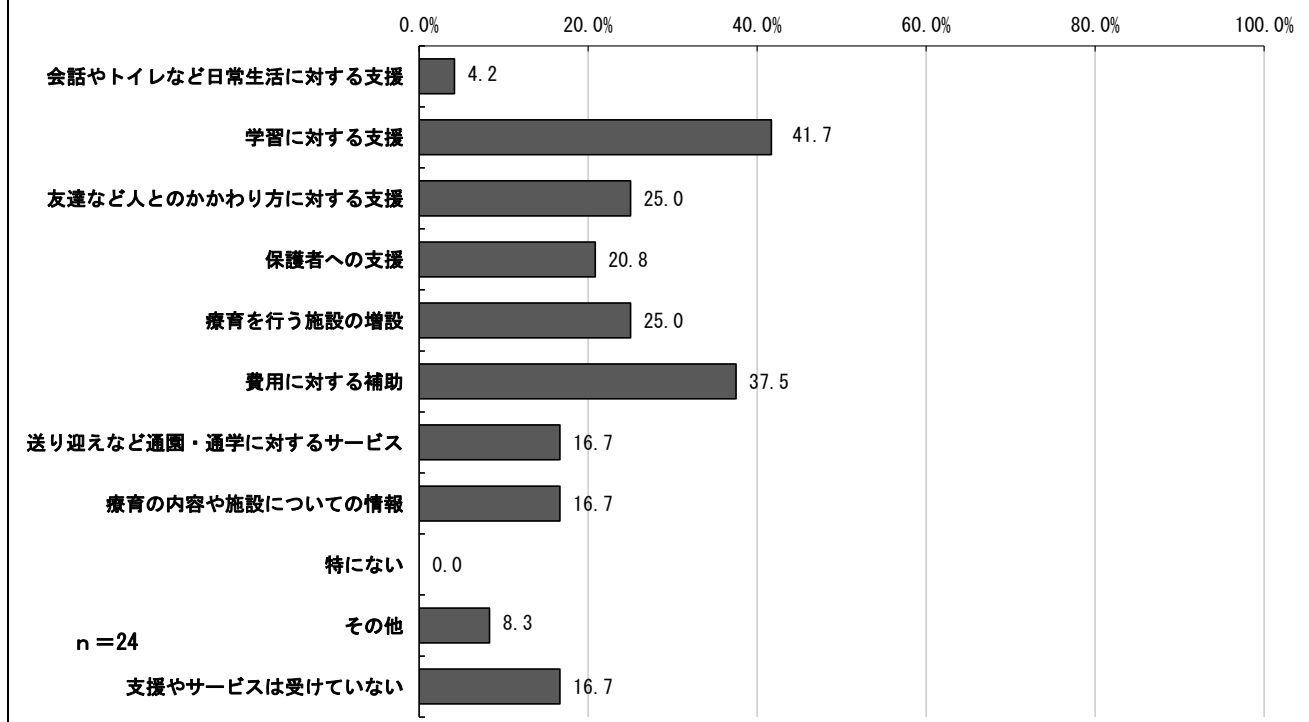
○障害種別についてみると、身体障害では「送迎など通園・通学に対するサービス」が60.0%で最も多くなっています。次いで、「会話やトイレなど日常生活に対する支援」、「保護者への支援」、「費用に対する補助」がそれぞれ35.0%となっています。

## ③知的障害



○知的障害では、「学習に対する支援」が64.9%で最も多く、次いで「友達など人とのかかわり方に対する支援」が52.6%、「療育の内容や施設についての情報」が45.6%となっています。

#### ④精神障害

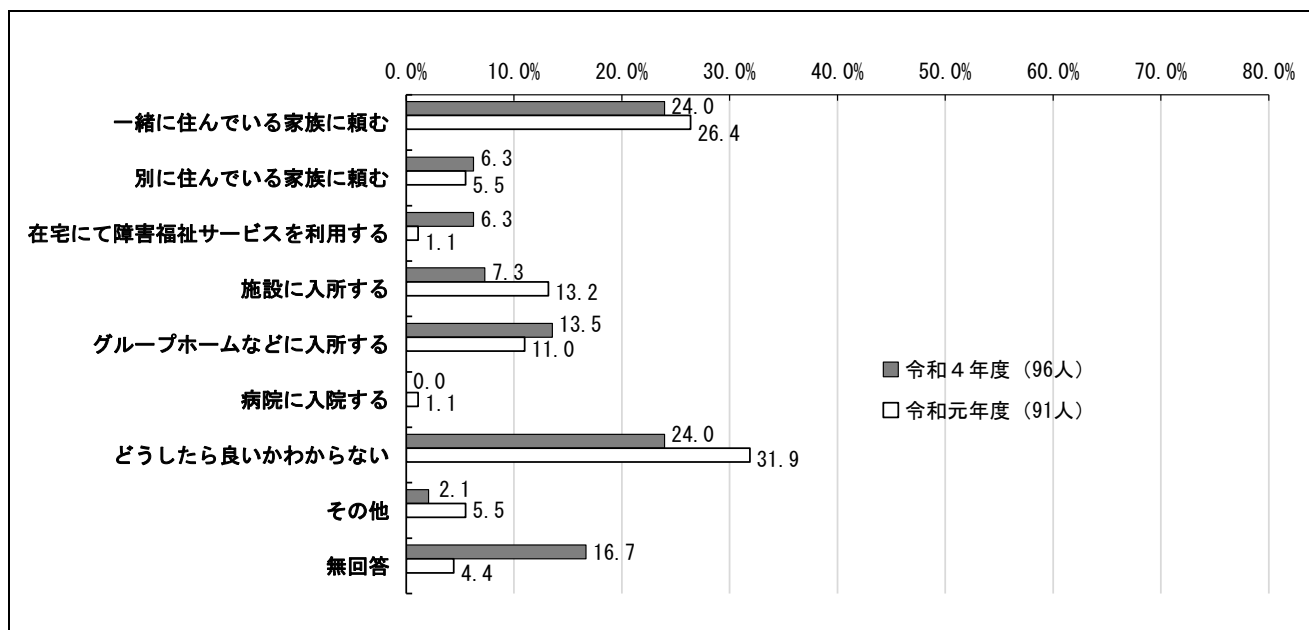


○精神障害では、「学習に対する支援」が41.7%で最も多く、次いで「費用に対する補助」が37.5%、「友達など人とのかかわり方に対する支援」、「療育を行う施設の増設」がともに25.0%となっています。

#### 4. 将来の生活について

##### (1) 保護者がお子様を介助・支援できなくなった場合

問 (お子様の保護者の方にお聞きします) あなたがお子様を介助・支援できなくなった場合にお子様をどうしたいですか。(1つに○)



○保護者の方がお子様を介助・支援できなくなった場合には、「一緒に住んでいる家族に頼む」, 「どうしたら良いかわからない」が24.0%で最も多くなっています。

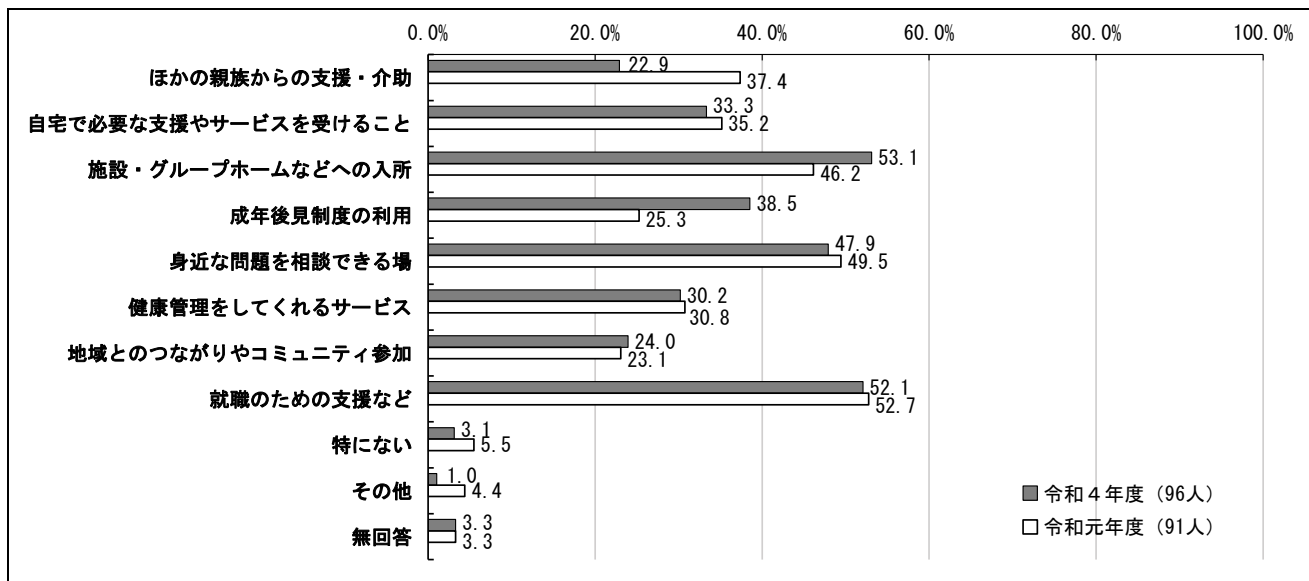
○令和元年度と比較すると, 「どうしたらよいかかわからない」, 「施設に入所する」がそれぞれ5ポイント以上減少しています。一方で, 「在宅にて障害福祉サービスを利用する」が5ポイント以上増加しています。



## (2) 主な介助者が亡くなったり、介助が難しくなった場合

問 お子様を主に介助してくれている人（親、兄弟、親族など）が亡くなったり、介助することが難しくなったりしたときにお子様が必要だと思うことは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)



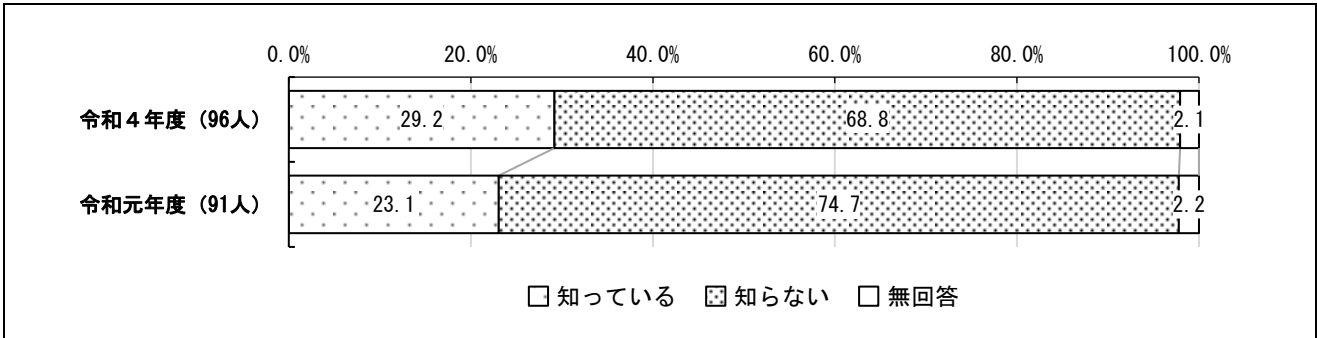
○お子様を主に介助してくれる人が亡くなったり、介助が難しくなったりしたときにお子様が必要だと思うことは、「施設・グループホームなどへの入所」が53.1%で最も多く、次いで「就職のための支援など」が52.1%、「身近な問題を相談できる場」が47.9%となっています。

○令和元年度と比較すると、「ほかの親族からの支援・介助」が14.5ポイント減少し、「成年後見制度の利用」が13.2ポイント、「施設・グループホームなどへの入所」が6.9ポイント増加しています。

## 5. 災害時の対応について

### (1) 福祉避難所の認知状況

問 災害時に※福祉避難所が設置される場合があることを知っていますか。(1つに○)



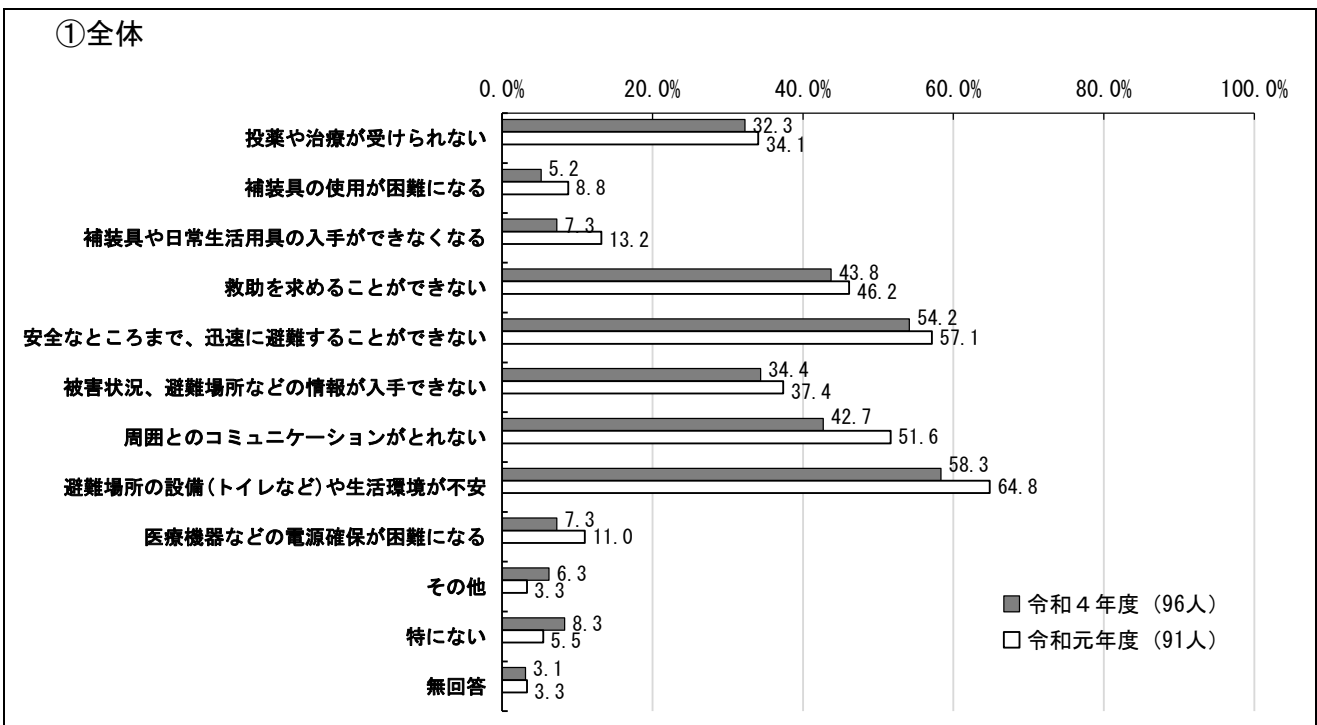
○福祉避難所の認知度について、「知らない」が68.8%と過半数を占めています。「知っている」は29.2%で、約3人に1人の割合で福祉避難所が認知されています。

○令和元年度と比較すると、「知っている」が6.1ポイント増加しており、認知が少しずつ進んでいる状況がうかがえます。

※福祉避難所：高齢者や障害のある人など、一般の避難所では生活に支障をきたす人たちのために配慮された避難所であり、2次の避難所として設置されます。

### (2) 災害時に困ること

問 火事や地震などの災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)



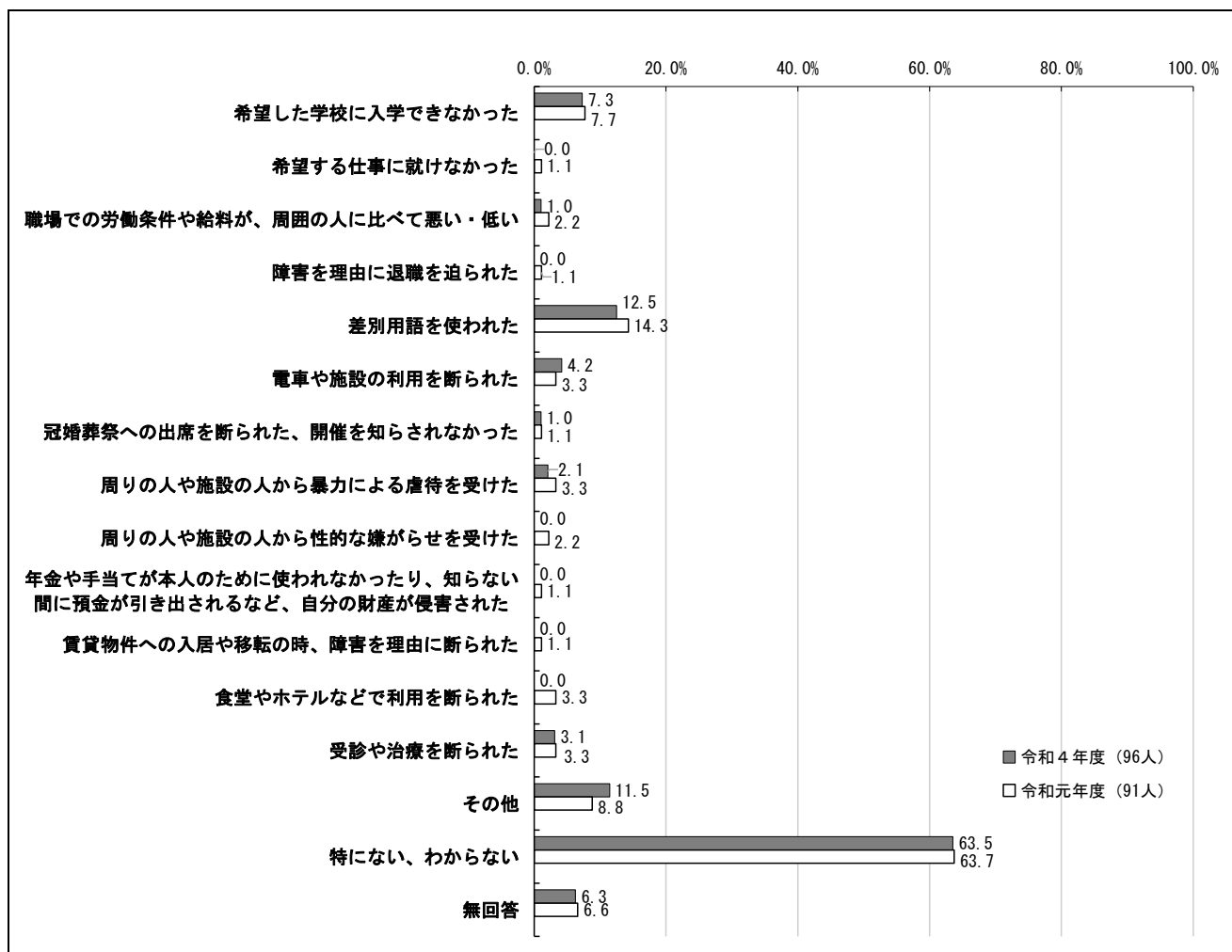
○災害時に困ることは、「避難場所の設備や生活環境が不安」が58.3%で最も多く、次いで「安全なところまで、迅速に避難をすることができない」が54.2%、「救助を求めることができない」が43.8%となっています。

○令和元年度と比較すると、「その他」,「特にない」が増加している一方、それ以外の項目が減少しています。

## 6. 権利擁護などについて

### (1) 人権を損なう扱いを受けた経験

問 障害をおもちのお子様は、障害があることが原因で、日常生活の中で下記のような人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(あてはまるものすべてに○)



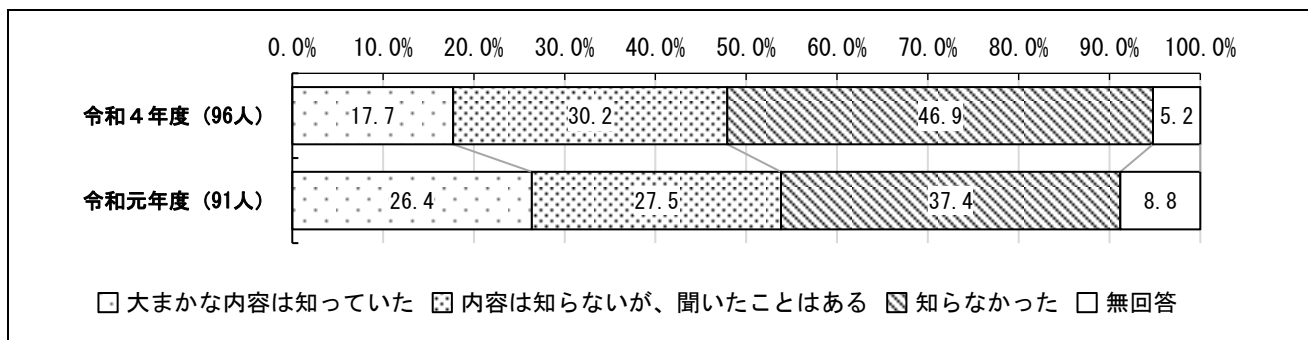
○人権を損なう扱いを受けた経験については、「特にない、わからない」が63.5%で半数以上となっています。

差別を受けた経験の内容としては、「差別用語が使われた」が12.5%で最も多く、次いで「希望した学校に入学できなかった」が7.3%となっています。

○令和元年度と比較すると、全体的にポイントが減少しています。

## (2) 障害者差別解消法についての認知状況

問 「※障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」をご存じですか。  
(1つに○)



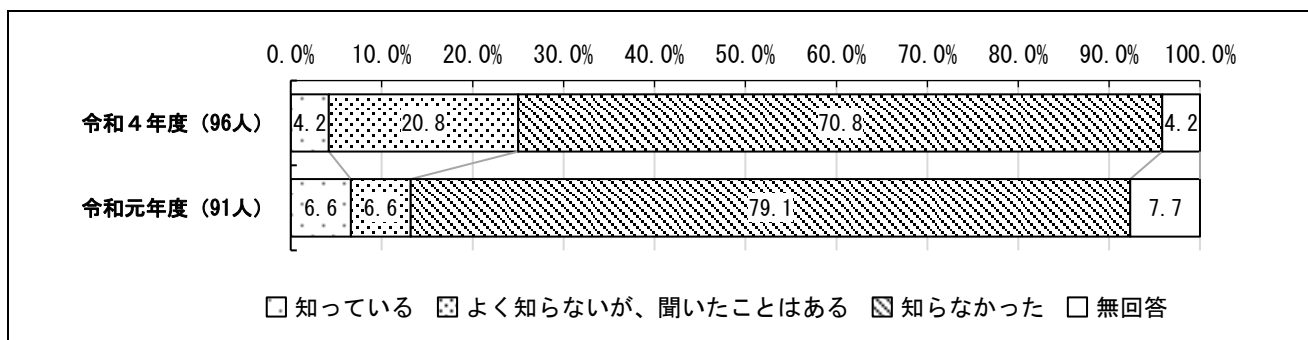
○「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」は、「大まかな内容は知っていた」が17.7%、「内容は知らないが、聞いたことはある」が30.2%で、合わせると約半数の方に認知されていることがうかがえます。

○令和元年度と比較すると、「知らなかった」が約9.5ポイント増加しており、認知が進んでいないことがうかがえます。

※「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項や、行政機関、公共団体等及び民間事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めています。すべての国民が障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につなげることを目的としています。

## (3) 障害者虐待防止センターの認知状況

問 八千代市では、障害のある方ご本人やそのご家族、支援者など周囲の方からの障害者虐待に関する悩みや疑問など、様々な相談を受け付ける「障害者虐待防止センター」を設置しています。あなたは、このことをご存じでしたか。(1つに○)



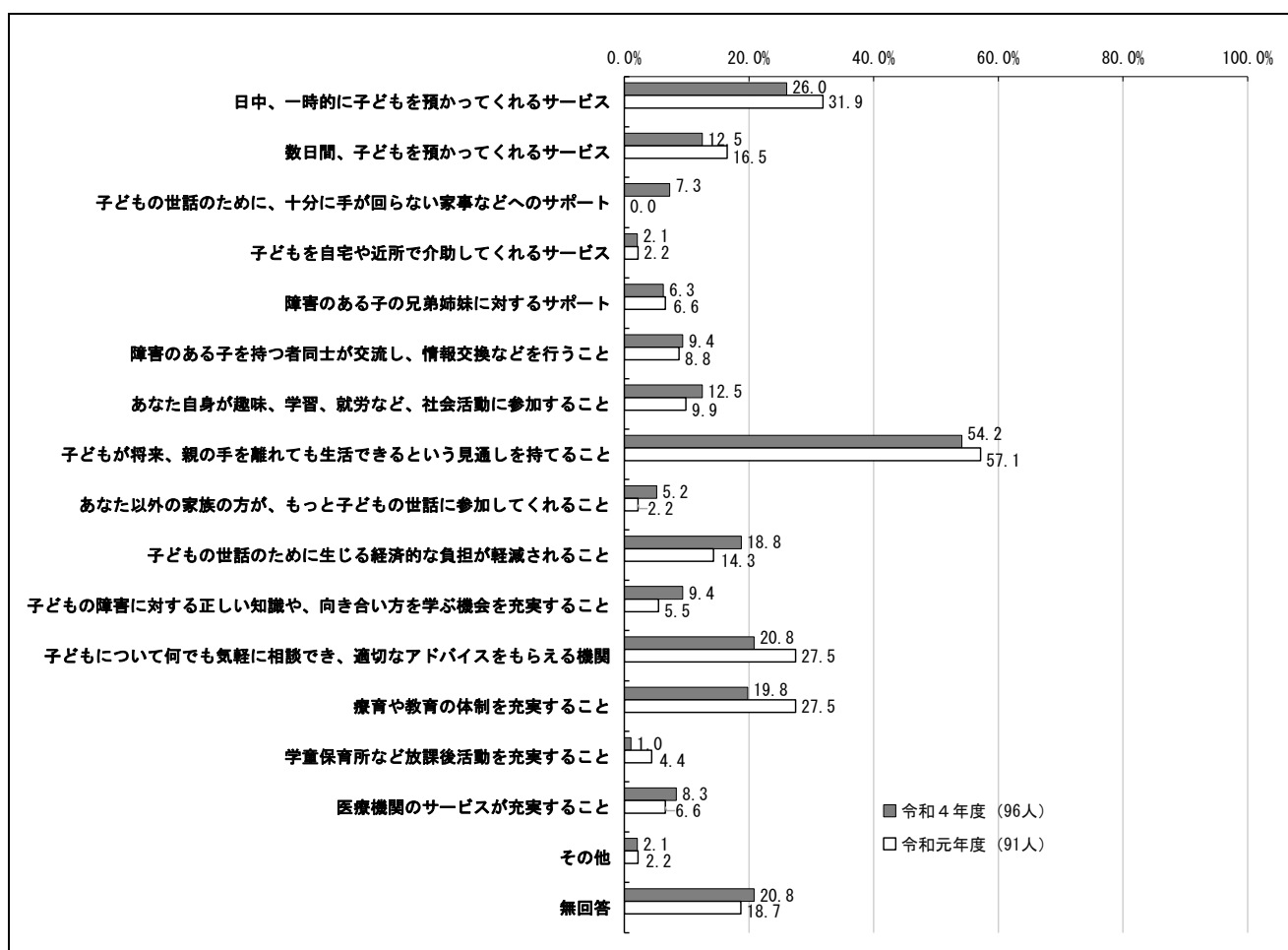
○「障害者虐待防止センター」の認知状況は、「知らなかった」が70.8%で大半を占めており、認知度が低い状況です。

○令和元年度と比較すると、「よく知らないが、聞いたことはある」が10ポイント以上増加しており、認知が少し進んでいることがうかがえます。

## 7. 相談について

### (1) 養育の負担感やストレスを軽減するために重要なこと

問 お子様の養育の負担感やストレスを軽減させるために、あなたが重要だと考えることは何ですか。(〇は3つまで)



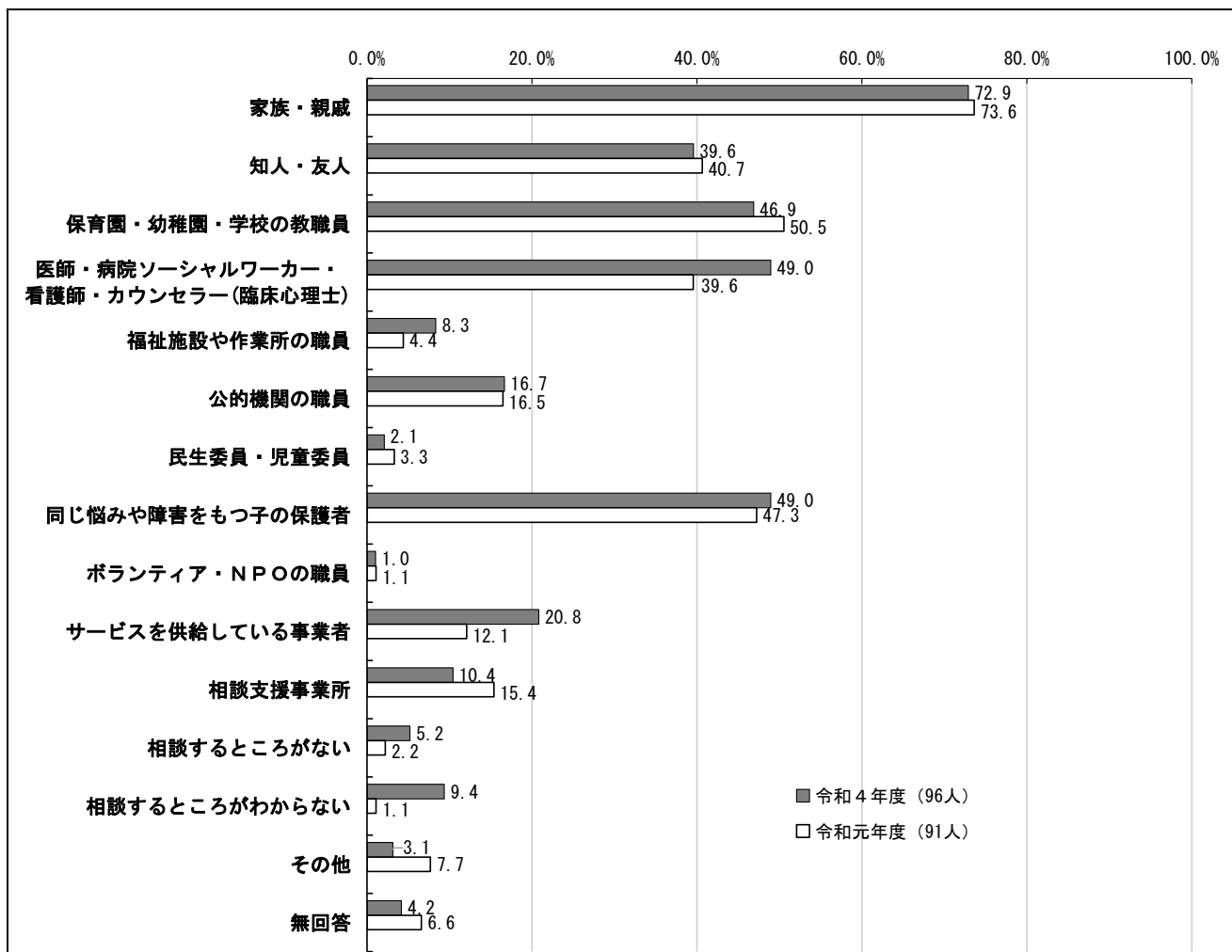
○養育の負担感やストレスの軽減について大事だと思うことは、「子どもが将来、親の手を離れても生活できるという見通しを持てること」が54.2%で最も多く、次いで「日中、一時的に子どもを預かってくれるサービス」が26.0%、「子どもについて何でも気軽に相談でき、適切なアドバイスをもらえる機関」が20.8%となっています。

○令和元年度と比較すると、「子どもの世話のために、十分に手が回らない家事などへのサポート」が7.3ポイント増加し、一方で「療育や教育の体制を充実すること」が7.7ポイント減少しています。

## (2) 悩んでいることや困っていることの相談先

問 お子様のことで悩んでいることや困っていることについて、相談するのは誰ですか。

(あてはまるものすべてに○)

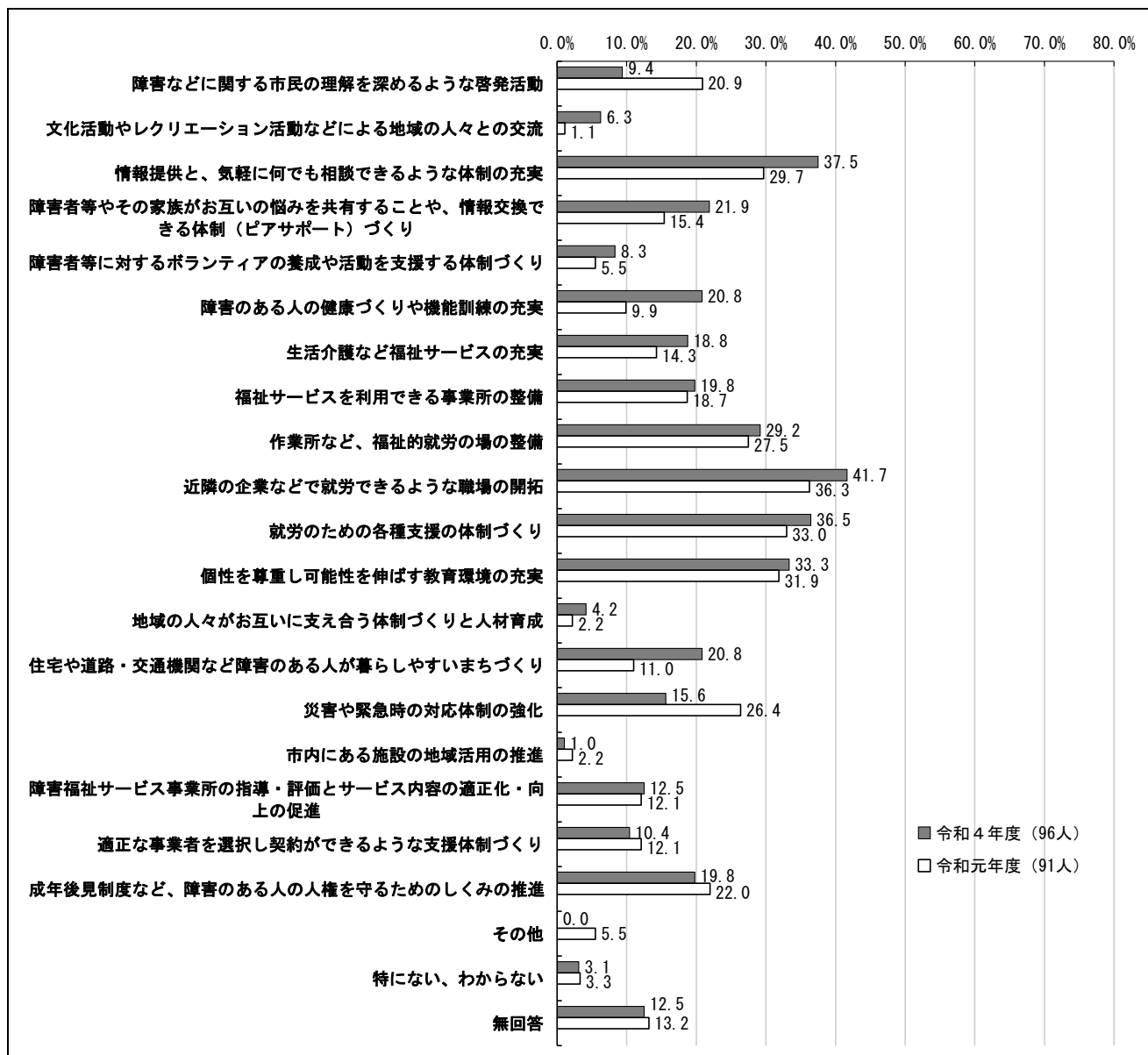


○悩んでいることや困っていることの相談先は、「家族・親戚」が72.9%で最も多く、次いで「医師・病院ソーシャルワーカー・看護師・カウンセラー(臨床心理士)」, 「同じ悩みや障害をもつ子の保護者」がともに49.0%, 「保育園・幼稚園・学校の教職員」が46.9%となっています。

○令和元年度と比較すると, 「医師・病院ソーシャルワーカー・看護師・カウンセラー(臨床心理士)」が9.4ポイント, 「サービス供給している事業者」が8.7ポイント, 「相談するところがない」が8.3ポイント増加し, 一方で, 「相談支援事業所」が5.0ポイント減少しています。

## 8. 障害者施策全般について

問 八千代市で暮らしていくうえで、八千代市にこれから特にどのような施策に力を入れてほしいと思いますか。(〇は5つまで)



〇市に力を入れてほしい施策は、「近隣の企業などで就労できるような職場の開拓」が41.7%で最も多く、次いで「情報提供と、気軽に何でも相談できるような体制の充実」が37.5%、「就労のための各種支援の体制づくり」が36.5%、「個性を尊重し可能性を伸ばす教育環境の充実」が33.3%となっています。

〇令和元年度と比較すると、「障害などに関する市民の理解を深めるような啓発活動」,「災害や緊急時の対応体制の強化」が10ポイント以上減少し、一方で、「障害のある人の健康づくりや機能訓練の充実」が10ポイント以上、「住宅や道路・交通機関など障害のある人が暮らしやすいまちづくり」が9.8ポイント増加しています。

## 2-3. 障害者一般アンケート自由回答のまとめ

※自由記入の内容について、一部要約させていただきました。

※ご意見の後に属性（アンケートの記入者・年齢・性別・所持手帳の等級）を記載しています。

### 1. 身体障害者

自由回答161件

- (1) 施策全般 1件
- (2) 補助・サービス 24件
- (3) 災害対策 2件
- (4) 相談・手続き 9件
- (5) 就労支援 2件
- (6) 将来の不安 5件
- (7) 公共施設等 19件
- (8) 施設設置・講習会等 3件
- (9) 情報提供 10件
- (10) 障害理解 14件
- (11) 福祉現場の声・従事者、担当者について 2件
- (12) アンケートについて 7件
- (13) その他 33件
- (14) 特になし 8件
- (15) お礼 22件

#### (1) 施策全般（1件）主な意見

○「障害」と1つとっても、日常生活に介護が必要な方、支障はないが内部支障の方など多種多様な部分があると思います。その前提を必ず考えた上で、施策していただければと思います。特に、私はハローワークを利用した経験がありますが、一般の数より少なくなってしまうことや、職業が限られてしまう印象がありました。今後、もし施策を改良して頂けるなら、もっとたくさんの業種、職業を広めてほしいです。障害者も1人1人能力があるので、その可能性を最大限活かさせていける市になったら嬉しいです。

（本人・18～39歳・女性・3級）

#### (2) 補助・サービス（24件）うち主な意見

○直接の窓口は県にあると思いますが、難聴による補聴器は片耳だけになっており、ある程度の負担はあっても良いが、是非両耳の補助を行ってほしい。（本人・75歳以上・男性・6級）

○タクシー券の使用上限を、今の1枚500円から1000円にして下さい。（本人・65～74歳・男性・1級）



○障害者支援課の方々にはいつも親切にご説明・対応いただき感謝申し上げます。高齢者となって（身体）障害者となりましたので、介護保険サービスの支援と、障害者サービスとしての支援、医療との連携がわかりやすいようになるとよいと思います。（本人の意向を考慮して・75歳以上・男性・3級）

### （3）災害対策（2件）うち主な意見

○大きな災害がおきた時（全員が避難しなければならないような時）にお願いしたい事があります。避難に行った場合、①床にすわったり、立ちあがったりする事ができません②同様に床に寝る事はもっと大変です。③トイレがきつと一番困ると思います④避難所まで歩いて行くのはとっても無理です⑤その他細かい事がいくつかあります。災害等が起きた場合、希望者は自宅で様子を見るという選択肢を入れて欲しいと思います。（本人・75歳以上・女性・3級）

### （4）相談・手続き（9件）うち主な意見

○成年後見人制度を利用していますが、八千代市は障害を持った人（身内）が市役所の窓口に行けない場合、後見人がその代わりに手続きをすることができなく大変困っています。相続等の印かん証明が作れない、マイナンバーカードが作れないなど。家裁にも相談しましたが相続手続きができなく何のため後見人なのかわかりません。代理で行うことができるように家裁で認められているのに、八千代市は「本人が来れないとダメ」と言われました。本人が死亡するまでその手続きができないということなのでしょうか。障害者にやさしい街づくりということなら考えて下さい。

（本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・1級）

○市役所だけでなく支所でも手続きが可能となることを希望します。（本人・75歳以上・男性・1級）

### （5）就労支援（2件）うち主な意見

○就職や仕事の紹介の支援をもっとしてほしい。（本人・40～64歳・男性・6級）

### （6）将来の不安（5件）うち主な意見

○子供がいないので、将来頼れる人が今後いなくなるかもという不安があります。そういう人が色々なサービスを受けやすくなる様にどんどん変わって行って頂けると安心です。今は障害の程度、年令的にも自分で何とか出来ていますが、今後更に障害が重くなったり、高齢になった時にどうすれば良いのかとても不安です。身寄りがない障害を持っている人でも安心して暮らせる市にして頂きたいです。（本人・40～64歳・女性・4級）

○現在は生活出来ています。妻との二人暮らしですから、将来一人になったときの生活がとても不安です。（本人・75歳以上・男性・1級）

### （7）公共施設等（19件）うち主な意見

○八千代市内は音で知らせてくれる信号機が少ないと思います。安全に道路横断するためにも、もっと数を増やしていただきたい。交通量が多く、道路幅も広い箇所は特に身の危険を感じます。

（本人・40～64歳・男性・2級）

- 道路の段差, デコボコがひどい所は, 歩行器や車椅子の車輪がとられてしまい転倒しそうになります。整備して欲しいです。最近右側駐車・停車の車がとて多く, 発車時に周囲を見ておらず, ぶつけられそうになりました。一般(健常者)の方にも危険だと思います。障害者になってしまい, 初めて気がつくことの多さに身体がついていけません。もう少しおもいやりのある人や施設が増えると嬉しいです。よろしくお願いします。(本人に聞いて・75歳以上・男性・1級)
- 早く勝田台駅南口の階段に降りるエスカレーターをつけてほしいです。(本人・75歳以上・女性・3級)

#### (8) 施設設置・講習会等(3件) うち主な意見

- 病気で休養中の方や障害を持っている人が集える機会を増やしていただけたらと思います。その中で, 自分にできることで役に立てたらいいなあと思います。教育の分野では, インクルージョンと呼ばれていると思いますが, 誰でも自然にかかわりあえるような社会が理想です。(障害のある人もない人も)「はばたき」のような作業所が市内にもっと増えたらいいなあと思います。(本人・40~64歳・女性・3級)

#### (9) 情報提供(10件) うち主な意見

- 障害者施策に限らず, 福祉へのアプローチ自体が全般的にしにくいと感じる。自ら動かないと情報は得られないが, まずどこを探せばいいのか, どんなサービスがあるのかすら分かりにくい。ネットとマンパワー両方をうまくつなげてアプローチしやすいサービス化を目指してほしいと思います。(本人・40~64歳・女性・2級)
- コロナなどで集まれないので, もっと YouTube などを利用して動画配信に力を入れたら良いと思う。視聴者の年齢層も広がるし, 学校や施設, 会社などでも視聴可能なので, 理解者が増えると思う。当事者でさえ, 知らない事だらけなので, どんどん配信して頂けたら嬉しいです。市役所の待合室でも映して欲しいです。直ぐに出来る事なので, 是非とも検討して下さい。よろしくお願い致します。(本人・40~64歳・女性・4級)

#### (10) 障害理解(14件) うち主な意見

- デイサービスとショートステイをフルに活用していますが, 経済的にはとても大変です。ひとり家族ですと, 援助される事が多いのに, 2人で住んでいるからと, 助けていただける事がとても少ない様に思います。(本人の意向を考慮して・75歳以上・男性・3級)
- 内部障害は目に見えないため, 理解されにくい部分がある。ヘルプマークも日常ではつけ難い。(本人・40~64歳・女性・1級)
- てんかん患者なのですが, いつどこで発作が起こるかわからず, 倒れたりすると周囲の人々に驚かれるので, てんかんという病気をもっと知ってもらいたいです。(本人・40~64歳・女性・1級)
- 市民の殆どは手話が言語ということはピンと来ていないというか, 遠い存在のイメージがある。それ以前に聴覚障害そのものの理解が進んでいないように見える。例えば, 補聴器や人口内耳をつけたら普通に聞こえると誤解している人が殆ど。ろう者だけでなく, 中途失聴, 難聴者にも目を向けてほしい。市役所全体でも, 筆談など様々なコミュニケーション手段に柔軟に対応できるようにして頂けるだけでも助かります。(本人・40~64歳・女性・3級)

### (11) 福祉現場の声・従事者, 担当者について (2件) うち主な意見

- 私は、現在施設は利用していませんが、ヘルパーさんが週1回、訪問看護も週1回のサービスを受けています。共に、支援2でのサービスですが、眼病による視力の低下はどうしようもなく、生活の不自由を日々身に感じています。そこで、どのサービス事業者も人材の不足で大変な経営で苦勞をしているようです。我々利用者が安心してサービスがうけられる、従事者の方々の待遇改善に努めて下さい。  
(本人に聞いて・75歳以上・男性・2級)

### (12) アンケートについて (7件) うち主な意見

- 調査のみで終わらないでほしい。アンケートに答えるのも大変なのに、うやむやに終わらず実行実践につなげてほしい。障がい者一人ひとりの思いを大切にしてほしい。障害ということばを使っているが八千代市は考えてほしい。害ということばをどうとらえるか？障がい者支援に取り組む八千代市が模範の市になるように努力してほしい。(本人に聞いて・65～74歳・男性・1級)

### (13) その他 (33件) うち主な意見

- 毎年、身障者のタクシー券を申請していただいています。しかし、ここ2年間で1枚も使用していません。八千代市内を走るタクシーは障害者に冷たいです。一度は順番待ち(本人は車椅子、介助は妻)で順番が回ってきましたら、タクシーにスルーされました。その他、乗車の際に全く無視でどうすればいいのかわからず、声もかけられず、乗車はしたものの悲しい思いをしました。以後タクシーは使わず、私の運転や友人に頼んだりしています。(東京などで利用するタクシーは親切です)  
(本人の意向を考えて・65～74歳・男性・2級)

- 会社にあるトイレを障害者向けに改善をしてもらいたい。(本人・40～64歳・男性・4級)

- 勤めていた会社で障害者が、わいせつな行為をされたりお金を騙し取られたりという事があり、上司に話をしたりしましたが解決しなかったようです。女性の障害者は、男性の上司には言いにくいようです。女性が間に入ってくれるか、市がアンケートをとったり、話をする場をもうけてくれるといいですね。他人事にせず早急にすすめて下さい。仕事の時間を増やしたい方もいたので、職場との間に入って解決してあげて下さい。(本人・40～64歳・女性・4級)

- 入所していますが、視力障害と左半身麻痺のため、食事時のまめな介助を希望します。

(本人に聞いて・75歳以上・男性・1級)

- 少子高齢化で大変な社会です。これからの日本は大変だと思います。1人1人がそれぞれの立場で自立して生きていけたらと思います。(本人・75歳以上・女性・5級)

### (15) お礼 (22件) うち主な意見

- お蔭さまで現在は健常者と同様に生活しております。ありがたく思っております。

(本人・75歳以上・男性・4級)

○支援課の皆さんの、日頃からの業務ありがとうございます。感謝しています。私自身、まさか健常者でなくなるとは思いもよりませんでした。肉体的にはまだ大丈夫ですが、今後のことは不安です。年を重ねること、病気の進行など、そんな不安感を少しでも減らせるように、支援課の皆さんのお力を頂ければ大変うれしいです。皆さんのお仕事が私たちの支えになっていますので、これからもぜひ、よろしくお願ひ致します。(本人・40～64歳・男性・1級)

○八千代市の障害者対応には大変満足しております。今後共、宜しくお願ひ申し上げます。  
(本人・75歳以上・男性・3級)

## 2. 知的障害者

自由回答42件

- (1) 施策全般 1件
- (2) 補助・サービス 6件
- (3) 災害対策 1件
- (4) 相談・手続き 2件
- (5) 就労支援 1件
- (6) 将来の不安 4件
- (7) 施設設置・講習会等 8件
- (8) 情報提供 3件
- (9) 障害理解 1件
- (10) 福祉現場の声・従事者, 担当者について 1件
- (11) アンケートについて 2件
- (12) その他 7件
- (13) 特になし 4件
- (14) お礼 1件

### (1) 施策全般 (1件) 主な意見

○アンケート調査の実施は良いことだと思いますが、本人が書くのは難しいものです。また、アンケートでは拾えない声もあると思います。当事者と直接会って話を聴くような体制がとれるとさらに良いと思います。また、手帳は持ってないけれど、困っている方もいるはずですので、アウトリーチ活動をもっと行えるように体制づくりをしてほしいと思います。

(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・Bの2)

### (2) 補助・サービス (6件) うち主な意見

○障害は個々にかかえる問題が違い、ひとくくりに福祉サービスとして行うのは難しい部分も多々あると思います。多くの障害者の共通している問題点と、個々の抱えている問題点を分けてサービス・制度を作って支援していただけたらと思います。(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・○A)

○65才になったら、このまま今のサービスが利用できるのか心配です。もし病気になったときに、入院できるのか？入院したときに支えてくれるサービスはあるのか心配です。もっと支援が必要になっても、今のグループホームで暮らし続けることができるように、障害が重い人へのサービスを増やしてほしい。人材の育成を行政もがんばってほしい。(本人の意向を考慮して・40～64歳・男性・○Aの2)

### (3) 災害対策 (1件) 主な意見

○災害時に福祉避難所は市ではどちらに設置される計画なのでしょうか？何らかの形で知らされましたらごめんなさい。このアンケートで改めていろいろな障害について知ることができました。(本人に聞いて・40～64歳・女性・Bの1)

#### (4) 相談・手続き(2件) うち主な意見

○障害者施策だけの問題ではないが、成年後見制度利用に際し、本人あての連絡、通知等を法定代理人である成年後見人等に送付してほしい為、想定できる課に申し出ても想定外の課からの郵送物には対応していただけない。他市では届出を出すと関係課に全て共有され、一元化されているところもある。改善されないものか。(無回答・40～64歳・女性・Bの1)

#### (5) 就労支援(1件) 主な意見

○現在の福祉作業所には大変お世話になっているので不満はありませんが、賃金があまりに低いので、親なき後にこのままでは暮らしていけないのではと不安です。障がいがあってもできることはあるので、就労の場の拡大を切に願っています。(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・Aの1)

#### (6) 将来の不安(4件) うち主な意見

○親が80代、子供は50代、8050時代です。何が不安、心配と言ったら親が見れなくなった時です。(親が病気になるったり、亡くなったりです) 信頼出来る施設、職員の方々等々、子供の障害を理解してくれる教育を受けている事が大事です。(本人の意向を考慮して・40～64歳・男性・Aの1)

#### (7) 施設設置・講習会等(8件) うち主な意見

○将来、親が片親や万が一何かあった時の為に入居できる施設が沢山出来る事を望みます。  
(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・○Aの2)

○地域や市民との交流は必要なく、障害者だけが利用できる施設が欲しいです。市民体育館や、ふれあいプラザのプール、1ヶ月に数日、数時間だけでも枠を作っていただき、周囲を気にせずに体を動かせる時間があつたらとても嬉しいです。障害のタイプは万別ですが、わが家の場合は成人男性26才と体力エネルギーがピークで、集合住宅には住むことができません。一緒に体を動かすことに限界も間近です。(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・Bの1)

#### (8) 情報提供(3件) うち主な意見

○娘は将来、グループホームで生活する事になると思います。八千代市内にもいくつか新しくグループホームが出来ています。どんな所が娘に合っているのか悩むところです。その事業所の詳しい情報を提供してもらえればと思います。また、障害者手帳について変更されたこと、追加されたことをホームページに載せてほしいです。新しい情報など新聞に載ることもあります。それを見逃すと知らないままです。親がどこかの団体につながってないと入ってきません。障害者福祉センターで卓球教室などやってほしい。(本人の意向を考慮して・18～39歳・女性・Bの1)

#### (9) 障害理解(1件) 主な意見

○八千代市内にある事業所で、障害等を良く理解してもらい(一緒に働く仲間)一人一人の行動の特徴をつかみ、無理のない程度の仕事をみつけ出してもらいながら働ければ長く続けていけると思う。  
(本人に聞いて・40～64歳・女性・Bの1)

**(10) 福祉現場の声・従事者, 担当者について (1件) 主な意見**

○計画相談支援の相談員の質の向上。利用者の保護者が希望しても相談員は動かず保護者が動かざるを得ないというケースがあった。グループホームは増えてはいるが預けたいと思える施設は圧倒的に不足している。福祉サービス事業所の職員の言動や態度に違和感を覚える。研修会などでレベルを上げて欲しい。(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・Aの1)

**(11) アンケートについて (2件) うち主な意見**

○障害の特性や程度によっては, 理解の難しい内容がありました。当事者や支援者にとって, もう少し理解しやすい文言の使用や具体例の記載をお願いします。特に法律, 専門用語など。このようなアンケートに回答する事で, 現在の状況や将来の課題に向き合う機会が持ててよかったです。  
(本人に聞いて・18～39歳・男性・Bの2)

**(12) その他 (7件) うち主な意見**

○私は, 今から2年くらいのうちにグループホームで生活したいと思っています。希望する条件のグループホームに入居できるか, 探せるか不安です。特例小会社に勤めていますが, 職場の仕事の要求が高すぎて大変です。仕事を辞めたいとは考えていません。(本人・18～39歳・男性・Bの2)

○年金の支払いを免除してほしい。(本人・18～39歳・男性・Bの2)

**(14) お礼 (1件) 主な意見**

○私は息子が知的障害者で, 福祉施設にお世話になっています。2人きりの生活で私も現在働いています。八千代市の障害者施策に対し大変感謝をしています。有難う御座居ます。  
(本人に聞いて・40～64歳・男性・Aの1)

### 3. 精神障害者

自由回答 69件

- (1) 施策全般 2件
- (2) 補助・サービス 8件
- (3) 相談・手続き 8件
- (4) 就労支援 7件
- (5) 将来の不安 2件
- (6) 公共施設等 2件
- (7) 施設設置・講習会等 5件
- (8) 障害理解 7件
- (9) アンケートについて 2件
- (10) その他 15件
- (11) 特になし 7件
- (12) お礼 4件

#### (1) 施策全般 (2件) うち主な意見

○市役所の相談窓口では、いつも親切で丁寧な対応をして下さいます。ありがとうございます。施策についてですが、役所以外の気軽に相談出来るセンターが少ないと思いました。(船橋市や千葉市まで訪ねないと難しいことが多かったため) 私は精神で手帳などを頂いている身です。1人で遠くまで行けません。なので、近場にもっとあれば嬉しいなと思いました。またグレーゾーンや軽度の発達の方々相談できる窓口も増えたら良いなと思います。若者やつまづいてしまった者へのサービスが、あと少しでも増えて、認知されると幸いです。(本人・18~39歳・女性・3級)

#### (2) 補助・サービス (8件) うち主な意見

○外出機会向上のため、市内バス路線の運賃の割引は大いに助かっている。鉄道についても、割引は難しいと思うので、例えば市内駅間の回数券の助成などを行って頂けるとさらに利便性が向上すると思う。(本人・18~39歳・男性・3級)

○精神病の専門医療機関に定期的に受診しているが、他に病気がない人がコロナワクチンやインフルエンザの予防接種を受けようとする、受付けてくれる病院がなかなか見つからない。精神科病院は入院患者だけ対応するが、通院・外来の人には対応してくれない。もっと一般の医療機関が受付けるようにしてほしい。定期受診している精神科でどうして対応してくれないか大いに困っているところです。公費負担などの申請や更新に必要な医師等の診断書の費用が、収入のない障害者にはとても負担が大きいので、この負担を軽くする市の補助制度を是非早急に作って下さい。

(本人に聞いて・40~64歳・男性・2級)

○家から出られない人のために、webのサービスを充実させてほしい。

(本人・40~64歳・女性・2級)

○医療費補助、交通費補助の拡充をしてほしい。(本人に聞いて・40~64歳・男性・2級)



### (3) 相談・手続き (8件) うち主な意見

- 市役所でヘルプマークをもらいましたが、着け方の説明がまったくなくてすぐに着けられなかった。結局、帰ってから家族に着けてもらった。八千代市は他の所よりも全体的に遅れている感じがする。市役所の対応もとても優しくない。手続きに毎年いくのがとても大変で、いつもいやな思いをして帰ってくることになる。(本人・40～64歳・女性・2級)
- 困った時や不安になった時に、気軽に相談することができる場を増やして下さい。(本人・40～64歳・男性・1級)

### (4) 就労支援 (7件) うち主な意見

- 障害者でも、一般の人並みの収入が確保できるような職業訓練や就労支援が欲しいです。一般の人並みの収入がなければ結婚や子育てを行うのは厳しいです。(本人・18～39歳・男性・2級)
- 障害者支援課の担当の方が1年で交代すること、計画相談支援者の方が頻繁にかわることに不安を感じます。信頼関係の構築に時間がかかる為、できればもっと長く担当して頂きたいです。障害があるので、とにかく老後の生活が心配です。金銭面での安心を特に必要としています。障害者雇用で就労しても、障害者に対する見方が厳しい為、就労がとても難しく感じます。もっと理解のある見方をして頂きたいです。障害者雇用のあり方を改善して、もっと安心して働ける場を作って頂きたいです。(本人・40～64歳・女性・2級)

### (5) 将来の不安 (2件) うち主な意見

- 歩くのがやっとで買い物が大変。一人暮らしで天涯孤独なので不安。何もかも一人でやっている。つかまって歩く道具が早く欲しい。申し込んでいるがなかなか実現しない。(本人・65～74歳・女性・無回答)

### (6) 公共施設等 (2件) うち主な意見

- 道路がせますぎていつも困っています。車いすやベビーカーが通れない所が多すぎるので、少しでも道路を広くしてくれる事を思っています。(本人・18～39歳・女性・1級)

### (7) 施設設置・講習会等 (5件) うち主な意見

- うつ病の当事者会を作ってほしい。(習志野保健所の会がなくなってしまったため) 当事者会や交流会でフルネームを言うのに抵抗があるので、名前だけで呼ぶなどの工夫をしてもらおうと話しやすい。当事者に向けて、権利を守ったり、支援して下さるような法律や条例のパンフレットがあるとよい。特に新しい法律について。(本人・40～64歳・女性・2級)
- 精神障害者本人が1日過ごせて、仲間作り出来るような場所がほしい。精神科病院について情報がほしい。受けられるサービスについてよくわからないのもっと公開してほしい。具合が悪くなった時すぐに相談出来るような所がほしい。(本人・40～64歳・女性・2級)

○軽度の発達障害で高校卒業後に福祉サービスを受ける程ではないが、何か困った事が起きた場合に相談できる場所があればいいと思う。同じような障害を持つ仲間と悩みを共有したり相談したりできる場があれば助かります。(本人の意向を考慮して・18～39歳・男性・3級)

#### (8) 障害理解 (7件) うち主な意見

○生活保護を受けて生活しているが、障害に対する理解がなく生活に不自由がある。他の課との連携を図り、生活のしやすい環境を心掛けて欲しい。(本人・40～64歳・女性・2級)

○仕事がしたい気持ちはあるのですが、給料が少なかったりして差別を受けている気がする。障害者＝人だと思っていない人が居る。差別きわまりない。文句ではないのですが、やる気があるならもっと障害者の気持ちになって考えてみて欲しい。(本人・18～39歳・女性・2級)

#### (10) その他 (15件) うち主な意見

○一時、家から出られないほどつらい時もありましたが、徐々に回復して今では一人で散歩、習い事のフラダンスなど、外に出られるようになりました。家族の支えがあり、今は楽しく過ごせるようになりました。時とともに成長することもありますので、そっと見守ってくださることも大事なかなと思わせて頂きました。(本人・40～64歳・女性・2級)

○障害支援課に行く手続きでもなんでも気づいてもらえず、すごく距離が遠い。だから相談したくても市にしたくない。(本人・40～64歳・女性・2級)

○ヤングケアラーを支える社会になってもらいたいです。(無回答・40～64歳・男性・2級)

#### (12) お礼 (4件) うち主な意見

○障害者支援課にいった時、わからないことなど、丁寧に教えてくれてありがとうございます。今回のアンケートでわからない支援、制度は次回市役所にいった時に障害者支援課で確認してみます。これからもよろしく願いいたします。(本人・40～64歳・男性・3級)

## 2-4. 障害児・保護者アンケート自由回答のまとめ

※自由記入の内容について、一部要約させていただきました。

※ご意見の後に属性（アンケートの記入者・障害をお持ちのお子様の年齢・障害をお持ちのお子様の性別・所持手帳の等級）を記載しています。

### 1. 身体障害者

自由回答 7件

- (1) 施策全般 2件
- (2) 公共整備等（道路・駅）2件
- (3) 補助・サービス 1件
- (4) 将来の不安 1件
- (5) その他 1件

#### (1) 施策全般（2件）うち主な意見

○八千代市は重症心身障害者で医ケアが必要な子供も多くなってきています。「18才の壁」というのが悩みです。学校卒業後に学校と同等レベルでの活動が出来る施設が必要だと皆思っています。18才卒後は、パタッと生活の質が下がり、身体的にもどんどん弱って早く亡くなっていく方も多いそうです。八千代市でずっと暮らしていければと願っているのに、卒後も生活の質が落ちないサービスを充実してもらいたいです。また、短期入所、入所できる（医ケア対応）の施設ももう少し作って頂けると親も身体的にも助かりありがたいです。よろしくおねがいします。（母親・15歳・男性・1級）

#### (2) 公共整備等（道路・駅）（2件）うち主な意見

○障害者（高齢者）が安心して外出できる様、道の整備をして欲しい。バス、タクシーのサービスを充実させて欲しい。障害等級によらず、実際の困り事に対して援助や助成して欲しい。（定期的に聞きとりや、利用できる情報提供があるとありがたいです）経済的援助は助かっています。ありがとうございます。（母親・13歳・男性・1級）

#### (3) 補助・サービス（1件）主な意見

○障害がある子、その兄弟を保育園に預ける体制を作ってほしい。小学校に上がったらなど関係なく本当に大変なんです。障害がある子と兄弟を連れての行事の参加など、支援学校も遠いため、週1回でもいいので保育園の預かりをお願いしたいです。（母親・7歳・男性・1級）

#### (4) 将来の不安（1件）主な意見

○親なき後の子の将来が心配です。（父親・13歳・男性・1級）

#### (5) その他(1件) 主な意見

○我が子は今、小4・9才です。3才で聴覚障がいがあることがわかり、言葉の訓練などをする為に療育施設やろう学校へ通いました。コロナが流行し、日本では未だにマスクが取れないことで、口や表情が読めず、他者との関わりを拒むようになりました。元々は難聴があることを感じさせない程、コミュニケーションを取るのが好きな子です。普通小に通いつづける気力がなくなって今年度からろう学校へ転校しています。ドラマや Youtube などの影響で、視聴覚障がいがあるような場面で困るのか知っている若い子が増えています。行政も頑張ってもらいたい。学校の先生に「お母さん頑張って！」と言われ続けましたが、1人でやれることの限界があります。親子で疲れました。(母親・9歳・男性・3級)

## 2. 知的障害者

自由回答 21件

- (1) 施策全般 3件
- (2) 補助・サービス 4件
- (3) 就労支援 2件
- (4) 相談・手続き・窓口 2件
- (5) 公共整備等（道路・駅） 1件
- (6) 将来の不安 2件
- (7) 情報提供 4件
- (8) その他 2件
- (9) お礼 1件

### (1) 施策全般（3件）うち主な意見

○働きながら障害児を育てるための支援を充実させて欲しい。

- ・登下校, 外出時のサポート。(将来的には出勤時の必要性も)
- ・長期休暇時のサポート(朝の始まりが遅く利用できない)。ST指導を受けられる体制づくり。
- ・すすく卒業後は医療機関での受診となるが市内になり(鎌ヶ谷まで通院)。
- ・土曜日の利用が激混みで2~3ヶ月に1度の予約しかとれない。障害児との接し方が分からない子供が多い。
- ・できるだけ小さな頃からかかわりを持つことが大切。
- ・インクルーシブ教育が理想だが, まずは支援級, 支援学校とのかかわりを増やしてほしい。(当たり前になるように)(母親・13歳・女性・Aの1)

### (2) 補助・サービス（4件）うち主な意見

○障害のある子どもたちが入園を断られる幼稚園が多いと感じます。事業者や教育者への指導や理解を求めることはできないでしょうか。大学などでは学んできているはずなのに, 現場の理解のなさに非常にショックを受けます。支援児への対応のできるような人材の育成に力を入れていただきたいです。(母親・10歳・男性・Bの2)

○重度の人が利用できる放課後等デイサービスを増やしてほしい。グレーゾーンの子が通う施設が急激に増えているのに対し, 重度の子を1日中預かってくれるところは少ない。

(母親・9歳・男性・○A)

### (3) 就労支援（2件）うち主な意見

○八千代市内に, 学校を卒業後に通える事業所や作業所が, 他市に比べて少なく選択にとっても悩んでしまいます。市内には特別支援学校もあることから, 卒業後に通える場所が増えるように働きかけをお願いします。(母親・16歳・女性・Aの1)

#### (4) 相談・手続き・窓口(2件) うち主な意見

○相談支援事業所が,八千代市はどこなのか分からない。(母親・16歳・男性・Bの2)

#### (5) 公共整備等(道路・駅)(1件) 主な意見

○八千代支援学校までのバス路線が無く,新しく設けていただけることを願っています。保護者が学校に行く際に不自由します。ご検討をお願いします。(父親・12歳・男性・Aの1)

#### (6) 将来の不安(2件) うち主な意見

○市役所の障害者支援課の皆様には,いつも大変お世話になっております。学校の先生方や放課後デイサービスの方々からも,福祉サービスや事業についての情報を色々教わったり,手厚く支援していただいているので,今までは,それほど不自由を感じたことは少なかったのですが,将来,成人後,特に親が介護できなくなった時のことを考えると,不安だらけな状況です。就労や入所施設,グループホーム等の増設や整備に特に力を入れて頂きたいと思います。(母親・16歳・男性・○A)

#### (7) 情報提供(4件) うち主な意見

○情報が市からは全く入ってきません。重度の方にはそれなりにサービス等の案内があるかもしれませんが,軽度の人向けサービスは市内にはほとんど無い様に思います。市からこんな事があるよ(例:学校の見学会があるなど)とか,こんなサービス事業所(就労移行支援など)がある,とか情報(HPやSNSでもいいです。)があると,行ってみようとか相談してみようとか思うのですが。

(母親・12歳・男性・Bの2)

○積極的な情報の提供,発信をお願いします。市内で小児のリハビリ(PT・DT・ST)を受けられる体制を作っていただきたいです。(母親・9歳・男性・○A)

#### (8) その他(2件) うち主な意見

○春から中学校の支援学級(自閉症・情緒学級)に入学します。情緒学級は高校受験の内申書を書いてもらうために,普通学級でほぼすべての教科の授業を受けて5段階評価の通信簿がないといけないみたいです。支援学級の教室に帰ってくるのは朝・帰りの会と給食の時間のみと聞きました。何のための支援学級なのか。小学校で就学相談を受けて「情緒学級が望ましい」と診断が出たのに,いざ入学したら普通学級の生徒と同じ内容の生活。理解に苦しみます。

(母親・12歳・男性・Bの2)

#### (9) お礼(1件) 主な意見

○小・中学校の支援学級の数を増やして頂きありがとうございました。高校でも支援学校だけではなく,支援学級の様なクラスを増やして頂ければ助かります。(母親・12歳・男性・Bの2)

### 3. 精神障害者

自由回答 8件

- (1) 就労支援 1件
- (2) 障害理解 2件
- (3) 将来の不安 2件
- (4) その他 2件
- (5) お礼 1件

#### (1) 就労支援 (1件) 主な意見

○中学卒業後の支援を充実させてほしい。中高生向けの放課後デイサービスや教育環境, 就労のための各種支援, そして就労できる職場。発達障害でも精神疾患からの障害の方が支援の数が少ないと感じています。精神障害の支援もよろしくお願いします。(母親・14歳・男性・3級)

#### (2) 障害理解 (2件) うち主な意見

○ピアレントトレーニング, 普通級など障害のクラスではない教員に対しての教育, 普通級など障害クラスでない保護者へ偏見をなくすような情報提供等。周囲全ての大人の教育の充実が, 子供の環境の向上に結び付くと思います。(母親・12歳・女性・3級)

#### (3) 将来の不安 (2件) うち主な意見

○障害と一言では表せない程様々な病状があると思うので, 施策はむずかしいと思います。我が子の場 ADHD, アスペルガーといった一見するとわかりにくいものなので, 逆に現状で余り困っている事が無い分, 将来がとても不安です。また困っている事が少ない分, 受けられる支援も少ないので不公平さを感じます。(母親・15歳・男性・2級)

#### (4) その他 (2件) 主な意見

○高校の支援学級を作してほしい。(母親・11歳・男性・2級)

○「機能性構音障害」の高校生以上の方が訓練できる場所を作って欲しいです。  
(母親・16歳・男性・3級)

#### (5) お礼 (1件) 主な意見

○八千代市役所の職員の方々の対応やデイサービスの方にはいつも感謝しております。我が子が将来就職し, 自立した生活が送れる様不得意な部分について学ばせて頂いています。市政への経済的負担が大きいのと思いますが, 希望する方がサービスの提供が受けられる事を望みます。いつもありがとうございます。(母親・11歳・男性・2級)